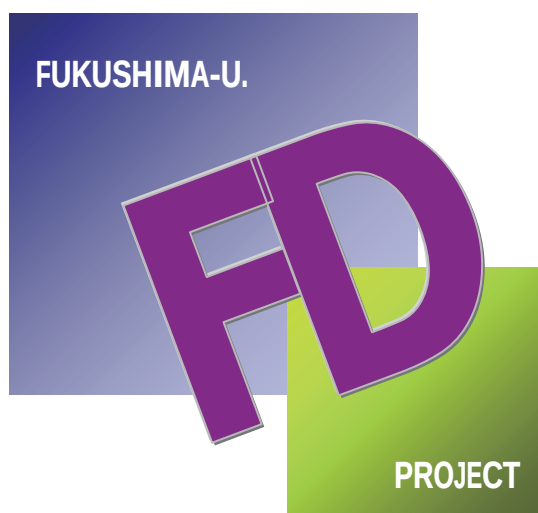


**平成16年度
福島大学FDプロジェクト活動報告書
～授業改善の追求～**



**2005年3月
福島大学FDプロジェクト**



はじめに

平成 16 年度福島大学 FD プロジェクト

責任者 山川充夫

全国的な動きを見ると、FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動は試行的導入の段階から本格的実施の段階へと入ってきています。例えば学生による授業評価については、とにかくアンケート調査を実施して教員の顔を浮かべることができない集計単位で公表するという段階から、個別科目について授業評価の結果を受けて個別教員が報告書あるいは次年度のシラバスにどのように改善を図っていくのかを表明するという段階に入ってきています。模範となる授業についての上位 10 名を公表するとか、改善の進まない教員には個別具体的にアドバイスを行うなどの取り組みも始まっています。

しかし注意しなければならないのは、私たちが「教育活動を評価する」という名目のもとで、教育方法の改善を教育技術のみに収斂させてしまいかねない環境におかれているということです。教育評価は外から提供される画一的な尺度にもとづいて一元的に測定されるといった単純なものではありませんし、教育活動が学生のもつ人間的な能力の全面的な発展に資するものでなければならぬことを、私たちはまずもって認識する必要があります。こうした視点から教育活動を改善していくためには、普段における教員の個別的な努力を公表して全学のものにしてかなければなりません。

平成 16 年度の FD 活動では、FD ワークショップ及びワーキンググループメンバーの献身的な努力によって、「公開授業&検討会」という新たな地平が切り開かれました。ここからは授業改善における多くの教訓を得ることができました。その一例が古典的と思われ、等閑視されてきた板書が、意外に大きな教育効果を持っているという発見でした。ビデオやパワーポイントといった IT を駆使することだけとか、大量の資料や詳細なレジュメを配布するだけでは、教育効果はそれほど大きくなく、やはり板書を併用する必要性が確認されました。ただし板書問題を通して見みえてくるのは、授業の場において教員と学生とがいかに正面から向き合うのかということのように思われます。

今年度も多くの教職員の協力を得て、授業改善に取り組むことができました。いつも本学の授業改善を温かく見守っていただいている山形大学の小田隆治教授、率先して授業公開を実践していただいた小野原雅夫さんをはじめとする 4 名の先生、検討会を取り仕切っていただいた岩崎紀子さんをはじめとする諸先生、公開授業&検討会に参加された諸先生、学生との懇談会や授業評価分析を取りまとめていただいた市川 WG メンバー及びワークショップの諸先生、学生アンケートや公開授業&検討会、学生との懇談会などの実施を裏方として支えてくれた長澤課長をはじめとする教務課職員、そして何よりも多くのアンケート調査に答えてくれた学生諸君に心から御礼申し上げます。



平成16年度 福島大学FDプロジェクト活動報告書 ～授業改善の追求～

目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・副学長（FDプロジェクト責任者）	山川 充夫	
2. FDワークショップ 授業公開&検討会		
FDワークショップ授業公開&検討会の開催について・・・・・・・・・・		1
教員向け実施案内・・・・・・・・・・		2
オブザーバーからの感想・アドバイス等・・・・・・・・・・		4
ファシリテーターからの授業報告		
第一弾報告・・・・・・・・・・	岩崎 紀子	8
第二弾報告・・・・・・・・・・	新谷 崇一	11
第三弾報告・・・・・・・・・・	井上 健	14
第四弾報告・・・・・・・・・・	天形 健	16
授業者提供者の感想		
第一弾授業・・・・・・・・・・	小野原 雅夫	18
第二弾授業・・・・・・・・・・	後藤 忍	20
第三弾授業・・・・・・・・・・	箱木 禮子	21
第四弾授業・・・・・・・・・・	山口 克彦	22
授業参観者の感想（各学類教員から）		
FDワークショップ「授業公開&検討会」参観感想・・・・・・・・	安田 俊広	23
大学における授業づくりの試みについて・・・・・・・・	西内 裕一	24
授業公開&検討会に参加して・・・・・・・・	中山 庸子	25
授業公開に参加してみたの所感・・・・・・・・	熊本 尚雄	27
授業公開&検討会教員アンケート・・・・・・・・		28
授業公開&検討会学生アンケート・・・・・・・・		32

授業公開&検討会配布資料

F Dワークショップ授業公開&検討会

ー授業者と参観者の皆さんへー	40
F Dワークショップ授業公開&検討会 授業観察カード	41
F Dワークショップ授業公開&検討会 教員アンケート雛型	42
F Dワークショップ授業公開&検討会 学生アンケート雛型	43

3. 他大学F D研究集会参加報告

京都大学「授業公開&検討会」	岩崎 紀子	45
山形大学「第6回教養教育ワークショップ」	松崎 博文	47

4. 「教育改善のための学生アンケート」の見直し検討

「教育改善のための学生アンケート」に関する

学生との懇談会 ーその概要の報告ー	市川 佳宏	52
「教育改善のための学生アンケート」結果についての若干の分析		58

5. 「教育改善のための学生アンケート」集計結果

❖前期開講科目（平成16年7月実施）	66
共通教育科目	73
専門教育科目	85
❖通年・後期開講科目（平成17年1月実施）	94
共通教育科目	101
専門教育科目	125

6. 福島大学F Dプロジェクト要項

134

7. 福島大学F Dプロジェクトメンバー

135

8. あとがき

副学長（教育） 工藤 孝幾 136



FD ワークショップ 授業公開 & 検討会





F Dワークショップ授業公開&検討会

F Dワークショップ授業公開&検討会の開催について

福島大学F Dプロジェクト

今年度のF Dワークショップは、初めての試みとして「F Dワークショップ授業公開&検討会」を開催しました。これは、大学内で実際に行われているいくつかの授業を他の教職員が実際にその目で見て、その耳で聞いて、皆で自由に意見交換し、自分の授業の改善に役立つ何かを得ようというものです。

このような企画を立てたのは、いま切実な課題は、“新機軸の授業をひねり出す”というよりも、むしろ“現に行われている授業を交流し合いながら、改善していく”ことにあると考えたからです。もちろんクラス規模や講義・演習・実習の授業形態により授業方法が異なるでしょうが、他の教員の授業を見ること、自分の授業を他の教員に見てもらうことの意味は大きく、継続して取り組み、大きく広げていきたいと思います。

初年度の今年は、2段階で計画しました。まず第1弾では、授業改善分野の先行大学である山形大学から小田隆治先生を招き、本学初の授業公開&検討会を実際に参観していただきました。そして小田先生から山形大学での経験等を基にアドバイスを頂き、ノウハウを体得しつつ、次に各学類で第2弾～第4弾を企画しました。

次項から、第1弾のオブザーバーとしてご招待した山形大学教育学部小田隆治先生から頂いた感想や貴重なアドバイスを紹介し、続いて各回ファシリテーターからの報告、授業提供者からの感想、参観者からの感想、実施アンケートデータ等を紹介いたします。

F Dワークショップ授業公開&検討会の実施について

福島大学F Dプロジェクト

1. 目的と意味

今年度のF Dワークショップは、ここ2年とは異なり「F Dワークショップ授業公開&検討会」という形で実施することにしました。

これは、大学内で実際に行われているいくつかの授業を他の教職員が実際にその目で見るとともに、その耳で聞くとともに、その後、それにかかわってみんなで自由に意見交換し、自分の授業の改善に役立つ何か得ようというものです。堅苦しいものではなく、明るく楽しいムードの検討会にしたいと思いますし、きっとそうなるだろうと思っています。

このような企画を立てたのは、私たちにとっていま切実な課題は、“新機軸の授業をひねり出す”というよりも、むしろ“現に行われている授業を交流し合いながら、改善していく”ことにあったからです。もちろんクラス規模によってかなり違ってきますし、講義もあれば演習・実習形式のものもあります。また、分野によって授業方法が異なることもあるでしょう。しかし、他の教員の授業を見ること、自分の授業を他の教員の方々に見てもらうことの意味は大きいのではないのでしょうか。是非、継続して取り組み、大きく広げていきたいと思っています。

初年度の今年は、2段階で計画してみました。第1弾では他大学での経験等を参考にしながら全学的にやってみて、その経験を通じて進め方やノウハウを体得しつつ、各学類で第2弾～第4弾を企画するというものです。いずれも所属学類を問わず参加可能です。合計4回の授業公開&検討会を開催しますので、皆さんいずれか1回はご参加いただきますよう、よろしくお願いします。参加の場合は別紙参加申込書・事前アンケートを11月16日(火)までに最寄りのF Dプロジェクト委員までご提出願います。

なお、事前の参加申込みが無い場合でも、当日の飛び込み参加を歓迎いたします。

2. 今年度の企画

(1) 第1弾

- ・日 程：**11月17日（水）12時45分～16時**
- ・タイムスケジュール：**12時45～13時00 事前説明会（M1教室）**
13時00～14時30 授業公開（M2教室）
14時40～16時00 検討会（行政政策学類大会議室）
- ・提供授業：科学技術と環境の倫理（小野原雅夫先生・M2教室・受講生80名程度）
- ・ファシリテーター：岩崎紀子先生（人間発達文化学類）
- ・オブザーバー：小田隆治先生（山形大学教育学部）
- ・参加者：50名ほどを目指したいと思っています。

(2) 第2弾

- ・日 程：**12月3日（金）10時20分～12時50分**
- ・タイムスケジュール：**10時20～11時50 授業公開（M4教室）**
12時00～12時50 検討会（行政政策学類大会議室）
- ・提供授業：総合科目「現代社会と環境」（後藤忍先生・M4教室・受講生50名程度）
- ・ファシリテーター：新谷崇一先生（行政政策学類）

(3) 第3弾

- ・日 程：**12月6日（月）10時20分～12時50分**
- ・タイムスケジュール：**10時20～11時50 授業公開（L4教室）**
12時00～12時50 検討会（経済経営学類大会議室）
- ・提供授業：経済学概論B（箱木禮子先生・L4教室・受講生200名程度）
- ・ファシリテーター：井上 健先生（経済経営学類）

(4) 第4弾

- ・日 程：**12月13日（月）8時40分～11時50分**
- ・タイムスケジュール：**8時40～10時10 授業公開（M2教室）**
10時20～11時50 検討会（行政政策学類大会議室）
- ・提供授業：自然I③（山口克彦先生・M2教室・受講生80名程度）
- ・ファシリテーター：天形 健先生（人間発達文化学類）

第1弾授業公開&検討会

日 時 平成16年11月17日

12:45~13:00 事前説明会 (M1教室)

13:00~14:30 授業公開 (M2教室 受講学生約80名 参観教員約40名)

14:40~16:00 検討会 (行政政策学類大会議室 参加教員約30名)

提供授業 科学技術と環境の倫理 小野原雅夫先生 (人間発達文化学類)

ファシリテーター 岩崎紀子先生 (人間発達文化学類)

オブザーバー おだたかはる 小田隆治先生 (山形大学教育学部)

ー以下、オブザーバーの小田先生から頂いた、検討会でのコメントを紹介します。ー

1. 小田隆治先生から授業公開の感想等について

小野原先生どうもご苦労様でした。前に小野原先生に「福島大学で一番初めに公開授業をやるのは小野原先生が一番いいんじゃないですか」と言ったことがあるんです。

そのとおりになって福島大学の公開授業というものが小野原先生で始まり、また、決して実験的な授業ではなくてまさにチョーク&トークの通常の授業で始まったことはすばらしいことだと思います。参観者もおそらく40人越し、検討会にも30何人いらっしゃるということで、すごくいいスタートを切れたなと思います。全国的にもこれだけの良いスタートを切れたのはそんなに無いだろうと思います。

授業内容については、凄くまさにドラマチックな授業なわけですね。教材がドラマチックですよ。授業のやり方がドラマチックではなくて。そのようなところで構成としてワークシートを使いまして最後にビデオを使われたと。ビデオを使われたのは先程もご指摘がありましたけれどもピンポイントで使う。おそらくビデオ等の教材の使い方は僕はピンポイントが大事なんだろうなあとと思います。私なんかですと例えば15回やるうちの1回



ぐらいいは30分から1時間くらい見せたりする時があるわけですよ。学生の緊張感を解くためにそのように使ったりしています。ところが、すごく上手な人を見ますと、授業中に3分くらいでポンと使ってそれを2、3回入れています。そういう構成が大事なんだろうと思います。

小野原先生がすばらしいのは、ビデオ機材をうまく使えることですね。僕も第1回目で山形大学で公開授業をやったときに200人の学生がいて、見に来た先生が50人ぐらいいて、クラ

ス300人入るクラス満杯でした。その時にビデオが動かなくなったんです。途中で。そういうアクシデントっていうのは他聞にあるんですね。そして他の人の授業を見ますと、コンピュータ・ビデオの基本的な使い方が結構難しいことがわかります。ある先生がパワーポイントを使ったが全然動かない。授業の1時間半のうち30分はコンピュータと格闘していました。ところが、今日は使い方がかなりスムーズだと思ったんです。

コンピューターを授業で使うとなると、教室で接続しなければなりません。ブザー鳴って授業始まってから接続するとなると、これはかなり時間のロスになるんですね。そういうところもおそらくこういう機材を使う場合は考えなくちゃいけないんだろうと思います。こうした点についても、小野原先生は凄く上手くやられたなと思っております。

字の上手さとか大きさも適切でして、声も大きかったですね。最近ですね、板書の大切さというのをすごく思っております。なぜかといいますと、ひとつは今さっき例に挙げた先生ですが、パワーポイントを使われる方がですね、それまでの授業が板書ばかりだったんだけど、学生の授業評価が芳しくないから思い切ってパワーポイントに変えたんですね。すると、機械の使い方にいつまでたっても慣れなくて、授業が崩壊していくんですね。だから僕がその先生の授業を見て、板書に戻した方がいいんじゃないですかとアドバイスして、その方は楽になりました。

あとですね、公開授業と検討会によって本当に授業改善できるのかどうかというのを今ちょっと研究してまして、今ずっとある人の授業を毎回見えています。その人は今までパワーポイントを使っていたのですが、学生の授業評価がダメだったというので、「今年の授業はパワーポイントを使わない」と授業のガイダンスのときに言ったんですよ。そのくせに次の授業でパワーポイントを使ったんです。その時どうなったかということと40人中クラスのだいたい10人寝ました。そして明かりをつけて板書を開始するとみんな起きました。そうしたことから、今日のように本当に板書というのは大事なんだろうな、と僕は思っています。

もうひとつは、最近 e-learning を研究しているんですが、e-learning のコンデンツの作成法は板書の形式が一番分かり易いらしいんですね。そういうことから板書っていうものを我々は今1回考え直すことが大切なんじゃないかと思います。そうしたときに小野原先生の今日の授業はですね非常に板書見本のようなきれいな字でしたね。

最後にもうひとつだけここで言っておきますと、1985年に生まれてない学生がいましたが、僕から見るとこの問題はチャレンジャーの爆発事故にいくだろうなと参観者の先生方はここで思ったわけですよ。しかし、学生は分かったんだろうか。チャレンジャーの事件を、あの学校の先生が死ぬという事件を知ってるのだろうか。どれだけあれを事件に結び付けて考えられたのだろうかということを感じます。それは私が普通に生物を教えていると、ボウフラというのを知らない学生が3分の1ぐらいいるんです。ウジを知らないのはもうちょっと少ないですけども。それでもかなりの比率でいます。もう前提となる知識と言いますか常識と言いますか、そうしたことが違っているんだなあと痛感しています。そうした時、我々が期待しているのと違ってくるズレっていうものが生じていることを知らないといけないのだろうなと思います。チャレンジャーの事件もどれだけの学生が知っていたんだろうか、と思いました。

2. 小田隆治先生からアドバイス ～山形大学の事例から～

F Dの方法としては講演会とかいろんな形があるんですけども、授業改善する方法としては公開授業と検討会が一番いい方法ではないかと思っています。これ以外で有効な方法はそうは無いだろうと。これを柱にしないといけないだろうと思っています。しかし、このあり方というものは、また多様なやり方があり、そこを考えていかなければいけないだろうというふうに私自身考えております。

福島大学さんが凄いと思うのは、今年初めてなのに4回やって、全員の教員に“1回は見てください”と通達をされたことですね。もし全員見たらすごいことですよ。総合大学で全員見たってところは無いんじゃないですかね。山形大学も全員は見えていません。これは1回ずつの集まる人数とか回数を多くしてもですね、全員がやるというふうなことをやってませんので、全国的にもそういう大学は無いと思いますので、ぜひ頑張ってください。

F Dの担当の方が無理してでも人を集めてやればそれは凄いことなんだと思います。それは何がすごいのかっていったら、形式的なことだけでなく、F Dの言葉を知らない、概念を知らないという人たちに対して啓蒙活動に役立っています。授業改善にすぐに役立つとかどうかじゃなくて、まずはF Dというものの共通理解といいますか、そういうことだろうと思います。

次に、やっぱり自分さえ良ければいいというものはもう大学には通じないだろうと思います。組織的な取り組みであって自分の授業がいいと思う人は人にやっぱり見せてあげることなんじゃないでしょうか。サービス精神です。お互いに共有する双方向性がない限り大学というのはやっていけないんだと思います。また、それは他人のを見ることであって、見ることはどういうことかというのは一方的に批評することではないんです。ファシリテーターの岩崎紀子先生から説明があったように、誉めあうことなんです。誉めることから



始まるんです。授業公開や検討をもう1回やろうとする気にさせることなんだと。大事なことは1回で終わることではなくて、次に再現できることなんだろうと思います。そうして授業公開と検討会というものが繰り返し行われてくると、その集団で新しいことが起こってくるんだろうと思います。

山形大学ですと、自然発生的にどういうことが起こってきたのかといいますと、ドイツ語の集団がです

ね、自分達でまさにピアレビューして授業公開と検討会を自主的にやるようになりました。我々がやれとは言っていないのにです。それはどうして始まったかというと、ドイツ語の全国的な傾向で、受講者数が少なくなったという問題がある。そしてそれに伴ってですね、新しい教員が入らなくて高齢化して益々魅力がなくなってくる。そういうジリ貧の状況を何とか立て直そうとある若い先生が立ち上がってやり始めました。それによってやっぱり

効果は現れています。そのような形で自然発生的なものも起こるんだろうと思います。トップダウンとボトムアップの2つが行われてくると、かなり良くなるのではないかと思います。

私、自分の大学やよその大学さんのいろんな授業を見せてもらっています。そうしたなかで、素晴らしい授業をする人のも見せてもらいました。そうした人の授業は、かける労力のすごさというものを痛感します。それと同時に、すごく授業評価が悪い人のも何人かで見に行きました。見て検討会をやってもやっぱり直らないんですね。直らないです。これはちょっとやっただけでは厳しいなと思いました。けれども、本人には授業を改善しようという意欲があると思うんですよ。他所では「俺は最低点だ」と学生の前では言っているらしいですけれども。我々に「見てくれ」って言うくらいですし、僕のも見に来たこともありますから、意欲はあるんですけれども、これは難しいなと思ったんです。そうしたときに本当にまずはスタンダードな授業は授業公開と検討会によって底上げすることは絶対できると思うんです。何故かと言いますと、授業公開や検討会に参加することで、ワークシートのような形式というのは共有化できるからです。良いと思った人は・・・参加せずに知らない人は利用できませんけれども・・・参加して良いと思った人はできるからです。こういうものが、いろんなものができてくるんだろうと思うんですけれども。

ところで、実際にすごく悪い授業は直るのかといったらですね、今その実験をしています。毎回見てですね、二人で検討会やってですね。私が毎回見た授業の記録と感想をワープロに打って本人に見せてやってます。何故そんなことをするんだっていったらですね、教員が困っている時に救いの道を差し伸べられないような大学組織はダメだと私思っているんですよ。頑張れ頑張れのものだけではダメです。直らないんですよ。普通の人には改善されるかもしれませんが、改善されない人は絶対いるんです。それを切り捨てる組織は私はダメだと思っています。それをクリニックで直さなくちゃいけない。その有効な方法はやっぱりこのような授業公開と検討会だと思います。そして、それは閉じられたものだと思います。恥をかかすようなものであってはならない。恥をかいたら上手くならないんですよ。直らない。そういうふうなことも考えて、私自身はそれをかなり大きい仕事だと思っています。

授業公開と検討会というものはFDの中心をなしてくるものだろうと思っています。福島大学さんはこういう形でやられて、また若い先生が中心となってやられている。ぜひとも伸ばしていただいて、やっていただければ素晴らしいことだと思います。こうした活動が持続すれば、数年で一挙に福島大学は光ると思います。期待しておりますので、また機会があったら見せてください。

第一弾報告

人間発達文化学類 岩崎 紀子

日 時 平成16年11月17日（水）
12:45～13:00 事前説明会（M1教室）
13:00～14:30 授業公開（M2教室）
14:40～16:00 検討会（行政政策学類大会議室）
授業名 倫理学概論Ⅱ・環境倫理学
テーマ 『科学技術と環境の倫理』
授業者 小野原 雅夫（人間発達文化学類）



はじめに——〈自前のフィールド〉からの出発——

2002年度のFD合宿に参加して以来、大学における授業研究・授業改善に興味を持ち、講演会や学外出張にも行かせていただくなかで、たくさんの学びと出会いを経験しました。ただ、自分自身どこか「物足りなさ」を感じていました。それは〈自前のフィールド〉に根づいた授業改善への取り組みを長期継続的にこなしていくためのネットワークに対するものだったように思います。大学の授業をどう創っていけばいいのか、悩みつづけた3年間でした。

そうしたなかで、2年前から小野原雅夫さん（倫理学）の授業を観察させていただいています。小野原さんの授業改善への取り組みに学び、自分の授業も少しずつ変えて実践を創ってきました。そうしたご縁もあって、今回のワークショップ第1弾のファシリテーターにご指名いただきました。専門としては小学校の授業を研究しながら、大学での授業検討会の場を盛り立てるという大役は、私にとっては責任の大きな仕事でした。参加者が何名なのかが読めない状況で不安もありましたが、山形大学からお越しいただいた小田先生をはじめ、結果的には40名を超える参加者に恵まれました。当日は、私の準備不足と判断ミスからせっかくご参加いただいた先生方にとって満足いく検討会の場をコーディネートできなかったことを反省しています。ただ、「90分間があっという間で、自分の授



業を見直すきっかけをもらえたよ」という声が聴けたときは本当にうれしかったです。今年の福島大学のFD活動が〈自前のフィールド〉から立ち上がり、同僚の授業を〈みる＊語る〉ことから新たなネットワークを創れたことは、授業づくりに苦悩している私にとっても大変心強いものでした。教室をひらいてくださった小野原さん、ご参加い

ただきお話を聴かせてくださった先生方に心から感謝申し上げます。

小野原雅夫実践【倫理学概論Ⅱ／科学技術と環境の倫理】をめぐる語り合い

検討会では「まずは誉めることから」という原則のもと、参加者から一言ずつ小野原さんの授業に対するコメントをいただきました。ここでは、まず小野原実践（11/17・第5回目）「技術の倫理①：ケーススタディ《チャレンジャー号爆破事故の際の技術者の行動》」の概要を簡単にまとめ、それに対する参観者から寄せられたコメントを要約したいと思います。

＊ 授業の概要

本時は技術の倫理の初回である。前時までは科学の倫理を扱っていたため、まずは「技術とは何か」、特に科学と技術の違いについて説明された（15分）。つづいて、本時は「あることが起こったときに技術者がどういう行為をとるか」というケーススタディをワークシートに沿って実践すると説明する（5分）。便宜上「チャレンジャー号」の事故を4つの局面に分け、各局面に追い込まれていく技術者・ボイジョリーの立場になったつもりでワークシートに自分の考えを書き込むよう指示する。各局面でボイジョリーが実際に取った行為や背景説明を加えながらワークシートに記入させ、「チャレンジャー号爆破」場面をビデオ映像で視聴する。さらに事故後の技術者の行動を予測させ、授業の最後では「自分の考えた行為」と「技術者が現実にとった行為」との比較を通して感じたこと・考えたことを書かせる（記入20分／説明50分）。

＊ 参観者のコメント（特に「参考になった」点についてのまとめ）

- ① **板書の仕方**：1枚の黒板あたりの文字情報量が適切であり、文字の大きさも筆圧も最後尾の学生からよく見える配慮がなされている。
- ② **1回分の授業のつくり方**：1回完結型の授業構成で、その1回分が大変よく練られたストーリー性の高い展開となっている。ケーススタディで〈状況〉を与え、ワークシートで〈考える〉場を創っている。ペース配分もよく考えられており、こまめに作業を入れていくことで学生に寝る間を与えず、次第に惹き込まれていくという雰囲気創っている。
- ③ **教育内容・教材論**：直接の専門領域ではない科学技術の倫理ではありながら、関連する教科書類の下調べに始まり、豊かな教育内容研究に支えられた授業内容の厳選が行われ、学生に本当に考えさせたい内容を限られた時間に盛り込むための削ぎ落としが丁寧になされている。さらにその教育内容を見事に反映した教材が選ばれており、ビデオ教材のピンポイントの効果的な使用によって臨場感を醸し出していた。
- ④ **授業者の語り**：学生がnote-takingをしたり、授業者からの指示が通るのを〈待つ〉時間に対して配慮がなされており、〈間〉のとれたテンポのよい語り口が印象的である。
- ⑤ **学生の学び方**：学生が授業の中で〈考える〉と



いう経験をもつまでには相当な準備と場づくりが必要であることがわかった。たとえばケーススタディのような具体的な問題場面に引き込んで考えるための状況設定をすることなど。授業者が書いた板書をただ写すというのではなく、板書された内容が実は〈考える〉ための素材になっている。板書が「意味あるもの」として学生に聴かれ（受容され）、note-take の必然性を創り出している。授業者が思っているほど、学生は機敏には反応していないということがわかった。〈考える〉という必要性を授業の中で学生が感じ取るまでには〈書く〉ときの時間が必要である。

むすびにかえて——授業者・学生と参観者とのズレに触れること——

今回の検討会でもっとも印象的だったのは、公開された授業で小野原さん（実は学生も）が感じていたことと、参観者が感じていたこととの間に大きなズレがあったことでした。検討会の場で、小野原さんは開口一番「とても当惑しています」と語りました。この日は普段以上に時間が足りず焦っておられました。学生もそれを感じており、ワークシートには「早くてついていけなかった」という声を寄せています。ところが、参観者の多くは小野原さんの語りのテンポや授業構成をみて「間がある。学生をよく待っている」という印象を語りました。

「時間がない」というのはこの授業では必至です。小野原さんのねらいは学生に少しでも自分の頭で考えさせたいというもので、これは誰もが共有し得るねらいでしょう。授業後のインタビューでも「僕の授業改善の出発点はワークシート。2 年前に使い始めて、とにかく〈自分の頭で考えさせること〉をしなくちゃと思って使っているが、時間が足りなくて…」と語っています。〈自分で考える〉ためにはそれに必要な知識やものの見方も提示しなくてははいけません。常にその両者の〈せめぎあい〉の中で私たちは授業を創っています。授業者としては同じ悩みを共有しているはずが、1 つの授業を参観者として経験したとき、目にした風景や時間経験の感覚は違って来るようです。参観者になって初めてみえてくるものがあるということでしょう。

では、授業者・学生と参観者の間に生じたこの大きなズレは、これからの「授業公開&検討会」に何を示唆しているのでしょうか。授業者のねらいと学生の実感・実態、授業者からみた授業の風景と参観者からみた風景、そこにはいくつものズレがありそうです。そのズレをまずは出し合ってみるところから始めていけたらと思うのです。学生の声に応えるのは容易ではありませんが、〈考える＝想像する〉ことを避けがちな学生に対して、講義型授業でこそじっくり考え、自分の思いをことばにさせていきたい。そうしたねらいを同じようにもって授業をしても、その実現のための授業ツールや場づくりの手法は授業環境（受講者数等）によっても個々の教員によっても多種多様でしょう。授業をみあうなかに生まれる見え方の差にこそ授業改善へのヒントがありそうです。差異のあるところに学びは生まれます。まずは授業をお互いにみあい、学生の学びの実態をつかみ、情報を共有していくことで、私たち 1 人 1 人の教員の授業づくりに対する知恵や思いがさらに刺激され、授業改善への道が拓かれていけばと思います。

日 時 平成16年12月3日(水)

10:10~11:50 授業公開(M4教室)

12:00~12:50 検討会(行政政策学類大会議室)

授業名 総合科目「現代社会と環境」

テーマ 『食品リサイクル』

授業者 後藤 忍(共生システム理工学類)



1. はじめに

FDワークショップ授業公開&検討会の第2弾として、2004年12月3日(金)に共生システム学類の後藤忍助教授による授業公開が行われた。授業公開後、後藤氏を囲み、参観者による検討会が開催された。以下は授業公開の模様と検討会の内容である。

2. 授業の概要

公開された授業は総合科目「現代社会と環境」で、テーマは「循環型社会の創造に向けて～廃棄物問題を中心に～」である。後藤氏の担当部分は講義計画では第8回目にあたり、「食品リサイクル」というテーマで講義を行った。受講者は30名である。

授業の導入部は前回の感想文中の質問への回答だった。続いて講義の中心となる「食品廃棄物と有機物循環」「食品リサイクル法の概要」「食品リサイクルの取り組みと課題」について、豊富なレジュメとパワーポイントの組み合わせによって展開された。パワーポイントは視覚的だが一時的という限界があり、レジュメは繰り返し手元で確認できる有効な資料だ。また、堆肥のサンプルという実物の教材も用意され、受講者にとっては豊富な教材研究に基づく充実した授業内容だった。

3. 学生アンケートの結果

学生から回収したアンケート結果の評価Ptの平均値をみると①「担当教員の授業への熱意が感じられた」(評価Pt平均値 4.77)②「聞き取りやすい話し方だった」(評価Pt平均値 3.97)③「板書・OHPなどは見やすかった」(評価Pt平均値 4.54)④「内容の進め方、教材等に学生の学びを助ける工夫が感じられた」(評価Pt平均値 4.54)⑤「授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気が保たれた」(評価Pt平均値 4.47)⑥「授業は理解できた」(評価Pt平均値 4.37)であった。

授業に参加して感じたことへの自由記述と併せて評価Ptの平均値をみると、綿密になされた教材研究への評価が高いことがわかる。①に対して「後藤先生は毎回授業をいかにわかりやすくするか工夫していると思う」「たのしかったです」とあるように、Ptが一番高かった理由が明白だ。②に対しては「時々、聞き取りづらいことがあった」「先生の声がもっと大きくなれば私はもっと聞き取りやすいと思いますので、よろしくお願いします」であった。参観した教員も感じたところがあり、学生からの評価Ptにも現れているようであ

る。③に対しては「黒板の文字が OHP で見えない」とあるが、これは⑤との関わりとも受け止めることができる。④に対しては「レジュメが冊子になるのはとてもいいと思います」「全体の流れが良くまとまっていて、飽きずに集中することができた」「ハンドアウトが革新的だと思う」「やはりパワーポイントを使つての授業はいい！と改めて思った。見やすいし、図などもあって理解しやすい。今後はこういった授業が増えたらいいなと思える授業だった」とあり、評価 Pt の高さの根拠がわかる。⑤に対しては「教室が寒かった」とあり、授業以前の大学施設の改善点が指摘された。⑥に対しては下から 2 番目に低い評価 Pt（と言っても高いが）で、「食品リサイクルの仕組みを理解することができてよかった。今後の生活に生かしていきたいと思う」「非常に良かった！！」「いい」という好評価の反面、「難しい言葉の使用が時々あったので、わからない所がありました」という正直な記述もあった。学生の理解力には個人差がある。

総じて学生は「この授業は今まで知らなかったことを聞けるので毎週楽しみ」とあるように、後藤氏をはじめ担当教員の授業に対する熱意を感じ取り、意欲をもって授業に臨んでいるようである。

4. 検討会での感想

授業公開参観者 16 名の教員のうち 14 名の出席によって行われた検討会での感想の一部を評価項目に添って以下に報告する。

- ① 担当教員の熱意について：「これくらい授業の準備をして授業をすると、熱意が学生にすぐく伝わっているんじゃないかという印象を持ちました」とあるように、その資料とパワーポイントの組み合わせは圧巻であり、教材研究は学生に熱意を伝える有効な手段であると感じた。



- ② 話し方について：学生からの評価 Pt は一番低かったが、「学生にはほとんど作業させることなしに、ひとまず最後までしっかりとちゃんと話を聞かせる。非常に印象的で、内容的にもメリハリがあり、話し方は非常に淡々としているにもかかわらずそれが達成できたのはすごいなと思いました」という受け取り方もあり、評価が分かれるところである。

- ③ 見やすさについて：「パワーポイントの中身が豊富であるにもかかわらず、とても画像と文字と図表とが効果的に用いられていて、なおかつ学生さんの手元にレジュメがあるので安定している点です」とあるように、単に映像のピントだけではなくレジュメとパワーポイントの組み合わせによるバランスの安定性も必要であると感じた。
- ④ 学びを助ける工夫について：「人の授業というものはたまには覗かせてもらうべきなんだということを改めて感じました。若い先生の良さっていうものがいろいろ出ているんだなと感じました。ひとつはパワーポイントとレジュメを上手く組み合わせて、非

常に盛りだくさんのことを体系的にメリハリつけて授業を構成し、パワーポイントの作成、非常に工夫と努力の跡が見られまして、かつ若い学生にとってはかなり効果的に受け止めてもらえる形だったと見受けられました。私のようなものは・・・完璧 20 世紀型人間で・・・。したがって 21 世紀の授業というのはああいう形で進めるというのがひとつのモデルということになってくるのかなと感じさせられました」とあるように、レジュメとパワーポイントの組み合わせだけではなく、パワーポイントの中身も工夫されているプレゼンテーションであり、他の教員への刺激にもなったことがわかる。

- ⑤ 雰囲気について：「ひとつだけ、配付資料を前に置くというのは特に何か意図があるんですか？ 僕なんかは、ガサゴソするので後ろの方に置いたりするんですが。『後藤氏：いや、特に』聞いている学生との関係でどうかなあと。そんなことがちょっと気になったということです」「遅刻者がうろうろして集中力を妨げるので、資料は後ろに置いては」という感想が出されたが、遅刻者の行動が気になったことには同感だった。

- ⑥ 授業の理解について：「基礎知識を考えると難しいんじゃないかなって思いました。内容的に」という感想が出され、「理解」ということについて若干議論がなされた。しかし「僕はね、あとで授業が終わってから隣にいた学生に聞いたんですよ。どうだったかを。男の学生、何年生か知りません。風貌からすれば 4 年生の感じでしたけれどね。『すごくわかりやすかったです』と言ってました。パワーポイントの効果ということで、内容が分かりやすくて理解できたというふうに彼は言ってました」とあるように、後藤氏の熱意と工夫が、大半の学生の理解を助けたようだ。



5. おわりに

FD ワークショップでは授業公開&検討会を第 1 弾から第 4 弾まで実施した。これらの授業公開は板書型の授業、機器類（パワーポイント）を使った授業、大講義室（L 教室）での授業と、様々なタイプ、条件での授業であり、非常に意義ある授業公開&検討会となった。

しかし、タイムスケジュールや会場の設定、検討会の進め方においては「時間に追われて聞いてみたかったことが出せないままに時間切れ」「もっと討論の時間があると良い」などの意見が出され、今後の検討課題が指摘された。

最後に、後藤氏はじめ授業者になっていただいた教員各位に深く感謝申し上げたい。

第三弾報告

経済経営学類 井上 健

日 時 平成16年12月6日(月)

10:20~11:50 授業公開(L4教室)

12:00~12:50 検討会(経済経営学類大会議室)

授業名 経済学概論B

テーマ 『消費・投資・政府支出・純輸出』

授業者 箱木 禮子 (経済経営学類)



「授業公開」10:20~11:50(L4教室)

L4教室の座席がほぼ全部学生で一杯となっていたため、参観者は終始立ち見の状態であった。授業の開始とともに資料(韓国のある企業が大規模な設備投資の計画を発表したという新聞記事のコピー)が配布された。この例をもとに、簡単な数値例を出して、投資が増加した結果、GDPがいくら増加するかを学生に求めさせていた。基本的な説明は板書で行うというスタイルであるとともに、ゆっくりとした口調で様々な事例紹介がなされ、理論と現実の結び付けに相当な時間が割かれた。後半では、投資が減少した場合のGDPの減少について、やはり具体的な数値例を用いて計算させていた。同じ内容を様々な形で繰り返し作業させることで、理解のみにとどまらず、定着という所まで到達させるというねらいが感じられた。同内容を扱う場合の平均的な時間と比較すると、少なくとも2倍以上の時間が割かれており、新入生の入門者向けということに徹底してこだわった授業展開であった。授業の最後の10分間は質問の時間に充てられ、この日も数人の学生が実際に質問に来ており、全ての質問に答え終わったのは、授業終了後10分経過した頃であった。

「検討会」12:00~12:50(経済経営学類大会議室)

はじめに参加者全員に授業を見学した上での感想・質問等を出してもらい、それを受けて、箱木氏にコメントしてもらうという形となった。

1. 参加者のコメント

【授業全体について】

- ・L4教室の授業で、遅刻者、ぬけだす者、目立つほどに私語する者、などが、あれほど少ないのは、驚くべきことだ。

【授業の組み立てについて】

- ・知識を伝える授業をどうすすめたらいいか、という点で、参考になった。ただ、あそこまで、ていねいでなくともよかったのでは、という気もする。
- ・自分の授業でも、理論と現実をどう結びつけるか、工夫がいていると思っている。そこで、新聞記事の利用や、学生に実際、計算させることは、ヒントになった。
- ・学生の反応を、どう確かめるか、とてもむづかしい。わたしの授業では、さいごに新聞記事などをわたしているが、今日のように、さいしょにわたすほうが、学生の反応はいいか

もしれない、と思った。

- ・教えるテクニックが、とてもいい。基本用語を多面的に用い、また説明し、学生に納得させている。わたしも、経済の見方がわかった！
- ・L4 教室での授業ということで、注目していた。ベテランの授業という、印象をもった。テンポが、ゆったりとしていた。分数の計算まで教えるとは、驚きだ。計算させる場合、学生はどの程度できるだろうと、想定しているのか。(回答：6, 7 割の学生ができるのではないかと想定している)
- ・教えることを、限定し、選びぬいている、という印象をもった。自分でしゃべるときは、どうしても多くしゃべりすぎてしまう。
- ・わかりやすい授業で、キー・ワード、記事、板書という全体の流れが、よかった。いろいろな角度から、中心の項目に接近している。ときどきはさまれる外国視察の詰も有効。いくつかの新聞の比較も、学生にはいいと思った。

【板書について】

- ・わたし自身は、授業でコピーを使っているが、今日、あらためて思った。板書は、ライブだ！書かれるその場に、学生も参加している。黒板、黒板ふきの問題があるのか、少し見にくかったのは、残念だった。

【質問時間を授業の後、10 分ほどとることについて】

- ・学生は、なかなか、質問しづらいと思う。その点、あとで質問時間を設定するのは、良いアイデアではないかと思う。

2. 箱木氏のコメント

- ・レジメは配らない。一つの資料は、二度は配らない(休んだひとは、もらえない)。全部は、教えない(あとで、わかるようにしたりする)。前回しゃべったことに、少し触れる、等々、いろいろな手段を駆使している。これは、ひとつには、卒業後のことを考えて。会社にはいったら、なにもかも、世話してもらえわけではない、ということを知ってもらうため。もうひとつには、いつも出席していないと、わからなくなる、という意識をもってもらうため。ただ、相手によって、必要なときは、レジメを配布。
- ・テキストを使わないのは、テキストにも説明していないような、基本の基本、初歩の初歩を教えているため。
- ・新聞記事を資料として使うときは、いくつかをくらべ、目的におうじて、用いる。あるときは、わかりやすいものを。べつのときは、少し高度で、学生がつまずくものを、というように。
- ・黒板が、本当は、もっと大きく、使いやすいと、よい。それが無理なら、せめて、ふけばきれいになる黒板ふきが欲しい！



第四弾報告

人間発達文化学類 天形 健

日 時 平成16年12月13日(月)

8:40~10:10 授業公開(M2教室)

10:20~11:15 検討会(行政政策学類大会議室)

授業名 自然 I

テーマ 『アナログからデジタルへ』

授業者 山口 克彦(共生システム理工学類)



福島大学FDプロジェクトにより、全4回にわたって企画されました「FDワークショップ授業公開&検討会」の最終回となる授業公開及び検討会が以下の日程で行われました。

参観者による授業への影響もなく、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されました。受講学生約80名がほぼぎっしりと教室を埋め、参観者に立ち見が出る状況で授業への遅刻者も少なく、集中度の高い授業であったと思われます。授業内容は基礎物理学に関する専門的ジャンルであったため、参観者の理解を超える部分もあったようですが、報告会では授業の運びや内容についての発言が多くあり、充実した検討会となりました。

以下、検討会での発言の抜粋・要約により報告致します。

(●印は授業者からのコメント、■印は参観者からのコメント)

●僕の授業の組み立ては「座学」「体験」という考えから、説明と実験・演習を組み入れるため、毎時間実験器具・装置等を持ち込みます。演習は本日のようなプリントを課しますが、時間不足で宿題になりがちです。受講生から、授業の感想や進捗についてのコメントもあります。教科書指定は特にしていません。

■カメラの拡大画像、量子化、符号化の図表の色を工夫した板書がとてもよい。

■学生がノート執ることを前提にした板書の工夫が大変参考になりました。自分で図を書いて確認する作業が必要であると感じています。1回ごとのテーマで内容構成が完結し、実験があり、説明や問い掛けがあって、そして演習まで盛り込んでいます。

■印象に残ったのは、板書のスピードと授業の展開です。配布プリントを説明する授業は学生が楽なだけで、ほとんど記憶には残りません。まず興味あるテーマを提示し学生のスピードに合わせて学生にノートを執らせ、先生の熱意がとても伝わってきました。

■説明しながら非常によく学生を観察しています。教室の中を回って問いかけをすることは大事です。板書も学生がノートしていることに対する配慮がありました。上から見る授業研究専用の教室があってもいいと思いました。

■科学の面白みが感じられる非常にきれいな授業でした。CDで音が再生される仕組みを標本サンプリングして、グラフ化までを丁寧に組み立てています。

■自分の授業を省みると、1コマの中に内容を詰め込みすぎです。授業テンポを見習わなくていけないと思いました。2の何乗というのを全部丁寧に板書されていました。

■内容を絞り込んでいます。「CD アナログをデジタル化するのに3つのステップがあります。」という安心して聞ける最初の説明が巧みです。機材を持ち込み、カメラ画像やパソコンの画面を後ろまで見えるようにしたのは驚きました。

■機材のアシスタントが必要なのではないかと思いました。学生の問題意識を高める為に学生に答えさせたのも大変良いと感じました。

●その場でグラフを書くのは、学生のペースを考えるほかに論理的な思考という点で時間配分に組み込

んでいます。試験はノートからほとんどそっくり出題します。板書や授業の中身は一応理解した気にはなっても、いざプリント演習ではなかなか解けません。

大きな教卓の M 棟は機材を持ち込んでも使いやすく、オシロスコープの波形を後ろまで見せるためカメラを用いるようになりました。今朝の機材セットに 20 分程を要しました。

■板書に合わせてノートを執る学生と、板書の仕上がりを見届けから取りかかる学生では差が生じているように思いました。

■大事なところである周期周波数を出す計算は大変でした。そこに時間をかけられるようにする工夫が必要です。場合によっては何か使えるものがあればと感じました。

■単純な点を打つだけなら時間に個人差はできませんが、大雑把な学生と丁寧な学生では線引きようなときに差が出てしまいます。その違いが課題であると思います。

■あれだけ丁寧にやったとしても、アンケートでは必ず難しかったという学生がいる一方で、もっと早く情報が欲しいと思う学生もかなりいると思われます。授業者は授業について行けない学生に配慮してペースを遅らせ、今の学生はスローペースだという一般的な印象をもちがちです。遅い学生に合わせることも必要ですが、大多数の学生に授業で何を伝えるのかの一線を外す訳にはいきません。それは非常に難しい永遠の課題です。

■授業の質によって何パーセントの学生に理解を求めるかの違いがあるように思います。もっとも基礎の部分になす科目で 2 割、3 割の学生が分からないと学部教育が成り立たなくなります。そういう科目では、こぼれる学生を少なくすることが課題です。選択の余地がある科目では全員がついてくることよりも、その授業の中で、「今日はこれがわかった」というものが仕掛けられていないと、授業としての意味がなくなってしまいます。

■人文社会学系大学では、最後まで残る授業に「自然」が非常に多かったように思います。山口さんが 1 人も落とさないことを目指しても落ちる学生はいます。選択の余地という問題と、この科目に対し教員側と学生側の意識にズレがあることが課題でしょう。学生によっては「教育学部に来たのに」とか、「経済学部に来たのになぜ自然をやるのか」と思っているズレがまずあり、そして単位が取れません。理系の先生が要求するものと、学生のやれることのズレを感じます。



●自然の前提とするのは高校生レベルではなく中学理科です。特に文系の学生はほとんど高校で物理は取りません。あるいは化学をやっていません。中学理化もほとんど忘れていれば前提はもっと低くなります。来年の理工学類では、今日の授業ペースでは遅過ぎると思います。両者を満足させるのは至難の業だと今から悩んでいます。

■次年度の自然と技術分野の授業内容を慎重に検討するよう理工学類にお願いしています。今回、基礎物理学をはずしたのは補正教育をやらないというのではなく、そういう学生を前提に授業の内容を組み立て、理系学生と文系学生の個人差に対し、内容構成を抜本的に見直すような作業が必要であるという危機感からです。

■学生に求められる理系的な素養とレベルという問題だと思います。

●数値自体が大事というよりは、記述式でどういう考え方をしています。試験で 100 点を取る学生は決して理系の学生だけではありません。今日の授業では、アナログとデジタルの違いは何かの理解がねらいです。言葉を覚えることより、その中の作業がどうなっているかを知ることです。また、計算力がないとも感じています。とはいって必ずしも全員が数学のレベルが落ちているわけではないのです。シラバスには「この授業を取るために高校数学の三角関数や $\log$ を使います。」と書いています。

第一弾授業

人間発達文化学類 小野原 雅夫

2003 年度に F D 講演会で山形大学の小田先生から「公開授業&検討会」の実践例についてうかがい、たいへん関心をもちました。以前は、大学教員は教育者になるための訓練を受けたことがないにもかかわらず、これまでの F D 事業では授業評価（「授業改善のための学生アンケート」）という結果分析ばかりが先行して、きちんとした研修プログラムが用意されていない点を不満に思っていました。しかし、小田先生のお話をうかがっていて、けっきょく大学教育に関しては研修・指導できるような専門家がどこかにいるわけではないということに気づきました。そういう条件下では、日々苦勞している素人の私たちが相互に授業を参観しアイデアを提供し合うという形での研修制



度、すなわち、「公開授業&検討会」というようなやり方しかないのだろうと納得し、ぜひ一度福島大学でもそれをやってみたいと考えるようになりました。そんな矢先に F D ワークショップのワーキング・グループに加わらないかというお話をいただき、今回の企画の裏方として原案作りに参加させていただくことになりました。

その段階ではまだ、自分が授業を公開することになるとは思っていませんでしたが、言い出しっぺが第 1 号を務めなければならないというのは永遠の真理のようで、人様にお見せできるような代物でないことは重々承知の上でしたが、先々この試みを続けていくためには、第 1 号が不完全なものであればあるほど検討会も盛り上がっていいのだろうと思い、覚悟を決めることにいたしました。

第 1 弾の「授業公開&検討会」は、他の授業がない水曜日の午後に時間を移して行われたためか、多くの先生方に参観していただくことができました。まずは私の拙い授業を見に来てくださった方々に御礼を申し上げたいと思います。また日程変更にもかかわらずちゃんと出席してくれ、ただでさえ狭い教室の中、大学教員の視線にさらされながら授業を受けてくださった学生の皆さんにも御礼を申し上げたいと思います。

これは本当にたまたまだったのですが、公開した日の授業は私の数ある授業の中でも、また半期の 15 回の中でも最も完成度の高い回で、あの授業を見て誉めてもらえなければたぶん一生誉めてもらえないだろうというくらいのものでした。自分の中の一番いいところを見てもらえたというのは、公開する授業者としてはホッと胸をなでおろす部分もありますが、本来の趣旨からして、皆さんからいろいろご意見をいただくためには、その前の週や翌週の授業を見ていただいた方がよかったなと少し後悔もしています。

検討会にも大勢の方々に出席していただきました。むしろ人数が多すぎたため、参加者全員の自己紹介と授業者への暖かい一言だけをお聞きしたところで時間が尽きてしまい、突っ込んだ授業の検討に入ることができず、皆さんにもたぶん言い足りない思いを残したであろうことが悔やまれますが、今回は「授業公開&検討会」のノウハウや雰囲気を読んでいただくというのが主たる目的でしたので、授業者が批判の矢面に立たされたりすることなく、明るく楽



しい雰囲気で会を終えられたのはよかったのではないのでしょうか。検討会の中でもいくつか「ここが気になった」とか、「こう直したら」といったご意見をうかがうことができましたし、会のあと参加者の皆さまの参観メモを頂戴し、そこにも様々な意見やアイディアを記していただいておりますので、たいへん参考になり、翌週の授業からすぐに取り入れさせていただいたものもありました。少し勇気が必要でしたが、思い切って公開してよかったと思います。今後は「授業公開&検討会」を、全学や学類といった大きな規模ではなく、できるだけ小さな単位でアットホームに続けていくことができれば、福島大学は、新学類制度という骨格レベルに加えて、個々の授業という細胞レベルでもパワーアップしていけるのではないかと感じました。



第二弾授業

共生システム理工学類 後藤 忍

1. はじめに

今回、企画された第1～4弾までの授業公開のうち、第2弾を担当させていただきました。自分の専門講義ではなく、共同で担当している総合科目の中の一コマが対象となったため、練習問題やネタの仕込みなどが通常の授業運営とは異なるものとならざるを得ませんでした。今回の企画は私自身にとっても大変有意義なものとなりました。ここでは、それらの内容について述べたいと思います。

2. 今回の企画で学んだこと

全4回のうち、第1弾の小野原先生の授業を見学させていただきましたが、自分の授業との比較で、学ぶことが数多くありました。最も大きかったのは「授業内容の絞り込み方」です。小野原先生の授業では、チョーク&ノートの伝統的な運営スタイルの中で、取り上げる素材を吟味し、90分で学生がしっかり理解できるよう贅肉をそぎ落として内容が構成されていました。また、教材も学生が飽きないよう工夫されており、その結果、ゆったりした時間の中で、学生が気持ちよく集中して取り組むことができるようになっていました。一方、自分の授業では、なるべく漏れ落ちがないように幅広く情報を載せることを優先させていて、結果的に情報量が多い授業となっており、それを時間内で終えるために進むペースが学生の理解のスピード以上に速くなっていたことに気づかされました。

3. 授業公開&検討会での感想

第1弾で学んだ点を早速自分の講義内容に反映させて、授業公開に臨みました。通常90分で扱っている量の2/3程度に内容を絞り込み、ペースを落として行いました。その結果、いつもよりしっかりと説明し、時間配分も90分にピッタリ収めることができました。

授業後の検討会で他の先生方からコメントをいただきましたが、その中で「授業内容が多すぎるのでは？」との意見を頂戴しました。前述したように、普段の2/3の量に減らした内容だったので、このコメントは意外に感じられました。

改めて考えてみると、授業に盛り込む内容について、自分自身が学生時代に受けた講義を一つの「規準」としていたことに気づきました。学生時代に受けた講義では、90分で全てが終わらないのが当たり前で、配布資料も実際には使われない場合が多々ありました。「やり残すぐらいがちょうどよい」との考え方に立った授業が多かったと思われます。同じ事を、どこか自分の授業でも行っ



ていた面があり、あまり好ましくない再生産だったと感じています。情報量の多い授業は、学生にとって予習や復習が必然的に求められたり、興味を持った人がさらに学べたりするという良い(?)側面もありますが、必ずしも学生の満足度が高い授業とはなっていない側面を否定できません。このことを再認識できました。

4. 終わりに

教員が行う授業は、授業公開のような機会がない以上、教員自身が学生時代に受けた講義が一つの「規準」になるのはやむを得ないと思われます。今後、今回の企画のように、他の先生方の授業方法を知る

試みを通じて、常に「規準」をバージョンアップしていくことの必要性を感じました。様々な「規準」

を検討し、学生にとって「出席したくなる授業」「心に残る授業」、さらには「感動する授業」とできるよう改善していきたいと思っています。

第三弾授業

経済経営学類 箱木 禮子

F D委員会で授業公開してくれる人を探している、との情報を若手委員から聞いたとき、授業の公開はそれほど大変だとは思わなかった。事実、公開当日もいつもと変わらず、300人の学生をなだめたりすかしたりしながら経済学の初歩を話した。授業が終わるとF D委員会から招請があって何人かの委員の方と懇談した。席上、大変ほめていただいたり励まされたりして恐縮した。

授業の公開は、すでに2年ほど社会人への公開講義の形で行っていた。社会人の方々は大変熱心で、ほとんど休まない人もいた。公開する前としたあとで変化したことは、一種の緊張感だった。それまでは、夜間主の授業に出てくる学生も授業をするほうも、リラックスといえるほどのゆったりした気分であつたように思う。しかし一般市民が何がお金をお金払って聞きにきてくれるとなると、それに見合った講義をしたいと思うようになった。学生のほうも、見慣れない市民の皆さんが熱心に聴いているのでいつものように「でれっと」はできない。教室に一種の快い緊張感が走ったものである。

今回の公開授業はかなり物々しく、カメラまで入ったようだったが、学生は思ったほど緊張する様子もなく、いつもと変わらない授業風景をお見せできたと思う。通常の授業でもっとも心がけていることは、「わかりやすい」ということである。もうひとつは、できるだけ観念的な説明を避け、事実や現実を伝える、ということである。どちらも、学生が「ねむくならない」ための工夫である。そのほか、ゆっくり話す、とか、計算や作図など手を動かす作業をさせる、外国の紙幣や本物の株券などをみせて彼らの興味を掻き立てる工夫もする。また、講義の最後に必ず質問の時間をとる。たいてい数人の学生がやってきてわからなかったところを聞いていくが、「わかった」という感覚がもてたときの彼らの顔を見るのは教師名利である。この講義では、「レジュメは配らない」、「一度配った資料は再配布しない」という方針を立て、なぜそうするかを説明した上で実行したが、学生からは文句は出なかった。むしろノートは自分でとるもの、と思ったのか、学期の終わりごろには立派なノートを取る学生がふえた。



授業後のF D委員会での検討の中で、板書について「もう少し工夫してみても」というアドバイスがあった。これは自覚していたので、これから工夫してみたいと思う。教育学の専門家によれば、われわれ教育学の素人でもどうやら「適切な方法に則って」授業をしているとのことだったが、どのような教育方法が学問的に「適切である」のか一度教えていただきたいものと思った。このような公開授業の事例をたくさん集め、専門家によりよい教授法を開発していただくことを願っている。

第四弾授業

共生システム理工学類 山口 克彦

去る12月13日、月曜の1コマ目に行っている共通教育科目自然I「音楽と映像の物理学」の授業を公開しました。この授業は4年前から始めたもので、今年はある程度内容が落ち着いてきたかなと思っていましたが、やはり公開するとなると多少緊張して当日を迎えました。物理学は純粋な座学ではなく、実験を通して学生の五感にも訴えながら行う授業がいいと思っているので、毎週台車に実験装置を積んでござと運んでいます。この日もオシロスコープやスピーカなどをM2教室に搬入し、おおよそ教卓に並べたところで授業開始となりました。学生には授業公開をするとは言っていませんでしたので、後ろの席に座っている先生方を見て、今日は一体なんだろう？と多少気にしているようでした。はじめに授業公開のことを告げ、でもお互いいつもどおりやりましょう、といって内容に入りました。中身は「アナログからデジタルへ」ということでCDなどの原理についての話がこの日のテーマでした。“音楽に潜む物理”の最終話なので、話が少々込み入っていたかもしれません。ふっと、聞きにきてくれている先生方にもわかっていただきたいな、と不遜にも考えました。演示実験は変なトラブルもなく済みました。演習の時間は十分には取れませんでした。来週用意してくるものを伝えて終了し、まずはホッとしました。

その後授業検討会へ参加し、コメントをもらいました。ただ検討会の方針として、まずはほめるということで、ちょっとこそばゆい気もしました。特に板書は日頃もう少しきれいに書ければいいのにと感じていましたから、板書がよいといわれて意外な気持ちになりました。大分ドタバタした授業だと思っていたので進行の悪さが目に付いたのではと予想していたのですが、好意的に見ていただきました。1テーマを90分でこなしているのが時間的に少々厳しく、つい最後の演習は各自にプリントを配って宿題としてしまうことが多いのですが、コメントとしてプリントをワークシートとして使えば2度手間を省けて進行に余裕がもてるのでは、といわれてなるほどそういうものだなあ、と貴重なアドバイスとして受け止めさせてもらいました。



授業公開を依頼された当初、先生方の見に来やすい水曜日などにしてほしいといわれたのを、学生の都合があるから時間は移したくないといってしまったので、FDワーキングの方には無理な調整をしていただいたと思っています。紙面を借りてお詫びします。また都合をつけて聞きに来てくださった先生や職員の方々に感謝します。なかなか自分の授業を見てもらう機会は今まで少なかったのですが、直接見ていただくことで授業者の気づいていない点を客観的に把握してもらうことが可能になった気がします。改善点を指摘してもらうことももちろんですが、実は自分が何気なく行っていたことが見てもらった方の参考になる部分もあったりして、互いに得るところが多いように思います。また今回の授業公開はいくつかのパターンの授業をまずは見てみよう、という主旨だと思います。そのためその授業の評価うんぬんというよりは参考になる点はどこか、という方針で見てもらったと思います。おそらくこの授業に対しても参加者の中にはもう少し批判的な意見をお持ちの方もいたのではないかと思います。できればそのような意見も後で頂きたかった気もします。授業の評価というのはなかなか難しいですが、学生に行う期末アンケートではどうも見えにくいものもあると思っています。もちろん学生が授業の主体である以上、彼らの意見は重要ですが、アンケートにあらわれないものがあるような気がしています。その点、今回のように教職員に見てもらうことは授業内の教員と学生という閉じた関係から離れたところでコメントをもらえることができ、大変有用だと感じました。今後ともこのような試みが継続的に発展するよう期待しています。

FDワークショップ「授業公開&検討会」参観感想

(第1弾・第2弾参観)

人間発達文化学類 安田俊広

私は「生理学」や「解剖学」といった授業を担当しています。これらの授業は、どちらかというと知識提供型の授業であり、学生に考えさせたり作業させたりといったことが少ないため、授業に関心の薄い学生は退屈な様子を見せてしまいます。授業の方法として学生参加



型の内容を取り入れられないか、あるいは、知識を提供する中でも学生の知的好奇心を刺激して授業に引きつける方法はないかという試行錯誤を繰り返しております。今回の授業公開&検討会でそれらのヒントが見つけれればと思い、参加してみました。

全部で4回行われた授業公開のうち、時間の都合で最初の2回しか参加できませんでしたが、先生方の授業を拝見する機会を得て大変参考になりました。

第1回目、倫理学の授業は、スペースシャトルの爆発炎上までの経緯とそれに関与した技術者の倫理についてあなたならどうする？と学生に問いかける内容です。私の授業とは性質の異なる内容ですので、授業のペースや資料提供の仕方が異なるのは当然ですが、それでもそのゆっくりした授業の進め方に少し驚きました。私はどうしてもたくさんの情報を学生に伝えなければと思い、どんどんしゃべってしまいます。しかし小テストを行うと十分に学生には伝わっていないと感じることが多く、今回の授業を拝見してペース配分を工夫する必要があるのかもしれないと感じました。

もう一つ私が疑問に感じたのは、なぜスペースシャトルの事故発生までの経緯を少しずつ板書して説明するのか？どうして先に資料として渡してしまい、もっと学生に考える時間をとらないのか？という点です。おそらく、資料として渡してしまうことによって学生は先に全部読んでしまい、授業への集中力をなくしてしまうことを危惧しているのだらうと感じました。私の場合、資料は授業の最初に配ってしまいましたが、その配付の仕方にも工夫してみる価値があるような気がしました。

第2回目の授業公開は食品リサイクルに関する授業でした。PowerPoint をベースにして授業を展開していくという私と同じスタイルですので大変参考になりました。食品リサイクルという内容をいかに学生にわかりやすく伝えるか、苦勞されている様子がスライドから読みとることができました。スライドにただ情報を書き込むだけでなく、魚の切り身の写真や4本足の鳥の絵、本物の土を持ってきて触れせるなど、学生自身が自分の身の回りの環境に関心を向け、考えさせるための仕掛けが随所に見られました。また、適度な情報量のレジメがPowerPoint をしっかり補完して学生の理解を助けています。私自身、PowerPoint を使用

して授業をするので、今回の授業にどれだけ多くの時間と労力が必要になるのか容易に推測することができます。正直な感想としては、ここまで準備すれば確かに学生にわかりやすくなるだろうけれども、15回全部は困難だと感じました。5年ぐらいかけて少しずつ内容を吟味、改善して行こうかなと、密かに決意しました。

大学における授業づくりの試みについて

(第1弾参観)

人間発達文化学類 西内 裕一

小野原さんの授業は、きわめて良質な説明型の授業だったと思います。

教師自身教える内容が明確に把握されており、そのための教材も十分に工夫されたものであったと思います。作業課題と学習の流れが明確なワークシート、そして必要かつ十分なビデオの視聴、簡潔で要領を得た説明、構造的な板書、明確な発問と指示、声の調子とトーン、いずれも教師自身の教授行為として素晴らしいものだと思います。

しかしながら、一方で、学生の学習活動の質はどうだったのでしょうか。

この授業での学生の学習活動は、ワークシートに自分の考えを書き込む作業の時間が、4回の合計で16分、それ以外の時間は小野原さんの説明を聞き、板書を写すという感じです。書いた自分の考えを発表し、他の学生からの意見を聞く、そして自分の考えを修正していくという時間ありませんでした。

大学ではこういう授業が圧倒的に多いのですが、全体的に教師の「教え」を中心としたものであり、学生の「学び」を中心としたものではなかったかなと思います。もちろん、この1コマの授業だけでどうこういえるものではないのですが。

教師がていねいに教えれば教えるほど、学生は自ら学ばなくなっていくような傾向が最近では大学においても顕著に見られます。学生が自ら学ぶようになっていくためには、「教え」中心の授業から「学び」中心の授業へと、教師自身も授業観を転換していく必要があるようです。

また、「教える＝伝達」という問題と、「育てる＝変容」という問題を、教師自身が授業のなかでどのように解いていくかという問題でもあります。

これは教育学の世界では「模倣的様式」と「変容的様式」の問題として議論されてきたものであり、大学も含めた日本の学校教育においては、「変容的様式」の授業と学びにあこがれつつ「模倣的様式」の授業と学びに縛られているという現実があるのでしょう。



小野原さんの授業、そしてそのあとの検討会においても、そのあたりの問題が見え隠れしていて面白かったです。

と、注文ばかりつけていては申し訳ないので、「そういうおまえの授業はどうなんだ」とい

う声が聞こえてきそうですので、私自身の授業については、卒論の基礎ゼミと本ゼミ以外はいつでも誰にでも公開いたしますので、参観というか、参加していただくと助かります。

また、参考になりそうな文献も見つけたので、これらの本をもとに学習会等をするのもいいかもしれません。

・岩田年浩『教授が変われば大学は変わる』毎日新聞社、2000

・浅野 誠『大学の授業を変える 16 章』大月書店、1994

今回の試みを通じて感じたことなのですが、大学においても教師の同僚性を育てていくことが重要だと思います。学びの共同体としての大学を創造していくためには、学びの共同のすがたを教師自身が身をもって学生の前に示していく必要があるのです。

授業公開&検討会に参加して

(第1弾参観)

行政政策学類 中山 庸子

話し合った感想とその検討内容を具体的な発言を提示しながらまとめてみよう。

教材については、「ケーススタディで状況を与えてワークシートで考えさせるという仕掛けがすごく参考になった」「毎回異なるケーススタディを提供とはすごい」「1週で完結するようなスタイルでちょっとワークシートにしてビデオも使って、よく練られた授業」「一番面白かったのは教材。すごい参考になった」「学生が食いつく良い教材」「ずいずい引き込まれていく題材」「つい集中してしまうような面白い教材。きっかけを何で与えるのがすごい大事なのかなと」「ケーススタディによって学生の中に強烈に印象付けられる」「自分が変わる、そういうものがあつたかもしれない印象に残る授業」と高い評価を得た。



テンポ、ペースについては「非常にゆったりしていたので学生が余裕をもって参加していた」「間の取り方がよい」「間合いが学生とよくマッチしている」「学生の板書を見る様子とかプリントを書くのをみて、相当のろいことがわかった。授業の最後になってこのペースでびったりだなとわかった」というように「学生にフレンドリーなスタイル」と言えた。

板書については「非常に丁寧で文字がきれい」「文字の大きさがゆったりしていていい」「ワークシート1枚あたりほぼ6行で統一されていたので、非常に見易い。学生にたいして親切」「学生が書き写すのを待っている」「伝統的なチョーク&ノートの完成形を見せてもらった」「自分はプリントを配るが学生は憶えていない。ノートを取らせること、大事と気付いた」とこの点についても模範的であることが強調された。

作業手順、方法については「ストーリーのつくりかたがうまい」「（倫理学なので）こうあるべきだと話をしても意味がないわけで、学生がどこまで自分なりの考えを深められるかだ。内容とやり方がうまく適合したやり方だ」「授業の進行に沿ったワークシートとは思いつかなかった」「ケーススタディを前面に出してそこから抽出していくというやり方が面白い」「ビデオを（初めでなく）最後に見せたのがよかった」「ビデオで締めるのもいいものだ」「情報量過多の授業をやっているが、一つの事例を深く掘り下げていく。そしてそれを達成されているのをみてとても参考になった」「ワークシートに（段階毎に）続けて記入させる作業方法が参考になった」「（ケース内容進行のプロセスを）段階的に追って考えさせるのをなんとか自分の授業でもやってみたい」など、参考にしたいという声が多かった。

また「とにかく声が良い」「淡々」「（本人の）雰囲気全体が魅力的。聞かせる」など、生得的な要因に注目する声も賛美に終始した。学生の注意を保つ工夫として「学生の関心を最後まで引っ張りながら最後に山を作るというテクニックに大変感心した」「話全体として分りやすく大変良かった」「間を取りながらペース配分を考えてやるところが学生の興味をひきつけた」「人数が多く学生の反応があまり表に表れないにもかかわらずうまく読み取って緩急つけた話し方」「何度も笑わせようと頑張っていた」「眠い時間帯だが作業に従事させられて眠る暇がない」など「学生の参加があり、よく考えられた授業」であることが指摘された。オブザーバーの山形大学教育学部小田隆治教授は「全国的にもこれだけの良いスタートをきれたのはそんなに無いだろう。機材の使い方がいい。自分は（長い経験のあと）板書を再評価している」との評。そして司会役を勤めたファシリテーター、人間発達文化学類岩崎紀子助教授は「学生に考えさせることと板書との関係がうまくつながっていた」とし、話し合いの冒頭で教授が「FDは誉めることから始まる」との原則を提示したことから生まれた暖かいムードのおかげで、全体として「丁寧で、質の高い、無理のない流れ」「刺激が多いもの」という検討内容となり、参加者は参加して得られた満足感を述べあった。



公開授業のテーマは「国民所得の決定メカニズム」についてであった。これは、文字通り、国民所得がいかんして決定されるかを明らかにする理論であり、国民所得が低迷したり、高い失業率が発生したりするのは、総需要（有効需要）の低迷が原因であり、有効需要を増加させることが失業や遊休設備の解消に役立つと主張したケインズの「有効需要の原理」に基づくものである。また、この理論は、履修生が来年度以降の進級後に履修することになるであろう専門科目（例えば、マクロ経済学）の修得には必要不可欠な予備知識となり、大変重要な位置づけとなる内容でもある。

但し、いきなり専門的な理論内容を解説しても、学生は果たしてこの理論がどのような局面で有効なのか、理解できずにさほど興味を持たない可能性がある。そのためには、まず何よりも学生に好奇心を与えることに配慮する必要があるだろう。実際に講義では、専門的な内容の解説に入る前に、2枚の新聞記事が配布された。これらは国内・国外の設備投資に関する記事であった。これらの新聞記事を先に提示することで、今から学ぶ理論を用



いると、例えばこれらの記事に書かれている設備投資が増加した場合に、経済全体にどのような影響を及ぼすのかが理解できるのだということを説明なさった。これは、経済理論と現実問題との橋渡しの役割を担っており、これから本格的に経済学を学ぼうとする学生にとっては極めて重要なことであると思われる。学生の関心は十人十色であろうが、このように新聞などから適切かつ日常的なカレントトピックスを選び出し、それを論点とし、そこで起こっている問題を学生がこれから学習する経済学のツールで斬ってみせることが重要だと思った。

その後、この理論に関して、板書を中心に非常に丁寧な解説をされた。説明も一度で終わることなく、幾度も繰り返されていた。もちろん、一度の説明で理解できる学生も少なからずいるであろうが、上述の通り、学問的にも今後の本格的な経済学学習をする学生にとっても非常に重要な動機づけとなるテーマであるだけに、学生に正しく伝達することがまず肝要である。こうしたことに鑑みると、懇切丁寧な説明が必要不可欠なのだと強く感じた。

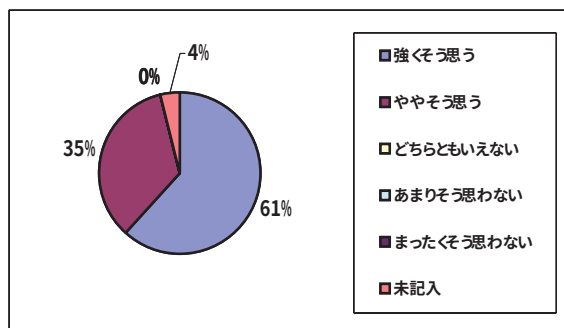
また、講義では単に知識を伝授するだけに終わらず、実際に学生がこの理論を使いこなすことができるかどうか、学生自身が考える、思考力を鍛錬することにも多くの時間を割かれていた。ここでは、学生自身が、先に配布した記事にならい、設備投資が増加した場合、または減少した場合に経済全体にどのような影響があるのかを、実際に計算することで、いままさに学習したツールを用いて経済問題を解くことを体感できたと思う。

このように、講義には、知識を伝達すべきことと、学生自身が考えることという、どちらも欠くことのできない重要な2つの側面が含まれており、非常にバランスの取れた講義であった。今後、私自身が講義を行う際に参考にしていきたいと強く思った。

FDワークショップ (平成16年11月17日実施) 第1回授業公開&検討会 教員アンケート

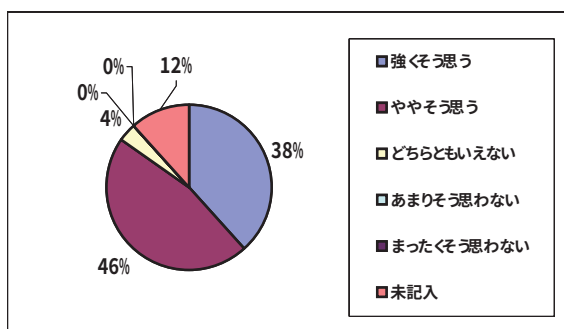
① 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。

5 強く思う	16名
4 やや思う	9名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名
合計	26名
評価P値平均値	4.64



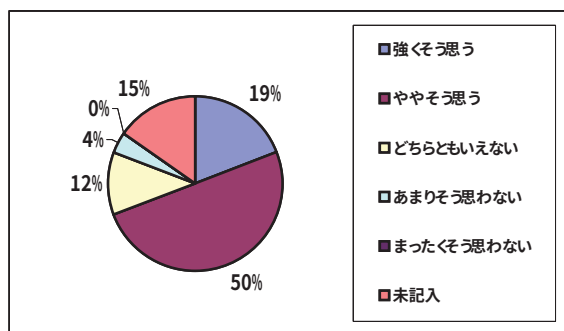
② 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。

5 強く思う	10名
4 やや思う	12名
3 どちらともいえない	1名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	3名
合計	26名
評価P値平均値	4.40



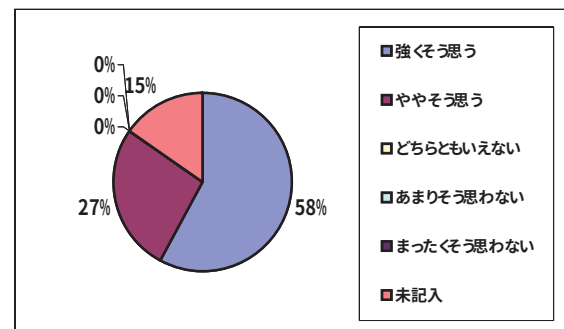
③ 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。

5 強く思う	5名
4 やや思う	13名
3 どちらともいえない	3名
2 あまり思わない	1名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	4名
合計	26名
評価P値平均値	4.00



④ 今回のFDワークショップ「授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。

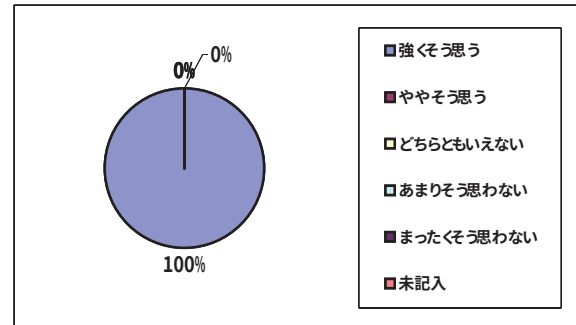
5 強く思う	15名
4 やや思う	7名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	4名
合計	26名
評価P値平均値	4.69



FDワークショップ (平成16年12月3日実施) 第2回授業公開&検討会 教員アンケート

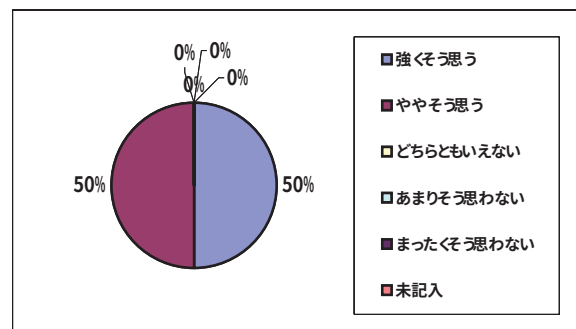
① 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。

5 強く思う	4名
4 やや思う	0名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名
合計	4名
評価P平均値	5.00



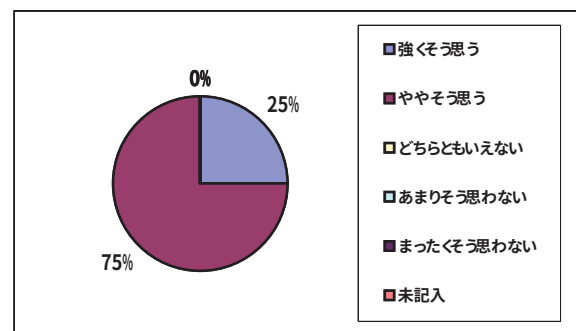
② 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。

5 強く思う	2名
4 やや思う	2名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名
合計	4名
評価P平均値	4.50



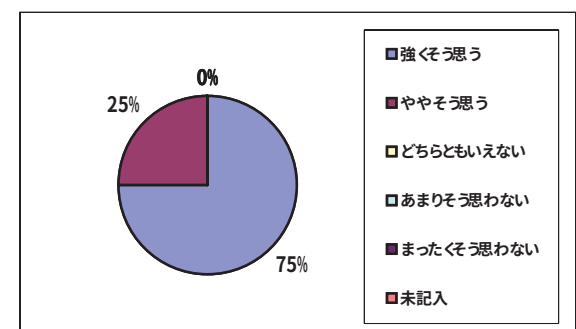
③ 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。

5 強く思う	1名
4 やや思う	3名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名
合計	4名
評価P平均値	4.25



④ 今回のFDワークショップ「授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。

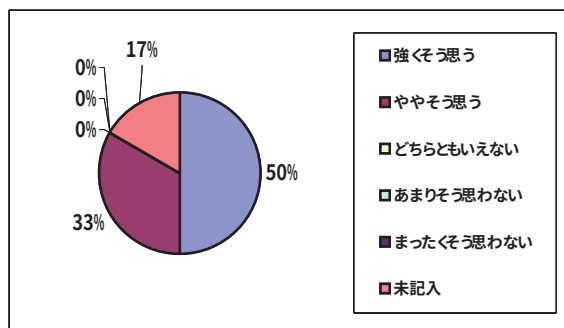
5 強く思う	3名
4 やや思う	1名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名
合計	4名
評価P平均値	4.75



FDワークショップ (平成16年12月6日実施) 第3回授業公開&検討会 教員アンケート

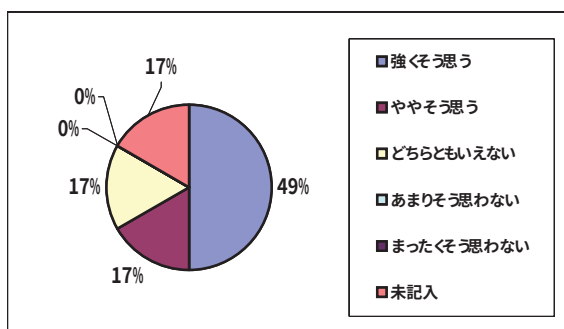
① 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。

5 強く思う	3名
4 やや思う	2名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名
合計	6名
評価P平均値	4.60



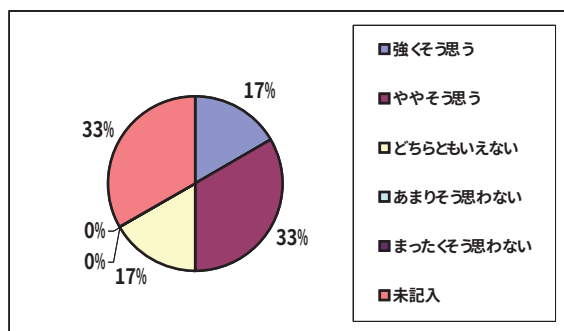
② 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。

5 強く思う	3名
4 やや思う	1名
3 どちらともいえない	1名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名
合計	6名
評価P平均値	4.40



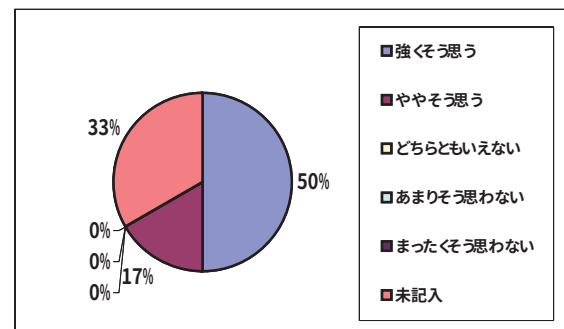
③ 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。

5 強く思う	1名
4 やや思う	2名
3 どちらともいえない	1名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	2名
合計	6名
評価P平均値	4.00



④ 今回のFDワークショップ「授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。

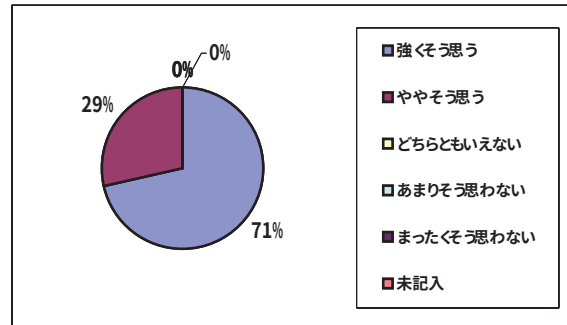
5 強く思う	3名
4 やや思う	1名
3 どちらともいえない	0名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	2名
合計	6名
評価P平均値	4.75



FDワークショップ (平成16年12月13日実施) 第4回授業公開&検討会 教員アンケート

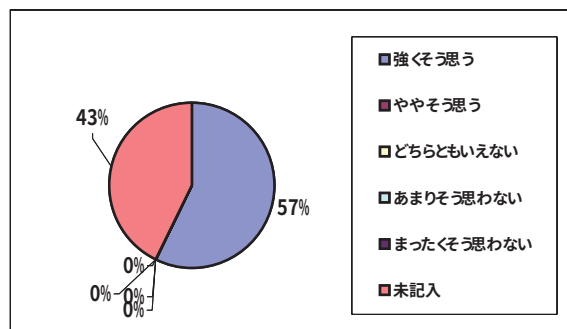
① 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。

5 強く思う	5名
4 やや思う	2名
3 どちらともいえない	0名
2 あまりそう思わない	0名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名
合計	7名
評価Pt平均値	4.72



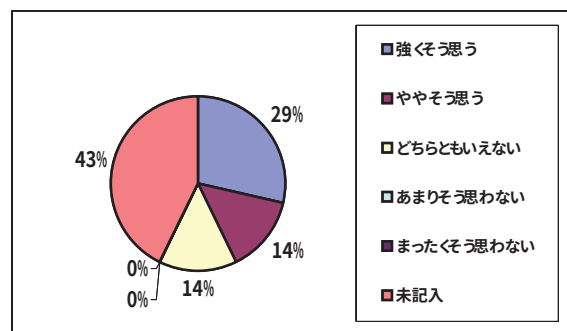
② 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。

5 強く思う	4名
4 やや思う	0名
3 どちらともいえない	0名
2 あまりそう思わない	0名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	3名
合計	7名
評価Pt平均値	5.00



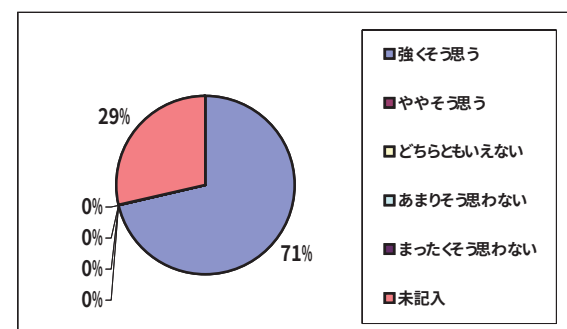
③ 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。

5 強く思う	2名
4 やや思う	1名
3 どちらともいえない	1名
2 あまりそう思わない	0名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	3名
合計	7名
評価Pt平均値	4.25



④ 今回のFDワークショップ「授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。

5 強く思う	5名
4 やや思う	0名
3 どちらともいえない	0名
2 あまりそう思わない	0名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	2名
合計	7名
評価Pt平均値	5.00



FDワークショップ (平成16年11月17日実施)

第1回授業公開&検討会 学生アンケート

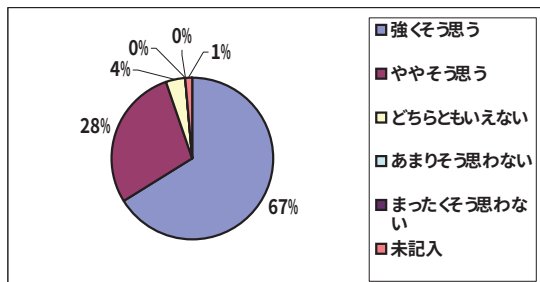
授業名	テーマ	授業者	アンケート回収枚数
倫理学概論Ⅱ 環境倫理学	科学技術と環境の倫理	小野原 雅夫 (人間発達文化学類)	74枚

1. 担当教員の授業への熱意が感じられた

5 強く思う	49名
4 やや思う	21名
3 どちらともいえない	3名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.64

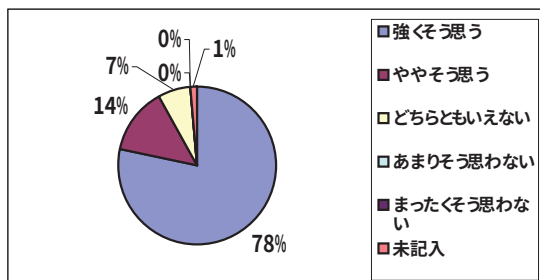


2. 聞き取りやすい話し方だった。

5 強く思う	58名
4 やや思う	10名
3 どちらともいえない	5名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.73

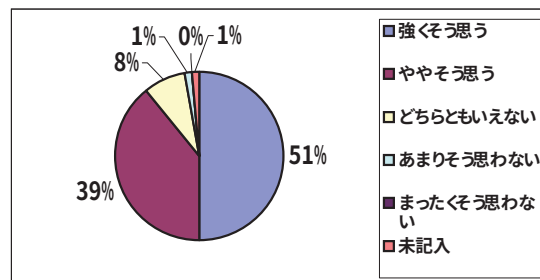


3. 板書 0HPなどは見やすかった。

5 強く思う	37名
4 やや思う	29名
3 どちらともいえない	6名
2 あまり思わない	1名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.4

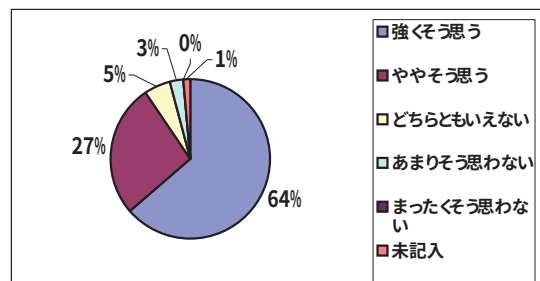


4. 内容の進め方、教材等に学生の学びを助ける工夫が感じられた。

5 強く思う	47名
4 やや思う	20名
3 どちらともいえない	4名
2 あまり思わない	2名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.54

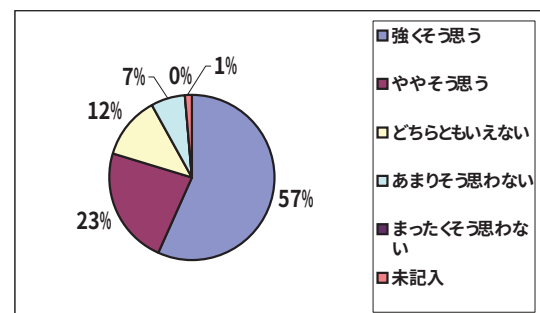


5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気保たれた。

5 強く思う	42名
4 やや思う	17名
3 どちらともいえない	9名
2 あまり思わない	5名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.32

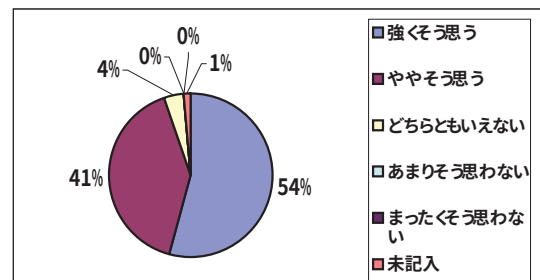


6. 授業は理解できた。

5 強く思う	40名
4 やや思う	30名
3 どちらともいえない	3名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	1名

合計 74名

評価Pt平均値 4.51



自由記述]

5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気が保たれた。

⇒もしそのような要因があった場合には具体的に書いてください

- 一番最初の授業で「教室の倫理」について説明があったから。
- いつも学生たちに遅刻するなどいっている先生達が遅刻してくるのはおかしいのでは？
- 後ろで聴講してる人の鼻息や機会音がうるさい。息くらい静かにしてほしい。
- 後ろの席がうまっていたせいか授業中の出入りが多い。まえに人が集中して人で黒板がみづらかった。
- 後ろの先生たちがうるさい時があった。(笑い声は別として。)
- カメラがあった。いつもより人数が多い
- けいたいがならなかったり、静かに受けれる。
- 最初の授業でのくぎをさしてやっていいこと、悪いことを示したのが要因だと思う
- 授業が始まってから10分くらい、人の出入りが多かったこと。
- 授業の進め方やビデオを取り入れた所、生徒の出入り
- 途中で入退室があった。
- なんか先生が多くて…。うしろをふりむくと、先生と目が合ってきた。
- 話の続きを考えたい、そんな授業内容だった。
- ビデオを回しているのが気になった。

今日の授業に参加して感じたことを自由に書いてください。

- FDの動きが最近活発になってきたようで、私は良い傾向と受けとめている。
- 新しい視点からみれておもしろかった。
- いつもと違って、考える部分が多く楽しかった。
- 今の現状がよく理解できた。
- 色々な可能性を考えられておもしろかった。
- 色々な話がこの講義では聞けるので楽しい。毎回真剣に話してくれるため、飽きない。
- 印象深く、考えさせられた。
- 面白い授業でした。
- おもしろかった。カメラが嫌だった。
- おもしろかった。興味を持てた。きんちょうした。
- おもしろかったです。
- 技術者の立場になって考えることはなかったので良い経験になった。
- 今日の授業は、これからの社会へ出ていく私にとって学ぶことが多々あるものだった。
- 今日の授業も楽しかったです。
- 今日は授業の進行もとてもわかりやすくよかったです。自分の考えを考える時間も適度だったと思います。
- 空気が悪かった。
- 現代社会の裏の面があるようで恐かった。
- 実際にビデオで、爆発する瞬間の映像におどろいたけど、授業を理解する上では有効だった。
- 自分の考えを随時、記述しながらだったので、そのとき、その瞬間の自分の考えを書き留められてよかったです。
- 充実していて長さは感じないが、少しつかれた
- 授業の意義について時前に説明してほしい。
- 授業の進め方がいつもよりおもしろかったです。
- 授業をするうえで、学生、および授業をうける人間の理解関心をひくことはとても重要だと思う
- すごく聞きやすく、受けやすい授業です。先生の授業に対する接し方はとても良いと思います
- 少し早かったです。
- 進み方が少しはやかったです。ちょっとねむかったです。3コマ目は…。
- 楽しく学べた。こういう授業はやる気が出ます。
- ところどころでワークシートに考えを書くと、授業を理解しやすいと感じた。
- とても面白く、興味深いものでした。
- ドラマ仕立ての授業で楽しかった。先生の熱意がとてもよかった。
- なし
- 熱心な授業で良かった。引き込まれる進め方でした。
- 話も聞き取りやすく、わかりやすい。実際の話と自分の考えを比較して考えられるので、他人事としてただ学ぶよりも、自分に引きつけやすく、考えやすい。
- 板書の量は多かったが、分かりやすく考えることができた。行社の授業とは異なり、笑いがあってよい。
- ビデオとられると、にやけます。ワークシートをかく時間がたりなかった。
- 毎回のしく、ためになる授業だなと思います。
- 毎回の授業でも思うことだけど、強大な力に一個人の力で対抗するのはツライ…権力が物を言うことをわからせられる
- みんなに考えさせるという姿勢がすごいです。
- 倫理をつらぬくことも権力やなどでつらぬき通せないこともあるんだと思った。
- ロールプレイング形式みたいな感じが最近あまりなかったので、新鮮で楽しかったです。
- 私自身考えることをできた。どうすべきか授業の流れと同時にワークシートに書くことで、聞くだけよりも深く授業内容を考えることができた。
- 私たちも考える時間がたくさんあったので、色々興味がわきました。

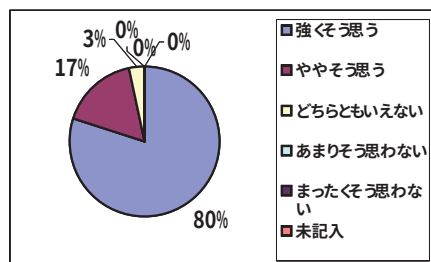
FDワークショップ (平成16年12月3日実施) 第2回授業公開&検討会 学生アンケート

授業名	テーマ	授業者	アンケート回収枚数
総合科目 現代社会と環境	第8回 食品リサイクル	後藤 忍 共生システム理工学類	30枚

1. 担当教員の授業への熱意が感じられた

5 強く思う	24名
4 やや思う	5名
3 どちらともいえない	1名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

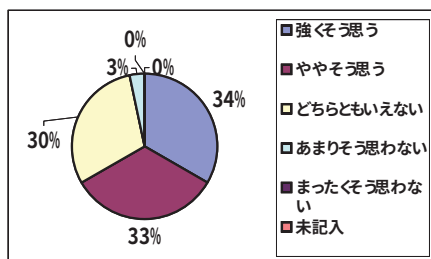
合計 30名
評価P t平均値 4.77



2. 聞き取りやすい話し方だった。

5 強く思う	10名
4 やや思う	10名
3 どちらともいえない	9名
2 あまり思わない	1名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

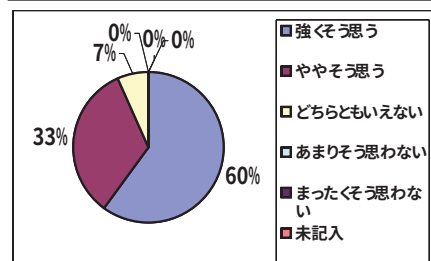
合計 30名
評価P t平均値 3.97



3. 板書・HPなどは見やすかった。

5 強く思う	18名
4 やや思う	10名
3 どちらともいえない	2名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

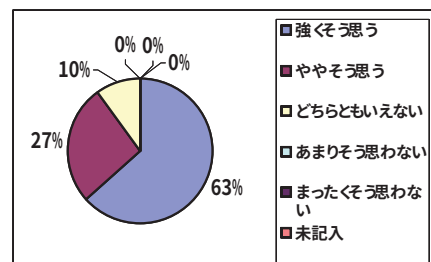
合計 30名
評価P t平均値 4.54



4. 内容の進め方、教材等に学生の学びを助ける工夫が感じられた。

5 強く思う	19名
4 やや思う	8名
3 どちらともいえない	3名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

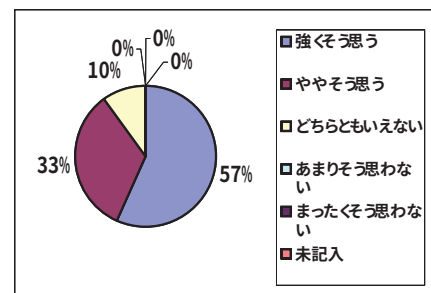
合計 30名
評価P t平均値 4.54



5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気が保たれた。

5 強く思う	17名
4 やや思う	10名
3 どちらともいえない	3名
2 あまり思わない	0名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

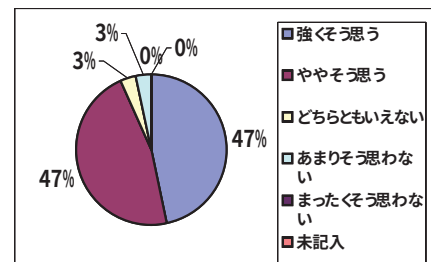
合計 30名
評価P t平均値 4.47



6. 授業は理解できた。

5 強く思う	14名
4 やや思う	14名
3 どちらともいえない	1名
2 あまり思わない	1名
1 まったく思わない	0名
未 未記入	0名

合計 30名
評価P t平均値 4.37



自由記述】

5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気を保たれた。 ⇒もしそのような要因があった場合には具体的に書いてください

遅刻をして申し訳ないと思いました。すみません。

たのしい

今日の授業に参加して感じたことを自由に書いてください。

難しい言葉の使用が時々あったので、わからない所がありました。

黒板の文字が0HPで見えない。

時々、聞き取りづらいことがあった。

・レジメが冊子になるのはとてもいいと思います。

先生の声をもっと大きくなれば私はもっと聞きとりやすいと思いますので、よろしくお願いします。

・食品リサイクルの仕組みを理解することができよかった。今後の生活に活かしていきたいと思う。
楽しかったです。

・全体の流れが良くまとまっていて、飽きずに集中することができた。

・ハンドアウトが革新的だと思う

・教室が寒かった。

・後藤先生は毎回授業をいかにわかりやすくするか工夫していると思う

・最初は、たくさん人がいてビックリしました。場所を間違ったかとも思いました。この授業は今まで知らなかったことを聞けるので、毎週楽しみにしています。

・非常に良かった!!!

・やはりパワーポイントを使っの授業はいい！と改めて思った。見やすいし、図などもあって理解しやすい。今後はこういった授業が増えたらいいなと思える授業だった。

・いい

FDワークショップ（平成16年12月6日実施） 第3回授業公開&検討会 学生アンケート

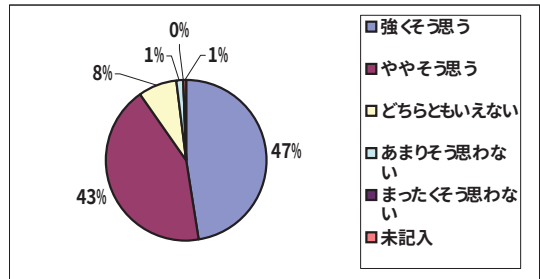
授業名	テーマ	授業者	アンケート回収枚数
経済学概論B	消費 投資 政府支出 純輸出	箱木 禮子 経済経営学類	166枚

1. 担当教員の授業への熱意が感じられた

5 強く思う	79名
4 やや思う	71名
3 どちらともいえない	13名
2 あまりそう思わない	2名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	1名

合計 166名

評価P値平均値 4.38

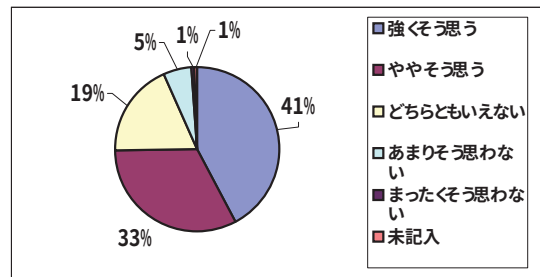


2. 聞き取りやすい話し方だった。

5 強く思う	70名
4 やや思う	54名
3 どちらともいえない	31名
2 あまりそう思わない	9名
1 まったくそう思わない	1名
未 未記入	1名

合計 166名

評価P値平均値 4.11

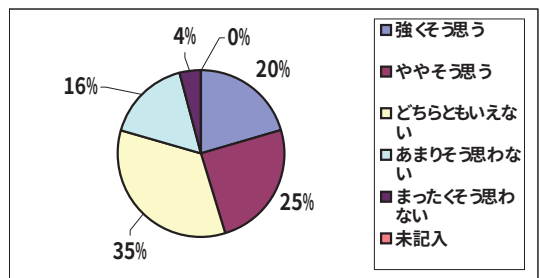


3. 板書・HPなどは見やすかった。

5 強く思う	34名
4 やや思う	41名
3 どちらともいえない	57名
2 あまりそう思わない	27名
1 まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 166名

評価P値平均値 3.41

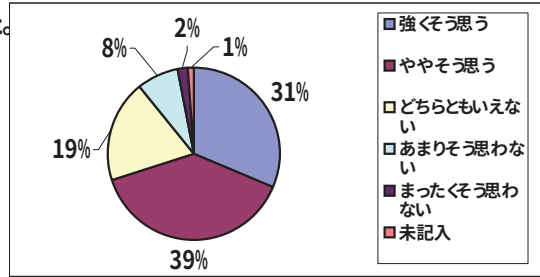


4. 内容の進め方、教材等に学生の学びを助ける工夫が感じられた。

5 強く思う	52名
4 やや思う	64名
3 どちらともいえない	32名
2 あまりそう思わない	13名
1 まったくそう思わない	3名
未 未記入	2名

合計 166名

評価P値平均値 3.91

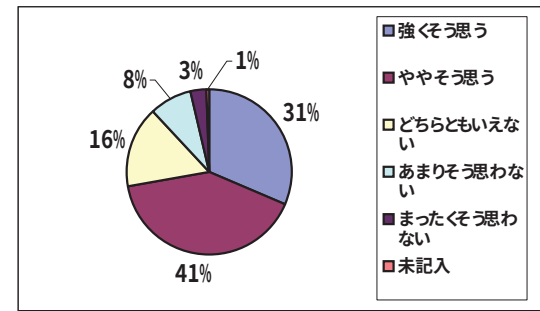


5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気保たれた。

5 強く思う	52名
4 やや思う	68名
3 どちらともいえない	26名
2 あまりそう思わない	14名
1 まったくそう思わない	5名
未 未記入	1名

合計 166名

評価P値平均値 3.90

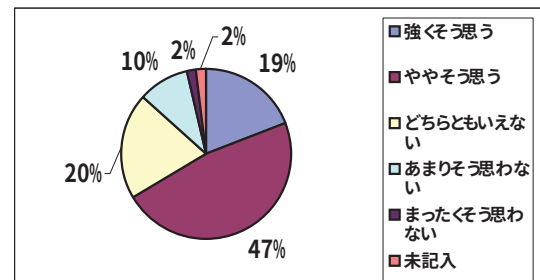


6. 授業は理解できた。

5 強く思う	32名
4 やや思う	78名
3 どちらともいえない	34名
2 あまりそう思わない	16名
1 まったくそう思わない	3名
未 未記入	3名

合計 166名

評価P値平均値 3.74



自由記述

5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気が保たれた。

⇒もしそのような要因があった場合には具体的に書いてください

・まわりの人は授業中に騒いだり 喋ったりして先生の話がちゃんと聞き取れない時もあります。
学生に対して教室が狭い。 学生の私語が多い。 寝不足で眠かった。 みんなうるさいなあ。
話が分かりづらい。内容がよく分からない。話し方が下手だ。 話している奴がうるさい。
・見知らぬ人々がいた。 ・マイクが悪い。 ・うるさい人がいると先生がちゃんと注意してくれる。
先生の話がみんなの注目を引き起こすことができず、ずっとにぎやかになっている時があって授業を聞こうとも聞けない時がよくあります。
私語が気になります。何とかならないのでしょうか？授業とは関係のない話を真後ろでずっとしゃべっているので困っています。
後の方にずっと喋っているアホがいる。前の人の寝ぐせが気になる。とか地球の重力と髪の毛の張力の奇跡のバランスが感じられ感動する。
・ビデオカメラと後ろに立つ人々。 授業の進め方が遅いので、眠くなってしまう
蛍光灯、ビデオカメラ、周りの人。 蛍光灯。 周りがうるさい。 うるさい人がいました。
分かりやすいように努力したが、むだの話が多くなってしまった。簡潔な話をいただきたい。
先生は適度に、ユーモアを入れながら説明するなどして、集中力を切らさずに授業が受けられました。

今日の授業に参加して感じたことを自由に書いてください。

前回と同じことをやってもらい、理解度を深めることができた。 黒板が時々、ゴチャゴチャになって分からなくなる。
・とても丁寧な授業でよかった。 普段どおりの授業でした。 特になし
箱木先生の、概Bは、非常にシンプルな型で教えていただけるので、毎回よく理解できておもしろいです。難しい言葉を並べて聞くよりも、このようにして今後も教えていただけると思います。
・授業内容がいまいち理解できなかった。 ・自分で納得できたので良かったです。
外はもう冬の気配がしますが、L4教室の中はあたたかかったです。みんな心があたたかいから教室の中もあたたかいんだね。
・あんまり同じことを何回も言わないでほしい。簡単なことでも複雑に感じてしまうから。
いつもより板書が見やすく、聞き取りやすかった。いつもより理解できた。←いつも理解できているが、より一層具体例がうれしい。
いつも具体例を示して説明してくれるのでわかりやすい、とっつきやすい。
・ぜひ復習プリントを作って欲しいです。自習用でも結構なので、語句確認も。 最高です！
ペースがゆったりとしていたのでよく理解できた。 説明の仕方が急に変わってわかりにくい。
説明がかみくださすぎていて、かえって分からない時があります。 箱木先生万歳！
黒板の字が大きくていいけどごちゃごちゃしてわからない…。 丁度いいスピードでわかりやすさGOODです。
教員の教え方が丁寧で良いと思う 同じ話の繰り返しが多い。 ・とてもためになった。
なぜYとかDとか、一般社会では通用しない記号で覚えられなければいけないのか、意味不明。
話がとびとびになるのでわかりにくい。 授業の内容が新しいことか、前回の復習が分かりにくいです。
黒板が乱雑かつ読みとりにくい。また黒板がごちゃごちゃしすぎている。 板書がとにかく見にくい、分かりにくい。
・何回も同じことやりすぎでつまらないので、同じことやるのはいいのですが、いろいろもっと資料などを配ってもらって興味をわかせる方がいいと思う
・よく理解できてよかった。 ・わかりやすく良いです。 ・わけが分からなくなりました。
授業をみている方々の威圧感があった。あと、授業がわかんない。 話がわかりにくい。
・90分の授業は長すぎると思う ・もっと広い教室がいい。 ・もう少し黒板を丁寧に書いて欲しい。
講義はユニークで丁寧、担当教官の熱意が感じられて望ましい形になっていると思う。但し、やはり人が多すぎてストレスを感じてしまう。L4教室全体で見ると教壇に向かって左に、そして後方になるに従って人口密度が高くなる様だ。毎回この傾向が見られるので行動学上の何らかの理由があるのだろう。特に今日はその傾向が普段より顕著で左によるというよりも右端を忌避しているかのような印象を受けた。この現象の要因を徒然なるままにダラダラと考えていた。
同じ内容を何回にくり返す意味がない。現実には役立ち誠意を教えていただきたい。 つかつちゃ。
授業に関係のない内容をあまり話さないでほしい。 授業が脱線することもあるので気をつけてほしい。
分かりやすい授業だった。 ・とても丁寧で分かりやすい授業です！
授業が始まる時に、今日の授業の内容について言って欲しい。何度も同じ内容をやっているようで、理解しにくい。ノートとかも取りづらいです。
先生は日常のことをシンプルにした形で例として挙げて下さるので、頭の中でとてもイメージしやすいです。

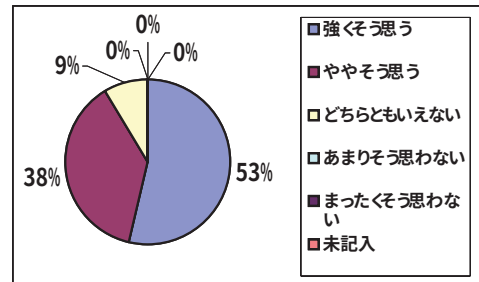
FDワークショップ (平成16年12月13日実施)

第4回授業公開&検討会 学生アンケート

授業名	テーマ	授業者	アンケート回収枚数
自然I③	『アナログからデジタルへ』	山口 克彦 共生システム理工学類	82枚

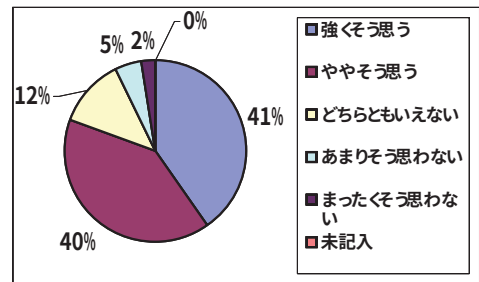
1. 担当教員の授業への熱意が感じられた

5 強く思う	44名
4 やや思う	31名
3 どちらともいえない	7名
2 あまりそう思わない	0名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	4.46



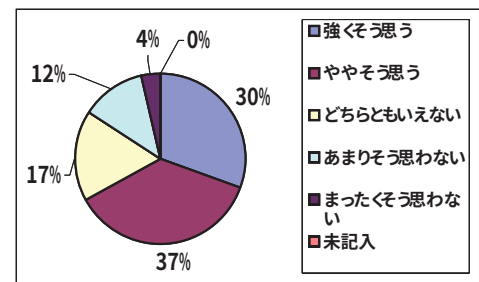
2. 聞き取りやすい話し方だった。

5 強く思う	33名
4 やや思う	33名
3 どちらともいえない	10名
2 あまりそう思わない	4名
1 まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	4.11



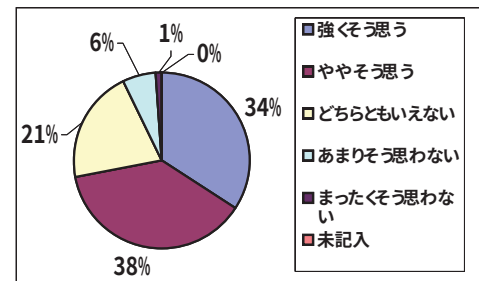
3. 板書・HPなどは見やすかった。

5 強く思う	25名
4 やや思う	30名
3 どちらともいえない	14名
2 あまりそう思わない	10名
1 まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	3.79



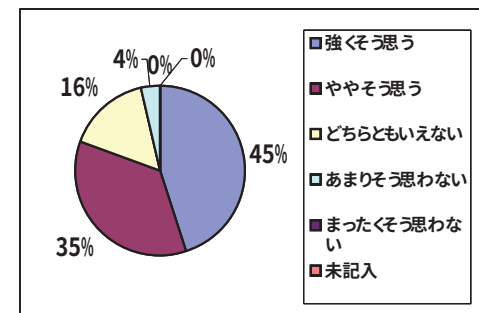
4. 内容の進め方、教材等に学生の学びを助ける工夫が感じられた。

5 強く思う	28名
4 やや思う	31名
3 どちらともいえない	17名
2 あまりそう思わない	5名
1 まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	3.98



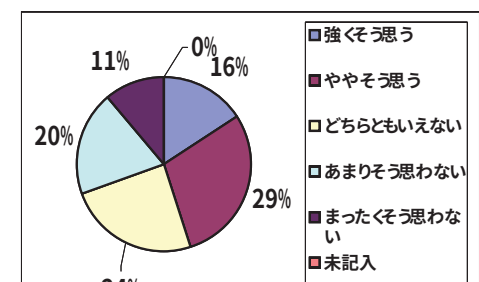
5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気が保たれた。

5 強く思う	37名
4 やや思う	29名
3 どちらともいえない	13名
2 あまりそう思わない	3名
1 まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	4.22



6. 授業は理解できた。

5 強く思う	13名
4 やや思う	24名
3 どちらともいえない	20名
2 あまりそう思わない	16名
1 まったくそう思わない	9名
未 未記入	0名
合計	82名
評価P値	3.20



自由記述】

5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、学習する雰囲気を保たれた。 ⇒もしそのような要因があった場合には具体的に書いてください

暖房が暑かった。

・人の出入りがうざい。

いつもより書くスピードが速くて、書くのがやっとだった。

進むのが速く、理解しようと試みているうちに次に進んでしまう。

今日の授業に参加して感じたことを自由に書いてください。

・あまりよく分からなかった。

授業内容が難しく、レベルの高い人しかついていけないような感じになっていると思う。

後半のほう板書ばかりで理解するヒマなし。

面白みもあまりなし。

・これで問題解けと言われても不可能。もう少し、問題を解く、と言う意味合いでの解説や説明がほしい・・・。

板書が速すぎる。

・丁寧な授業でよかった。

・今日の内容をもう一度やってほしい。今回だけで理解するのは無理！！

・色々と道具をそろえるのはムリ。

授業内で説明されていることは理解できるのですが、授業後に配布されるプリントが難しくてよく分からないのが困ります。もっと授業内で問題を解く機会が欲しいです。

・最初教室が暑かった。

CDの仕組みが理解できておもしろかった。

授業のレベルが自分的には高く、理解できたかといえば微妙だが、がんばりたい。

・今日の授業はよくわかった。

内容はおもしろいけど難しいから分かんない。

熱意は感じられたが、正直聞いている側としてはあっちこっち話が飛んだり、速かったりして置いてけぼりされている感じがした。内容自体はおもしろいのだが聞き手に対する配慮とかに気を配らないと飽きる人が増えると思う。

難しいので苦労しているが、出来るだけ理解していきたい。

・ノートに書きにくい。

暖房が暑すぎる。

板書が多く大変だった。

楽しい。

少々難しいと思います。

書くのが大変でした。

教材として使っているのはわかるが、不快な音を流す時間が少し長すぎるように感じた。先生の熱意は伝わってくる。が、進めるのが早すぎてさっぱり理解できない。

板書がしにくかったです。

・身近にある物理をより肌で感じれた。

・前期に似たようなことをやったけど、こっちの方がぜんぜんわかりやすかった。

F Dワークショップ 授業公開&検討会に向けて —授業者と参観者の皆さんへ—

福島大学 FD プロジェクト

福島大学では、今年度のFDワークショップとして「授業公開&検討会」を開催することになりました。実際の授業をお互いに見せ合って、具体的に授業をどう改善していったらいいかみんなで話し合おうという試みです。福島大学全体の授業力量充実・向上のためにも、授業を公開された方が「皆さんに見ていただけてよかった」と思えるような、また参観者の方々も「今度は自分の授業を見てもらおう」と思えるような、そういう会になることが必要です。そのために以下の諸点に注意しながら、授業公開&検討会に参加してください。

- 1) 「授業公開&検討会」の目的は授業改善であって、だれかを批判したり、非難したりすることではありません。みんなが前向きになれるような明るいムードの会にしましょう。
- 2) 授業者は、ふだんどりの授業を心がけてください。他の先生方が聴いているからといって、いつもより高度な内容に触れたりすることのないようにしてください。
- 3) 参観者は、その授業の「いいところ」を発見し、自分の授業にも生かすよう、心がけてください。
- 4) 参観者は、学生と一緒に授業の内容だけに集中しないでください。大事なことは、授業中の学生の反応であり、学生がどのように学んでいるかという事実です。授業の内容や授業者の行動の変化によって、学生は敏感に反応しているはずです。学生は、どのようなときに授業に集中し、どのようなときに集中力を失っているのでしょうか。
- 5) 参観者は、今日参観した授業が、15回分の1回であるということにも留意してください。
- 6) 教室の環境などにも留意して参観してください。
- 7) 検討会の中では、参観者が授業者を誉めることから始めましょう。授業者も過度に自己反省の弁を並べたてる必要はありません。大学教育に関しては誰も皆、素人みたいなものなので、お互いにアイデアを出しあって、それぞれが抱える問題を解決していきましょう。

(注意) 授業公開中の**教員同士の私語**は、学生の受講の妨げになりますので、くれぐれも慎んでください。

FD ワークショップ 授業公開&検討会 授業観察カード

* 授業者と授業名 ()

【観察の視点 例】 ① 授業技術に関して ② 授業運営 授業構成に関して ③ 授業の目標 達成度 理解度 満足度 内容に関する取り組みや工夫 ④ 学習活動 学生の参加度に関する取り組みと工夫 など

観察の 視点	参 考 に な っ た 点	疑問や課題が残った点

【メモ】

この観察カードは、授業参観時・検討会時のメモとしてご活用ください。

FD ワークショップ 授業公開&検討会 教員アンケート

どうもお疲れ様でした。今後のワークショップの改善資料といたしますので、ご協力ください。

福島大学 FD プロジェクト

参観者氏名（ ） ← 無記名でもかまいません。
 なお、このアンケートの返却をご希望の方は○をご記入ください。 返却希望（ ）

下記の表を参考に、（ ）内に評価ポイントをご記入ください。

	強く思う	やや思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
評価ポイント	5	4	3	2	1

1) 公開された授業を参観されて、ご自身の授業をふり返るきっかけになりましたか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか？)

2) 検討会で授業について語り合ってみて、ご自身の授業改善に対する示唆が得られましたか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか？)

3) 当日のタイムスケジュールや会場の設定、また検討会の進め方など、運営はよかったですか。 ()

ひとこと欄 たとえばどのようなことにお感じになりましたか？)

4) 今回の FD ワークショップ 授業公開&検討会」に実際参加して満足されましたか。 ()

ひとこと欄 全体をふり返って、ご自由にお書きください)

このアンケートは、検討会終了後に回収箱へ投函願います。

FD ワークショップ 授業公開&検討会 学生アンケート

この調査は、今日の授業に関するみなさんの感じ方を調査し、次回の改善に活かすためのものです。望ましい答えとか、望ましくない答えなどはありません。また、回答の内容は成績にはいっさい関係がありませんので、感じたままを率直に答えてください。

福島大学FDプロジェクト

授業名：

授業者：

今日の授業に関しての以下の各質問に、次の区分により評価をし、該当する1～5までの数字のうち、ひとつに○をつけてください。

強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
5	4	3	2	1

1. 担当教員の授業への熱意が感じられた。 5 4 3 2 1

2. 聞き取りやすい話し方だった。 5 4 3 2 1

3. 板書・OHP などは見やすかった。 5 4 3 2 1

4. 内容や進め方、教材等に学生の学びを
 助ける工夫が感じられた。 5 4 3 2 1

5. 授業への集中や理解を妨げる要因がなく、 5 4 3 2 1
 学習する雰囲気が保たれた。

⇒もしもそのような要因があった場合には具体的に書いてください

6. 授業の内容は理解できた。 5 4 3 2 1

今日の授業に参加して感じたことを自由に書いてください。



他大学FD研究集会参加報告

岩崎 紀子

「授業公開&検討会」

平成16年7月6日（火）

京都大学高等教育研究開発センター

松崎 博文

「第6回教養教育ワークショップ」

平成16年8月6日（金）

山形大学教養教育2号館

京都大学高等教育研究開発推進センターにおける「公開授業&検討会」の参加報告

文責：岩崎 紀子（人間発達文化学類）

はじめに

本学教務課より出張費を出していただき、去る 2004 年 7 月 6 日（火）に京都大学高等教育研究開発推進センターで開催された「公開授業&検討会」に参加させていただきました。そこで学んできたことをもとに、今後、福島大学において「公開授業&検討会」の実施の方向性を検討するにあたって、いくつかの視点をまとめてみます。

1. 京都大学高等教育研究開発推進センターでの「公開授業&検討会」のまとめ

〔今回参観した授業（90 分間）の概要〕

- 授業名：全学共通教育科目「大学における学びの探求A」（半期2単位・演習形式）
⇒ 福島大学の「教養演習」に近い。この授業のねらいは学生が「学び方」を学んでいくことである。具体的には、各自が追究したいテーマ・問いを立て、実際に調査活動を実施し、プレゼンテーションをおこなうところまでが半期間の内容となっている。
- システム：授業者1名（当センタースタッフの溝上慎一氏）と今年度の受講者20名（複数の学部から1～4年にわたる多彩な学生が受講）による学生主体型・個人探求型授業
- 今回参観したのは、3名の受講者がプレゼンテーション（各15分）をおこない、それについて他の受講者（出席者は報告者以外に15名）と授業者が質問やコメントを寄せる場面。

〔今回参加した検討会（予定は60分であったが、実際は110分）の概要〕

- 参加者は授業者1名、司会者1名（ともにセンタースタッフ）以外に7名（うち院生3名）。千葉大学、広島大学、福島大学（岩崎）からの外部参観者があった。
- 検討会は、まず授業者からの本時に対する自評に始まった。その後、今回初めて参加した参観者から、溝上氏の授業について気づいた点、気になった点を質問・コメントする。それに対して授業者からの補足説明等がある。その後、司会者が整理した論点をもとに、参加者全員によるフリーディスカッションをおこなう。今回の論点は以下の3点である。
 - ① 過年度に比して授業の構造が大変シンプルに ⇒ シンプル化させた経緯について
 - ② 個人探求による調査結果のプレゼンテーションに対する授業者のかかわり方
 - ③ 本授業＝全学共通教育という位置づけ・性格 ⇒ 教養教育をどう考えるか

2. 本学での「公開授業&検討会」の実施にむけて（岩崎私案）

〔はじめに〕

- 全学のFD活動として「公開授業&検討会」をすることによって、「何を共有していくのか」、「何を共有していく必要があるのか」を事前に議論しておくことが重要である。
- 「公開授業&検討会」の趣旨は、授業者自身がいま悩んでいるところ、困っているところを共有しあうこと、学生がどのような学び方をしているかを確認して、主体的学習者としての学生をどのように育てていけばいいかを議論して視点を共有しあうことにあると考え

る。したがって、そのための公開授業&検討会であることを前提とした上で、実施していくことを確認することが必要と思われる。

〔公開授業&検討会の基本方針〕

- FD 活動は一朝一夕のことではなく、継続的・定期的な取り組みが必要であることを考えると、大掛かりな公開授業を企画するよりも、「公開授業をしてもかまわない」という先生の授業を、数名の参観者で見せてもらって、授業についてフリートーキングをするという方が長続きする。「ミニ公開授業」（たとえば、山形大学）を、学内の様々な単位（教室、学系、分野、学類等）で実施できるようにすることを目指していく。
- ただし、「公開授業&検討会」はやり方をまちがえると、せっかく公開してくださった方の熱意を無駄にしたり、自分も公開して皆さんからの意見を聴いてみようという意欲を失わせてしまうことになる可能性がある。他人の授業の参観の仕方や検討会の進め方を学ぶ場という意味で、FD プロジェクト主催で全学的に公開授業を開催し、上述の各単位から最低1人ずつ参加を要請して、ミニ公開授業のノウハウを学んでもらうようにする。

〔公開する授業の選び方〕

- 基本的には「公開してもいい」という授業者からの挙手が前提。ただし、どのような授業（講義か演習か／教養教育の授業か専門教育の授業か）の、どのような場面（半期間のうちのどの部分）を公開するかは検討の余地がある（カリキュラム全体を見渡してみて、教養教育、専門基礎教育とのバランスを考慮する必要がある）。
- どのような場面（全15回のうちのどの部分）の授業を公開するかによって、その後にもつ検討会での議論の論点も異なることから、授業者が参観者に「何」を見てほしいかを事前に告知しておくことが必要である。
- 基本的には、通常の授業時間帯での公開が望ましいが、カリキュラム上、参加者が集まらないことも考えられるため、できるだけ参加者が多くなる時間帯を設定して、その時間帯に授業をシフトできるか否かも検討を要する。受講学生の要望や事情にも配慮する。

〔公開授業後の検討会のもち方〕

- 検討会に生産的な議論の場を設定する、つまり個々の授業の内容論に踏み込みすぎないために、司会者は事前に授業者の授業を参観して、検討会での論点について授業者と事前の打ち合わせをしておく。
- 参観者は、「学生がどのように学んでいたか」を中心に参観するように意識し、個々の参観者がとらえた「事実」をもとに検討会をもつことが必要である。
- 授業者がその授業において、学生にどのような「力」をつけようとしているのかを了解したうえで、そのような「力」をつけるためにおこなっている授業法がどのような点で成功しているかを検討していくことによって、授業をつくっていくにあたって、教員間で共通に考えておくべき点を、検討会の場において意識化・共有化しておきたい。
- 公開された授業がカリキュラム上どのような位置を占めるものであり、その位置に照らし合わせてみたとき、学生につけるべき「力」が明確化されていくようにするために、公開された授業に閉じることのない、福島大学において育てたい学生像との検討とあわせて議論することが必要である。

〈FD 研究集会参加報告〉

山形大学教養教育ワークショップに参加して

人間発達文化学類 松崎博文

平成16年8月6日に山形大学で「第6回教養教育ワークショップ」が開催され、本学から私が代表で参加したので、その概要を報告する。ワークショップは午前中に基調講演があり、午後は4つの分科会に分かれてのラウンドテーブルがあり、休憩を挟んで各ラウンドテーブルの報告を受けての全体会が開催された。以下、筆者が参加した午前中の基調講演とラウンドテーブル2及び全体会の順で、その概要を報告する。

なお、ラウンドテーブル2は当初のプログラムでは、「プレゼンテーション能力開発授業について」となっていたが、当日は下記のように急遽変更になった。

1 プログラム

日時：平成16年8月6日（金）

会場：山形大学教養教育2号館

内容：

【第1部】基調講演

演題：「日本における初年次教育の可能性と課題」

講師：関西国際大学教授 濱名 篤 氏

【第2部】ラウンドテーブル

ラウンドテーブル1：e-learning について

コーディネーター：櫻井敬久教授（学術情報センター）

ラウンドテーブル2：口頭コミュニケーション能力の育成と能動的学習について

コーディネーター：立松 潔教授（人文学部）

ラウンドテーブル3：YU サポートシステムについて

コーディネーター：須賀一好教授（教育学部）

ラウンドテーブル4：英語教育の改革について

コーディネーター：丸田忠雄教授（医学系研究科）

【第3部】全体会：「山形大学における新たな取り組みについて」

2 基調講演

基調講演は関西国際大学教授の濱名篤教授が「日本における初年次教育の可能性と課題」と題して、以下の順で熱弁をふるわれた。

（1）初年次教育とは何か

氏はまず「初年次教育（First Year Experience：以下 FYE）の歴史と定義から話された。

FYE の歴史は 1972 年に米国のサウスキャロライナ大学に University101 が開講されたのに始まるそうである。その後 1986 年には国際初年次教育学会第 1 回大会が英国で開催され、現在世界約 20 か国で FYE が取り入れられているとのことである。

FYE を一言で言えば、主に大学新生を対象にした高校からの“円滑な移行”を図り、学習及び人格的な成長の実現に向けて、大学での学習を“成功”させるべく、総合的に作られた教育プログラムのことである。つまり高校から大学への移行教育プログラムのことで、その中には、①大学生活への適応、②大学で必要な学習技術の獲得（読み・書き・批判的思考力・調査・タイムマネジメント）、③当該大学への適応、④学習目標・学習動機の獲得（中下位校で強調）、⑤専門領域への理解・専攻分野の決定準備（上位校が強調）、⑥文化的素養のある教養人への招待（上位校）など、多様な幅がある。

米国で初年次教育への関心が高まった背景には、学生の学業“継続（retention）”に対する大学側の高い関心（経済的理由）があるという。今日、米国の大学を紹介するガイドブックが数多く刊行されているが、そのほとんどに retention rate（学業継続率：最初の学年から 2 年次への学業継続率）が客観的指標の一つとして掲載されているとのことである。この継続率が大学の収入と評判に直結するという「経済的理由」から、初年次教育が発達したといえそうである。

（２）日本における初年次教育の現状

濱名氏によると、日本における FYE への関心は retention に対する意識から高まったというより、むしろ「学力低下」に対する対策や処方箋としての期待が FYE に対する関心の背景にあるという。つまり経済的理由よりは教育的理由が大きいという。杉谷（2004）によれば、私大協加盟の全国 294 私立大学のうち 72.4%が FYE を導入していると回答しているという。その内容としては、①基礎ゼミ等（32.8%）、②専門分野への導入（26.0%）、③情報基礎（21.1%）、④学習技術（12.5%）、⑤ガイダンス・オリエンテーション（5.5%）、等々と多様なものを取り上げられているとのことである。

（３）大学新生の入学後適応過程についての分析―“移行”の課題

大学新生の大学適応調査の実態が報告された。調査対象となったのは国公立 5 大学（人文社会系）1 年次約 600 名（男 64.3%、女 33.3%）で、調査は平成 15 年の 4 月、6 月、10 月の 3 回にわたって実施され、3 回分揃ったデータについて中間報告がなされた。

１）入学後の悩み

入学後の新生にとって高校から大学への移行期にどのような悩みを抱いているのか？こうした悩みは不安の反映であり、FYE で学生を支援していくべき課題でもある。調査の結果、「移行」期の悩みとしては、Social Integration（人間関係）と Academic Integration（授業への適応）の 2 つが双壁となっており、「人間関係」と「授業」についての不慣れさが新生の悩みの原因となっている。10 月になると、「授業への適応」についての悩みは解消する方向へ向かい始めるが、授業に退屈さや難しさを感じる者が 6 割～7 割もあり、授業方法・内容の現状に問題があることを推論させると共に、アカデミックな意味での「移行」は順調に進んでいるとは言えない状況にある。

「人間関係」の悩みは夏休みを挟んで 10 月にはわずかに減少するが、まだ 7 割近くの者

は悩みが続いている。特に、「さびしい」「孤立」「ひとりぼっち」といった項目は入学後半年経過しても悩みが解消する方向に向かっていない。

日本の大学生の“移行”期における最大の悩みは「人間関係」にある、と濱名氏は指摘された。濱名氏はこれらが学生支援の主たる課題であるといえ、初年次教育が「講義理解力の向上」だけでなく、リーダーシップ育成や孤独化からの脱却も含めた「対人関係の構築」を包含して行く必要性を強調された。

2) 入学時(4月)時点で何が「高校→大学」で不連続なのか？

新入生は全般的に自分に対する自己肯定感が少ないという。特に自信を持つ者が少ない項目としては、「数学的思考」「プレゼンテーション能力」「文章作成力」など、授業に直結する能力で自信を持ち得ない状況にあることが伺われる。ところが「文章作成能力」については、レポート等の書き方や等の講義受講やレポート添削を繰り返すことによって、比較的短期間で教育効果が上がる可能性を示唆している。

3) 入学後の経験

新入生たちは高校時代にはインターネットを利用した情報収集はほとんど経験してなく、入学後2か月で急速にインターネット利用経験が急増している。しかしながら、情報収集のためのインターネット利用は必ずしも「コンピューター活用能力」への自信にはつながっていない。大学生活への慣れは、遅刻やサボリといったネガティブな習慣に染まり始める者の増加も随伴している。

最初の2か月で学習に適応する者と、そうでない者の分化が進み、入学後2か月で学習習慣の分化が始まっている。

4) 大学への適応度—高校との比較—

入学後半年で適応度が高まるのは学習面で、6月頃から適応—不適応の分化が始まる。10月になると、不適応が減少し過半数の新入生が学習面で「うまくいっている」と感じるようになる。これに対して、対人関係や生活全般については半年間での適応度の変化は小さい。つまり Social Integration はなかなか改善してない(社会的適応は簡単には達成しにくい)といえる。入学後半年間の最大の変化は、「学習面」での“悩み”が減少したことにより、学習面での移行対策には方法があると濱名氏は言うのである。

5) これからの日本の初年次教育の課題

濱名氏は、これからの日本の初年次教育の課題として以下の3つを挙げられた。

① retention 問題の日本での現実化の可能性

1993年入学者あたりから卒業率は漸減し、97年入学者では4年卒業率79.0%、5年でも87.1%にしか達してない。大学としては学費収入確保の重要性に対する認識を改める必要がある。独立法人化した国立大学にとって重要な課題になりそうである。

② 2006年度問題に代表される入学者の学力低下・多様化に対して各大学がそれぞれカスタマイズした目標・方法の設定を組織的に行う必要がある。学習面と社会的側面での適応対策を総合的かつ組織的に行えるか否かである。

③ 米国と異なり通学生が多数派であり、学部・学科を決めて来る日本の大学生に対して入学後の継続型プログラムも含めた日本の高等教育システムへのカスタマイズ。

6) 初年次教育の開発への条件

最後に濱名氏は、F Y Eの開発の条件として以下の4点を挙げて講演を結ばれた。

- ① 高校から大学への移行期のもつ重要性和初年次体験の重要性の共有
- ② 初年次学生の実態把握
- ③ 内容と方法についての情報収集と共有
- ④ 評価方法の開発

3 ラウンドテーブル

ラウンドテーブルは第2分科会の：「口頭コミュニケーション能力の育成と能動的学習について」（人文学部：立松 潔教授）に参加した。この分科会には弘前大学、東北工業大学、秋田大学からの参加者もあり、総勢23名の参加であった。まず、立松教授から教養セミナー「日本社会の解剖」（前期2単位）開講の背景の説明があった。立松氏は高等学校までの受動的学習から大学における能動的学習へ転換することの必要性が力説された。特に、討論・発表・提案能力の育成が必要で、そのためには少人数クラスでの教育で対応すべきであると指摘された。同時に、資料収集・レポート作成・図書の検索方法等の能力の育成も必要で、それは各学部で対応すべき問題であり、1年次前期開講の授業で対応することが望ましいと主張された。そのあと、シラバス（の一部）を紹介された。

同授業は大きく3部に分かれ、第1部（1～5回）がオリエンテーション（1回目）とワークショップ（第2回目～5回目）、第2部（6～10回）がモック・インタビュー（模擬記者会見）、そして第3部（11～15回）がディベートで構成されていた。その後、成績評価の基準や評価方法が報告された。評価基準では学生による相互評価も参考にしているとのことであった。

参会者からは素晴らしい授業であるとの評価がなされたが、その一方で、とりわけ自然科学系の教官からは、この種の授業はテーマが限定され、自然科学系の授業では展開が難しいのではないかと疑念が出された。要するに、すべての授業を一律に実施することは逆に問題であり、すべての分野に適用するのは無理であるとの指摘がなされた。

4 全体会

全体会は「山形大学における新たな取り組みについて」と題して、各ラウンドテーブルの報告をもとに進められた。筆者は参加できなかったが興味があったのはラウンドテーブル3の「Y Uサポーティングシステム」であった。山形大学ならではの分散キャンパスでの問題点、学生へのサポートシステムとサポートファイルの運用の仕方が印象残った。大学に出て来ない学生への全学あげての支援システムの構築には、本学も大いに学ぶ必要があると思った。最後のラウンドテーブル4の「英語教育の改革について」は、山口大学から岩部浩三教授を招き、文科省の「特色ある大学教育支援プログラム（GP）」に指定されたばかりの同大の英語教育の改革が報告された。

「教育改善のための学生アンケート」の見直し検討

【共通教育科目】

教育改善のための学生アンケート

アンケート
コード平成17年1月実施
福島大学FDプロジェクト

- ・該当する番号を口記入してください。
- ・自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

1. 教育学部（学校教育）
3. 行政社会学部（経営）
5. 経済学部（経済学）

(2) 学年（入学してから）

1. 1年
- 2.

II. この授業についてのあ

(3) どうしてこの授業

1. 勉強面での関心
3. 単位がとり易
5. 友人や先輩に
7. その他

(4) この授業にどのく

1. 90%以上
- 2.

(5) 授業以外にこの授業に



数字でお答え

(7)
(8)
(9)
(10)
(11)
(12)
(13)
(14)

- (9) 授業の準備がしっかりなされた。
- (10) 聞き取り易い話し方だった。
- (11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。）
- (12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。
- (13) シラバスに沿って授業が行われた。
- (14) 授業の内容はよく理解できた。

「教育改善のための学生アンケート」に関する 学生との懇談会 ―その概要の報告―

懇談会の目的や参加者など

- (1) 主 催：FDプロジェクト
- (2) 目 的：FDプロジェクトが「教育改善のための学生アンケート」を見直す作業に本格的に入るに先立って、学生の意見を聴くこと。したがって、学生に日頃感じていたことを率直に自由に発言して頂き、プロジェクト側はそれを受けとめることに重きをおいた。
- (3) 日 時：平成17年1月19日（水）1時～3時、S棟1F会議室
- (4) 出席者：学生18人、プロジェクト側から4人、他に職員3人。
 学生：（教育）片平里美(4)、高木理加(4)、橘直人(4)、江良悠希(3)、*矢吹徹(2)、*蓬田美穂(2)／（行社）湯田喬(3)、篠田磨実子(3)、梅津秋桜子(3)、柳沼直美(3)、高橋一晃(2)、*主藤隆弘(2)、*厚海千加子(2)／（経済）渡辺高範(4)、富樫亮(2)、富山しずか(2)、*松本萌(2)、*和田千恵(2)。
 *は学生会・学友会・自治会からの参加。他はプロジェクトメンバーが依頼。
 FDプロジェクト：山川副学長、白石昌子、小島定、市川佳宏。他に職員杉内静、加藤千里、安倍泉妃。
- (5) 論点&資料など：参加する学生に案内状を出して、趣旨を説明。論点や資料も付す。
 論点：a) アンケート全体について（目的・意味など）、b) 質問項目について、
 c) 実施の仕方や実施時期について、d) 結果の公表について、e) その他
 資料：1) 「教育改善のための学生アンケート」用紙、2) FDプロジェクト委員会『平成15年度報告書』、3) プロジェクト内WGの結果の若干の分析
- (6) 進 行：最初に司会から懇談会の目的等について説明。次に学生に自己紹介とアンケートについての意見や疑問などを一渡り聴き、その上で自由に意見交換した。司会は市川。

1. 学生の最初の発言

自己紹介の際の学生の発言をごく粗っぽくグループ化してまとめた。したがって、いくつかの項目にまたがっている発言もあり、一人の発言を分割した場合もある。

(1) 学生にとって意味はあるのか？

- いつも感じるのは、これによって自分たちに何か良いことがあるのかなということ。正直に言うちょっと面倒だと思う。
- アンケートを行っても、自分達の後輩に聞くと、自分が不安に思っていた授業に対しては後輩も同じような不安を抱いている。だから、アンケートの意味はどこにあるかと日頃から感じていた。
- 他に学生が意見を伝える手段がないので、それなりに結果が出るのであればいいが、やはり結果が公表されない、改善されたかどうか分からないという意見はある。友人たちにアンケートについて聞いてみたが、真面目な学生はきちんと書くが、不真面目な人ほどアンケートも適当に書くことがあるという。結果が見えないことや自分の受ける授業に還元しないことから、そうなると思う。
- アンケートに答えて、この結果はどうなるかという疑問は常にみんなあると思う。『報告書』が掲示板の前に置いてあったのは記憶にあるが、学生が見るかというと、広げてまでは見ない。公表するのなら、「アンケートの結果が出ました」という感じで掲示板に掲示すべき。結果が先生に届き、先生が参考にしてると分かれば、ちゃんと答えた方が良いと考えるので、アンケートの価値が上がる。

なお、『報告書』は、a) 掲示板の前にぶら下げる、b) 学生会・学友会・自治会に各10部提供、c) 図書館の開架閲覧室におく、d) ホームページに当該部分を掲載。

(2) アンケート結果への教員の対応はどうなっているのか？

- アンケートの最後の要望を書く記述欄に結構いろいろ書くが、改善されているか疑問。
- アンケートは集計されたものが先生の元に届くのか？ それとも、学生が記入した形でどさっと渡

されるのか？（質問に答えると）学生としては、先生方が目を通してどう思っているのか気になる。「じゃあ、ここを改善しよう」と思っているのか、それとも、目を通さない先生もいるのかなあと
思う。先生方が目を通して、これからどう変えていきたいかという意見も是非公表してもらいたい。

- 時間がない時は適当に3とか書いたりする。結果や公表をどうしているかよく分からなくて、さっき分かったくらい。教官に対する対策とかどんなふうにやっているのか。
- アンケートをとるのはいいが、その結果で教員にどんなメリットがあるのか？ 良い評価を得た教授は昇給とかがあると、授業を高めようという意識をもってくれると思う。授業を聞いていると「この先生はやっぱり研究者なんだ、教える気じゃない、自分の研究を言ってるんだ」と感じる時もある。
- 先生がこのアンケートを見て、自分達の要望に対して態度を変えてくれるかという声が結構あったがそれは無理だと思う。それはその先生の資質によると思うので、全員がそうするのは無理。このアンケートには規範性、拘束力がない。授業の評価がよければ昇給できるのならわかる。しかし、アンケートが全く意味がないかといえば、これで授業を変える先生もいると思うので意味はある。

（3）実施の仕方をもっと工夫してほしい

- 僕はアンケートを授業の最後に渡されても、結局自由感想欄には書かないで、番号をばーっと書いて直ぐ出しちゃう。というのは、先生にもよるが、「読んでも何も思わないんだろうな」と思うから。最後に「取り扱い」についていろいろ書いてあるが、そこが一番重要。学生に興味を引くような形で上手く書いて実施しないと、効果が上がらない。教員がアンケートをどう位置付けているか分からないが、重要性を訴えていく必要がある。
- 『報告書』を今回読んでみると、すごくいいことが書いてある。4年生ながら、アンケートの意義を初めて知った感じ。僕だけじゃないと思うが、学生がアンケートの意義、これが何に生かされるのかを知らない。さっきも発言があったが、最後の「取り扱い」はすごく強調した方がいい。また、中間とか最初の方とか何回も実施することによって意識や意欲の違いが分かってくる。それに、アンケートの時、そのまま実施するのではなく、「率直な意見を書いて下さい」と教員が言うといい。
- 学生はどうしてもやりっぱなしになって、項目も気にしないというのが1番の問題。なぜかという
と、登録している授業ですべて行い、しかも前期1回と後期1回という形で何回もやる。結局は面倒で、質問項目も読まないで番号を書く人も出てきて、それが正しい結果かすごく疑問。15分とってくれる先生もいれば、授業の進行もあるんだろうが、5分しかなくて「ささっと書いて下さい」という先生もいる。そういうところで、先生達の意識のズレがあるかなと気になる。
- 私はここまで真剣にアンケートを捉えて回答してこなかった。学生の主観で評価ポイントを決めるため、そのポイントをグラフにして、先生が活かすといっても、評価ポイント自体があいまいなので、どこまで信用できるのか疑問。授業の中で先生と学生のコミュニケーションが充分に取れている場合、アンケートの捉え方も変わってくると思う。
- アンケートに意見を書いて、それが一体直っているのかが1番大事。今受けている中で「いい」と
思う授業は、授業の1回目と2回目にリアクションペーパーといって、例えばOHPの色が見づら
いとかを聞いて、学生も教員も互いにやりやすいようにしている。その先生は、学生は90分集中力
が持たないから5分休憩とかいろいろ工夫し、みんなの意見を取り入れて、好評。このアンケート
は専門教育も共通教育も同じ様式で、学生が飽きてきたと感じるし、教員も聞きたいことは先生に
よって違うはず。授業の中でやればいい。集計してると、時間が掛かるから改善が進まないと思う。

（4）授業の中間時など、いろんな時期にやってほしい

- そうでしか評価は出来ないからだと思うが、全体の授業の終了時にアンケートをやる。学生はその
単位をとってしまおうと、もう2度とその授業は受けられない。その先生がどうなったかという結果
がよく分からないので、やっててすごい疑問に感じている。
- 授業の終わりにとる前に、中間に行くことによって授業が変わるのじゃないかと前々から思ってい
た。最後だと、その教官の授業を次に受けることはほとんどないので。
- 実際授業に出ていて「こうして欲しい」と思っても、最後の授業でないとそれを訴えられない。中
間地点や何度かアンケートを実施して改善して頂きたいと思っていた。
- 中間地点でやった方がいいというのは、その通り。また、最初に学生の授業に対する熱意とかを調

べて、終わった後にまた調べると「授業を受けている間にやる気が下がった」とか「内容が全然わからなくて、つまらなくて授業に出なくなった」とか分かっている。

- 「聞き取り易いか」という項目があるが、最後にアンケートを行うと、聞き取りにくいまま授業が終わってしまう。このアンケート以外に、普段から感想を書く場合もあるが、大抵記名式なので本当の意見が言えないこともある。授業の中間辺りでやるのもいい。
- 中間にやった方がいいという意見はその通り。ただアンケートの集計も大変なので、次回授業を受ける人にとって悪い部分が改善されるのならば、最後に実施するのもいい。

(5) 結果を学生に公表してほしい

- 実際の結果を公表して欲しい。「若干の分析」を別紙で頂いたが、正直このグラフから何が言いたいかわかりにくい。もっと分かりやすく作って欲しい。『報告書』では、教育環境についての評価ポイントが抜けている。そこら辺の改善面を1番公表して欲しい。
- 何回も書いてきたが、結果が公表されなくて、やってて意味があるのかと感じた。公表によって先輩の意見を聞けたり、受講する科目を選ぶ参考にもなるので、なんかの形で公表して欲しい。結果を受けて先生が改善しようという気持ちがあるかという疑問はあるが。
- 事前配布資料を見ると、個々の授業は何も書いてなくて、平均を出している。平均に意味があるのか。学生は先生ごとに点数も変えているのに、それを均されたら、先生は自分がいいのか悪いのか位しか分からない。手書きで書くメッセージも、先生が本当に読んでいるか確信が持てない。授業ごとに細かくグラフにして、掲示板に貼ったり冊子にして自由に取ったり、学生が手軽に知ることが出来るように工夫すべき。すると、授業選びの目安になり、聞いて意義のある先生の授業を選択できる。



2. 意見交換における学生の発言

最初の発言の後、司会から、「教育改善のための学生アンケート」についての「教員アンケート」（昨年7月実施）の結果を簡単に説明（回収率、「学生アンケートを参考に改善を図っている」旨の回答の割合、学生アンケートへの意見を述べた割合など）。

そして、意見交換に入った。以下は流れに沿った要約。便宜的に小見出しを付す。

(1) アンケートの時期・やり方などについて

- 時期の工夫は必要。授業内での改善は難しいかもしれないが、途中で何か言われた時にそれをちょっと改善することはできると思う。OHPの色を変えるとか、板書を大きくするとか、進め方をゆっくりするとか早くするとか、その程度はできる。中間のアンケートや授業の目標を定める最初のアンケートなど工夫すると、最後のアンケートが活きる。
- 集計が大変なので中間や最初は難しいという意見がでたが、集計しなくても、授業に対する要望を簡単に書いて、それで何かしら改善点があればいいと思う。結構、板書とか声の大きさとかは重要。「板書が見えない」「字が見づらい」「もうちょっと丁寧に書いて欲しい」というのは、最後に意見をとっても、その期間はどうしようもない。簡単でいいので、最初や中間にアンケートをとって欲しい。
- 一言だけだったら、A4のレポート用紙を授業中に回して、授業のやり方とか声の大きさとか書いてもらう方法もある。そんなふうに中間でやるのも考えてみる必要がある。
- アンケートに慣れてきて、「またこれか」という感じになる。変えるのだったら、時間を十分とってやる場合もそうでない場合もあるというんでなく、ちゃんと説明をして、先生も学生も「ああ、こんな目的なんだ」ともう1回意識を戻すみたいな感じでやる。これはこれで、先生方の成績表みたいな感じでいい。また、授業の前に先生独自でやるアンケートは学生の意見がすぐ返ってくるし、

先生も「僕はこう思うけど、学生もこれだけは守ってね」と学生に要望を言うこともできる。「先生もやる気だ、じゃあ僕も」みたいな感じになるので、最初の方取るのも良いと思う。

(2) 教員へのフィードバックについて

- アンケートについて各先生にどれほど呼びかけているのか。「学生からこんな指摘があるので、もう少しこうして下さい」とか。難しいと思うが、ちゃんと呼びかけて欲しい。
- アンケートで各先生に対する要望を書くが、こういう意見があったというのをちゃんと伝えて欲しい。要望に対して、放置する先生もいるのかなあと感じてしまう。
- フィードバックの方法だが、担当教員が自分に関する結果を持ち帰って読めるということだったが、教員の間で、例えばあの先生の授業方法や工夫の仕方、ここが良いと思われているとか、逆にこういうやり方はあまり良くないとかはお互いに全く分からないのか？それに関して教員同士が共有する場が何もないということか？（「ない」と回答）
- 先生が自分の授業のアンケートから学生の意見を知るのは大事だが、それがわかったとしても、平均を見て自分の位置を確認するだけ。せめて同じ学部の先生の間だけでも、各先生がどんな点数かを見られるようにしてほしい。そうして評価の良い先生に聞きに行ったり出来るようにしたい。
- 複数の教員でやっている授業もあるが、その場合でもアンケートは1種類。それだと評価が曖昧になってしまうと思う。教員同士で授業の質を深め合うという点で、複数で担当している場合は技術を盗み合うことがすごく出来ると思うのだが。
- 先生によってアンケートの捉え方が全然違う。教育学部では、同じ先生が前期後期に別の授業をやることもある。すると、極端な先生がいて、前期のアンケートの結果で後期に変える。それは良いが、極端すぎて逆にこっちが戸惑う。例えば、自由記述でレジュメが多すぎるとなると、レジュメを使わないでしゃべりだけになる。メモは取るけど、レジュメは学生としてはある程度必要。変わらない先生もどうかと思うが、変わりすぎるのもどうか。先生の間で話し合いをしてもらいたい。
- 教員アンケートの結果を聞いて、6割近くは何かしら改善してくれたと思う一方、半分以上の先生は回答しなかった、回答した中でも4割の先生は学生アンケートに対してどう思ったのかなと思う。極端すぎる先生も困るが、全く見えない部分がある。先生がどう思っているか、アンケートを取って直そうと思っているのかも分からない。それだったら、アンケートをとる意味が全くない。改善する意思のない人もいるんだから。教員同士でアンケートの重要性について話し合うとか、好評だった先生の上位だけでも名前を公表するとか、先生方がアンケートにもっと真剣に取り組むような、話し合いを行って欲しい。



(3) 授業のあり方について

- レジュメにいっぱい書いてあって、読めば分かるのであれば、レジュメを取って帰ると思う。僕は正直そういうところがある。だから、授業を聞く手立て・助けとしてレジュメがあるのがいいかなと思う。レジュメがあり、そこに板書や言ってる内容を書き込む。板書はある程度きれいに書いてほしいが。ただ先生によっては、今どこのことを書いているのか、言っているのか分からないまま、ひたすらだーっとやる人もいる。
- 話す内容に関わらず、聞いててあんまり集中しきれない、意欲が湧いてこないと思うのは、先生がレジュメと黒板しか見てない授業。学生の方を向かないで、理解してるかどうかと無関係に、自分の授業をやってる。学生の顔も見ようとしてないし、自分の思うままに話したり板書したり、プリントと黒板を往復。そんな先生がたまにいるが、あんまり頑張ろうという気がしない。逆に、学生が答えてくれなくても質問を投げかけたりとか、穴埋め式のレジュメで書くのを待ったりとか、一緒に授業をしているのが伝わるという。

(4) 評価ポイントのピークがおおよそ4であることについて

- 学生からしたら「いつも同じで、改善されてるかもわかんないから、適当に4のところでやっちゃえ」というところがある。微妙。（「3をつけては可哀相？」という質問に）全体的にどう捉えるか難しい。授業受けて「この先生はこういう先生だな」と何となく捉えたりできる。そんな点もあるので、高くもなく低くもなく、まあ普通という感じ。
- 今の意見とほとんど同じ。「自分にとって全く為にならない、登録して損した」という授業だと、多分みんなすごく悪い点数をつける。それだと「頑張らなきゃ」となり、5近くだと「結構評価されてる」となるが、4ぐらいだと評価基準による。例えば先生が一生懸命教えて、頑張って黒板に書いて、ある人は「先生、一生懸命たくさん情報与えようとしているんだ」と思っても、別な人は「黒板書がなくちゃいけなくて腕が疲れる」という感じで低くつける。だからどっちともいえない。
- 5段階評価の4なので、普通より高くても良いが、それを先生側はどう思うのか？（「4ならホッとす」「理解度で4にいくのは大変」などの答えに）もちろん受けてる側としては5を目指して欲しい。しかし、人によって感じ方が違う。「板書がいや」という人がいれば、「レジュメがいや」という人もいる。そういう点で、4年間授業を受けて当たりハズレがある。その真ん中を取って、僕だったら3かなと思う。上の方に位置していることは、先生方頑張っているとは思う。
- 4で高いか低いかについて、私は平均を出して、その平均が大事ではないと思う。結果的には平均は4だった。でも2や1をつけた人もいる。そういう場合、先生がその4で安心して良いわけではなくて、もっと少数意見も大事にして頂きたいという思いがある。

(5) 設問項目について ―自分達が求める授業を伝えられるか―

- 『報告書』を読んで思ったが、これ共通と専門とが同じアンケート内容。Ⅱの「参加意欲」の項目では、たとえば「意欲的」「ある程度意欲的」だったら、「どうして意欲的だったのか」という自由記述欄をポイントの下につければ、より書きやすくなる。裏面に自由記述があるが、自由だと何を書いていいかわからない。それから、高校までの授業と大学の授業で何が違うかという、何に役に立つのか分からない。高校の授業だったら受験に役に立つとかあるけど。だから意欲的になれないのかなと思う。そこで「この授業が将来社会に出ていく上で役に立つと思うか」という質問項目を作ったらどうか。そうすれば、授業の質が上がるのでないか。
- アンケート用紙を見直してみて、裏面で「授業方法について思ったことを自由に書いて下さい」とか「感想を自由に書いて下さい」とあるが、感想となるとちょっとニュアンスが違うと思う。「この授業のどの部分をどういうふうに改善してほしいか」というように聞かれた方が、学生としても「あ、ここの部分もっとこうしてほしい」と浮かびやすい。「思ったこと」とすると、単純に「おもしろかった」とか「つまんなかった」とかしか浮かばない。時間も限られていて電車の時間が迫っちゃうと、がーって書きちゃう。それから、先程の方も言ったように、Ⅱ?(5)で、「その数字につけた理由は何か」とか「どうして勉強したのか」とか、(6)でも、意欲的じゃなかった人に対して「なぜ意欲的になれなかったか」とか、(4)でも「授業にいっぱい出席した理由は何にか」とか「出来なかった理由は何か」とか、自由記述をもうちょっと細かくしたら答えやすい。
- Ⅱ-(3)「どうしてこの授業を選んだか」で意味があるのは選択肢1の「勉学面」で、これが学生に聞きたいことだと思う。たとえ卒業までに必要な授業だとしても、それを書くことははばかれる。だから、簡単に「勉学面で関心があったか」でいい。
- 自由記述欄をもっと細かくしたらという意見があったが、学生としては自分で文章を書くことが面倒と感じてしまう。どちらかというと、丸をつけたり番号を書くのがやり易い。細かい改善点はどうかという部分も選択肢があったら書きやすいと思った。
- 質問を「この授業のやり方は改善すべきか」にして、「絶対すべき」「しないでよい」などの選択肢をつけ、「絶対すべき」がすごく多かった先生に対しては「要望をちゃんと見て来年度から改善して下さい」という要望書を出すわけにはいかないか。（「『絶対改善すべき』という場合、アンケートⅢはどうポイントを課すか？」という質問に）。結構難しい。「授業への熱意」が全く感じられないと答えた人が多くても、「熱意を持って下さい」というのもおかしい。熱意が空回りしている方もいる。
- 皆さんが話を盛り込むと項目が増える。そうすると、アンケートの時間をしっかり確保して欲しい。

実際に学生がどう書くかという、僕の場合は今までに本当に取って損したと思った授業が1回あったが、その時はやっぱりボロボロに書いて出した。授業に対してすごく不満があっても、これに書くとなると「この先生は聞いてくれないだろう」と高をくくるところがある。僕はそうだけど。そうすると、自由記述欄にも書かないし、適当に3なりたまに2をつける感じでやっちゃう。だから、先生によっても違ってくる。「書いても、この人は別にどうってことないだろう」と思われてしまえば、反映もしない。

- 「その授業に不満がありますか、もし不満があれば具体的に書いて下さい」とすれば、その授業に対して不満があれば直ぐ分かると思う。そんな項目があってもいい。
- 資料では受講者数が多いとポイントが低い。アンケートのVに「教育環境」があって、「設備等が適切ではなかった」、例えば教室が広過ぎるとかは本当に改善されるのか。

3. 最後のまとめ（山川学務担当副学長）

- 1) 教員の資質の問題：大学教員の採用は基本的に研究水準および、その科目を担当するに相応しいかという科目適合性による。これまでは授業の能力は対象にしていなかった。しかし、最近では、採用前に模擬授業をやって頂くことも出てきている。しかし、なかなか頭の切り替えが難しい。教員間での意見の交流も今後進めていきたい。
- 2) アンケートと授業改善との関係：アンケートの実施時期に関していくつか提案があったので、検討してみたい。それから、昨年授業公開と検討会4回行ったが、来年度はこれを増やしたいと考えている。他大学では、各教員がシラバスに「昨年こういう問題点が指摘されたので、今年度はここを改善したい」と表明するところ、あるいは、教員がそれぞれの授業について「自分はこう思っているか」という自己評価を書くところも出てきた。
- 3) アンケート結果の公表：個別の授業ごとに公表する大学、ポイントの上位者を公表する大学もある。ポイントの高い教員が「どんな授業をしているか、どんな工夫をしているか」を報告する大学もある。ただし、評価を昇給等とリンクさせるのは難しい問題があって、ほとんどの大学でやっていない。新しい大学ではリンクさせているところもあるが。
- 4) アンケート項目など：自由記述の改善などいくつかの提案があったので、それを受けて改善を図りたい。また、学生の方を見ない先生がいるという指摘があったが、いろんな意味でコミュニケーションは重要。ポイント4が高いか低いか、大学の授業は何に役に立つのか、要望を出せばどのように改善されるのか、などの意見も考えてみたい。
- 5) 最後に：大学の中期目標・中期計画、そして年度計画をホームページから見るできるので、FDの項目が今年度どうなっていて、来年度どう変わったか是非見てほしい。変わってなかったら、また批判して頂きたい。改善には終わりがなく、一つ一つ積み上げていくしかない。その意味で、学生とのコミュニケーション、教員間のコミュニケーションを深めていくことが重要だと思っている。

（文責 市川佳宏）

「教育改善のための学生アンケート」結果についての 若干の分析

次ページ以降、65ページまでは、FDプロジェクトに、プロジェクト内WG（白石昌子、小島定、市川佳宏）が提出した資料であり、プロジェクトで確認の上、本報告書に掲載することにした。

以下、WGの報告にもとづいて、資料から読み取れることを簡単に記す。

（資料1）平成16年度前期「教育改善のための学生アンケート」の科目別総合満足度の分布

科目別総合満足度（項目IV：『総合的にみてこの授業に満足しましたか。』）について、全体的な分布とクラスサイズ別の分布を共通教育科目と専門教育科目（学部別）に分けて調べたもの。クラスサイズは受講届数でとった。なお、教育学部専門教育科目とそれ以外ではサイズの刻みが異なることに注意。

これを見ると、おおよそ次のことが分かる。

- ①全体的分布では、山が4.0 or 4.0強の辺りにある。つまり、平均値より分布の山が高いところにある。
- ②クラスサイズ別の分布では、クラスサイズが小さいほど満足度が高い傾向がある。

（資料2）「教育改善のための学生アンケート」の総合満足度（平均値）の経年的推移
これを見ると、

- ①共通教育科目ではかなりの領域で一定の上昇傾向が伺える。
- ②専門教育科目では短年度でもあり、有意な傾向を読みとれない。

なお、この他にWGから、科目別評価において若干の項目を対比した結果について、次のように報告された。

クロス集計がされていないので、数量化はできないが、おおよそ次のようにいえる。

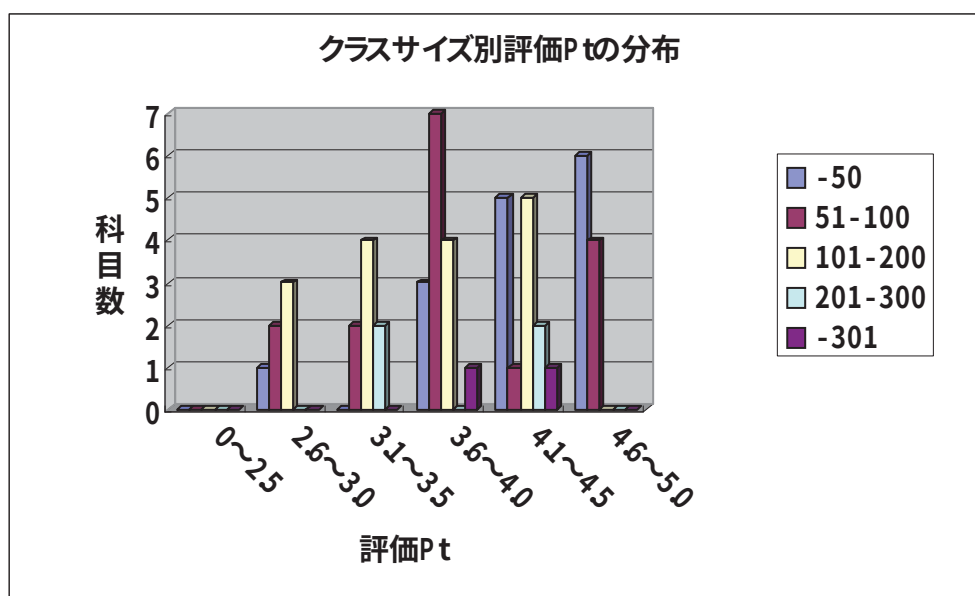
- ①学生の理解度（項目III-(14)：『授業の内容はよく理解できた。』）と総合満足度（項目IV）との間には明らかな相関がみられる。前者が高いほど、後者も高いという傾向が顕著である。
- ②学生の「自ら勉強」（項目II-(5)：『授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。』）と総合満足度との間には相関は伺えない。

資料 1

平成 16 年度前期「教育改善のための学生アンケート」の科目別総合満足度の分布 【共通教育科目】

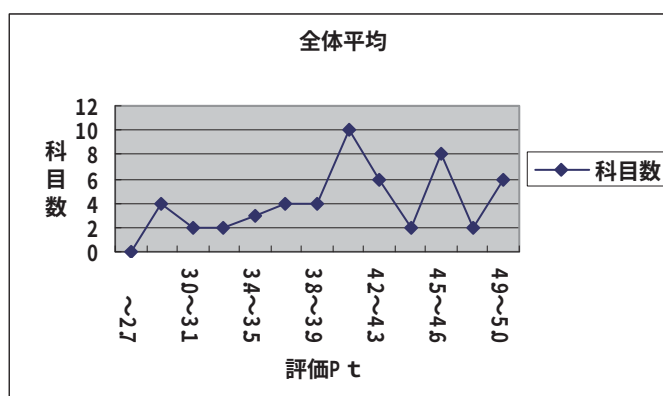
●クラスサイズ別の分布

受講者 評価Pt	～50	51～100	101～200	201～300	301～	合計
46～50	6	4	0	0	0	0
41～45	5	1	5	2	1	1
36～40	3	7	4	0	1	1
31～35	0	2	4	2	0	0
26～30	1	2	3	0	0	0
0～25	0	0	0	0	0	0
合計	15	16	16	4	2	53
平均	4.35	3.95	3.65	3.73	3.86	3.95
標準偏差	0.57	0.65	0.59	0.56	0.33	0.66



●全体的な分布

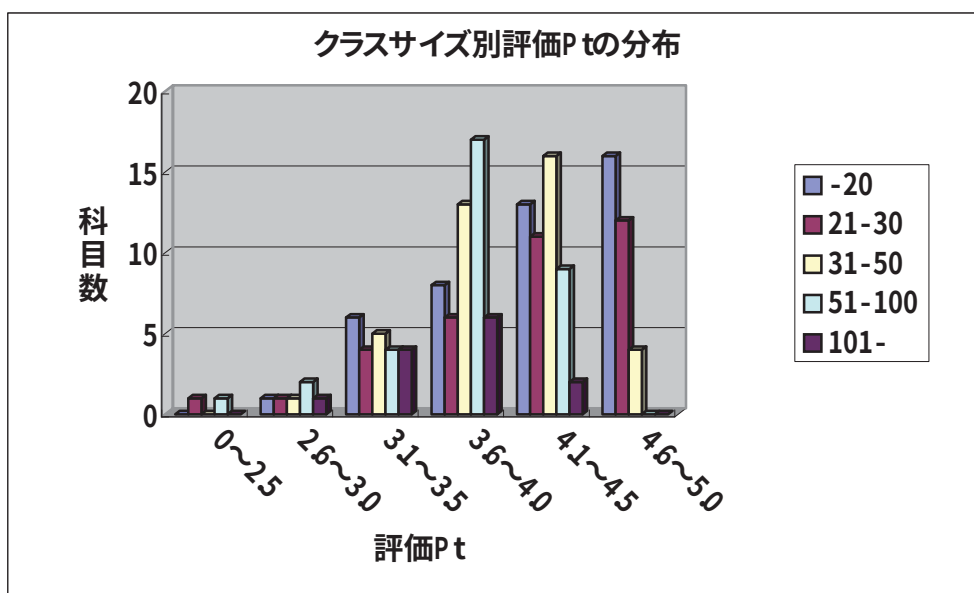
評価 Pt	科目数
～27	0
28～29	4
30～31	2
32～33	2
34～35	3
36～37	4
38～39	4
40～41	10
42～43	6
43～44	2
45～46	8
47～48	2
49～50	6



教育学部専門科目】

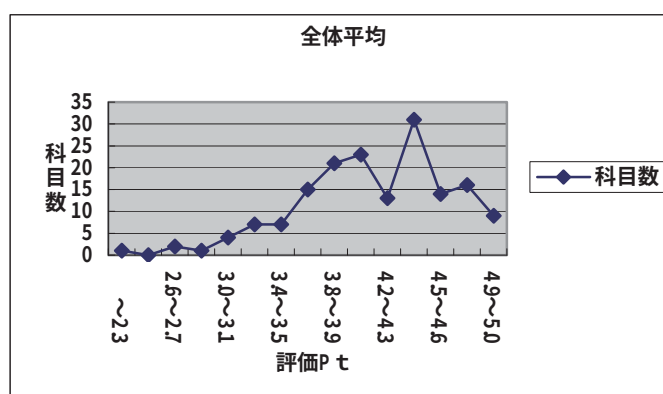
●クラスサイズ別の分布

受講者 評価 Pt	～20	21～30	31～50	51～100	101～	合計
46～50	16	12	4	0	0	32
41～45	13	11	16	9	2	51
36～40	8	6	13	17	6	50
31～35	6	4	5	4	4	23
26～30	1	1	1	2	1	6
0～25	0	1	0	1	0	2
合計	44	35	39	33	13	164
平均	4.22	4.15	3.99	3.74	3.61	4.01
標準偏差	0.57	0.58	0.42	0.50	0.42	0.56



●全体的な分布

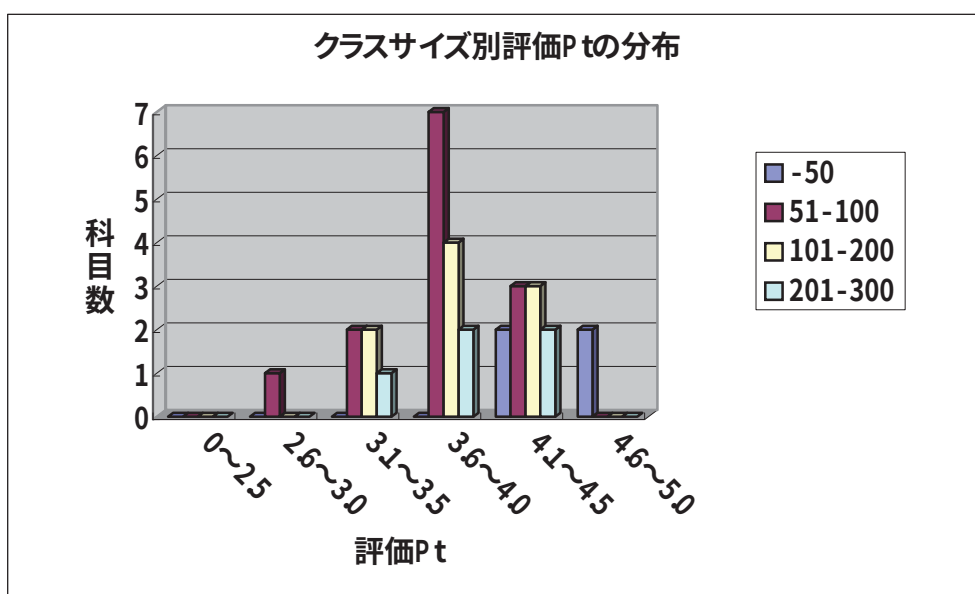
評価 Pt	科目数
～23	1
24～25	0
26～27	2
28～29	1
30～31	4
32～33	7
34～35	7
36～37	15
38～39	21
40～41	23
42～43	13
43～44	31
45～46	14
47～48	16
49～50	9



行政社会学部専門科目】

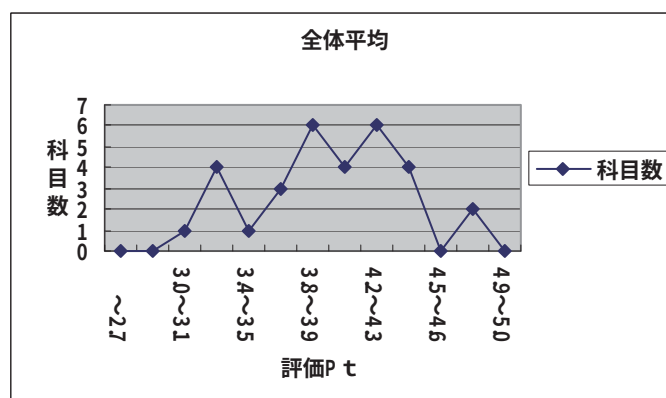
●クラスサイズ別の分布

評価Pt	受講者 ～50	51～100	101～200	201～300	合計
46～50	2	0	0	0	2
41～45	2	3	3	2	10
36～40	0	7	4	2	13
31～35	0	2	2	1	5
26～30	0	1	0	0	1
0～25	0	0	0	0	0
合計	4	13	9	5	31
平均	4.49	3.64	3.79	3.80	3.82
標準偏差	0.27	0.41	0.39	0.37	0.47



●全体的な分布

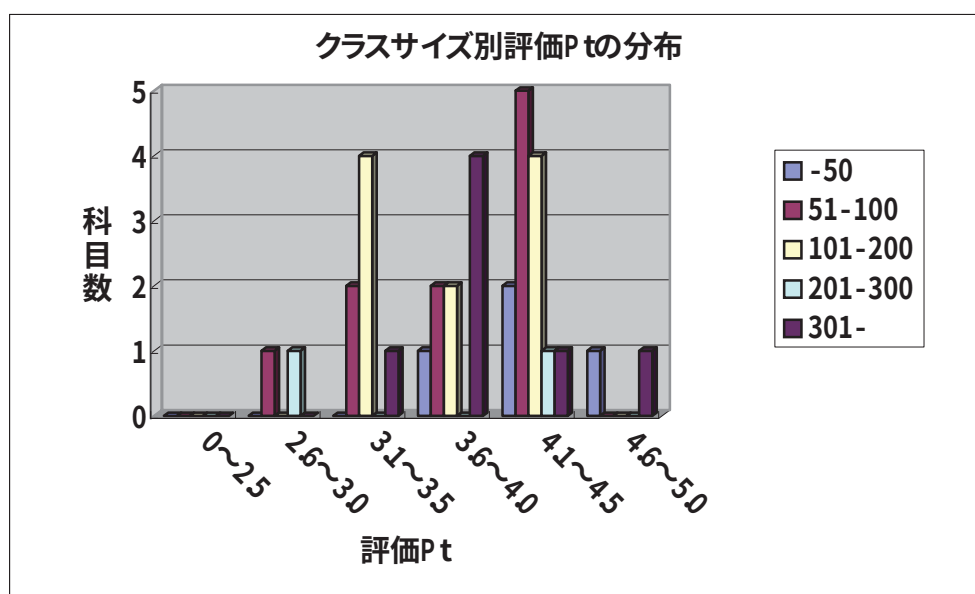
評価Pt	科目数
～27	0
28～29	0
30～31	1
32～33	4
34～35	1
36～37	3
38～39	6
40～41	4
42～43	6
43～44	4
45～46	0
47～48	2
49～50	0



経済学部専門科目】

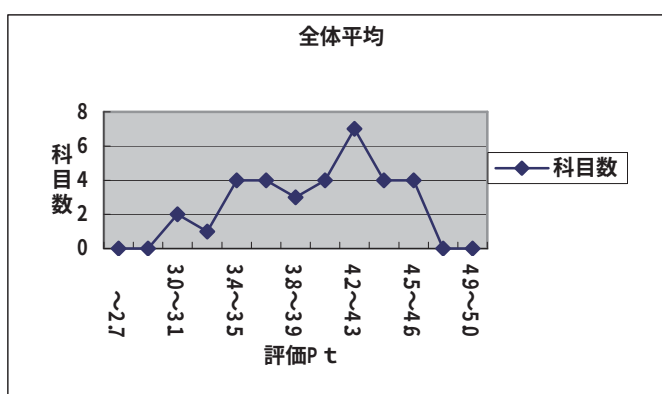
● クラスサイズ別の分布

受講者 評価Pt	～50	51～100	101～200	201～300	301～	合計
46～50	1	0	0	0	1	2
41～45	2	5	4	1	1	13
36～40	1	2	2	0	4	9
31～35	0	2	4	0	1	7
26～30	0	1	0	1	0	2
0～25	0	0	0	0	0	0
合計	4	10	10	2	7	3300
平均	432	382	377	360	383	385
標準偏差	024	048	038	071	037	046



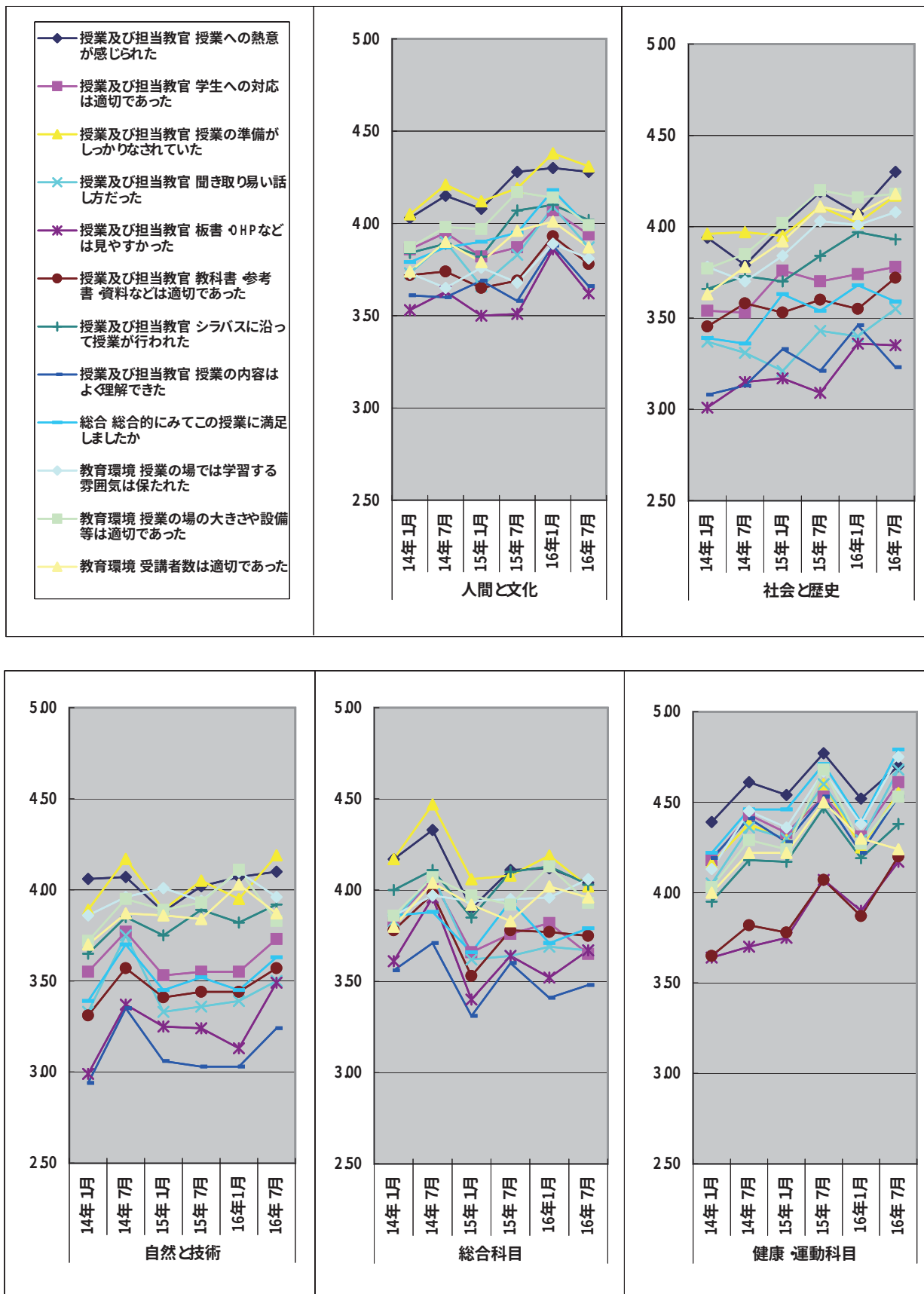
● 全体的な分布

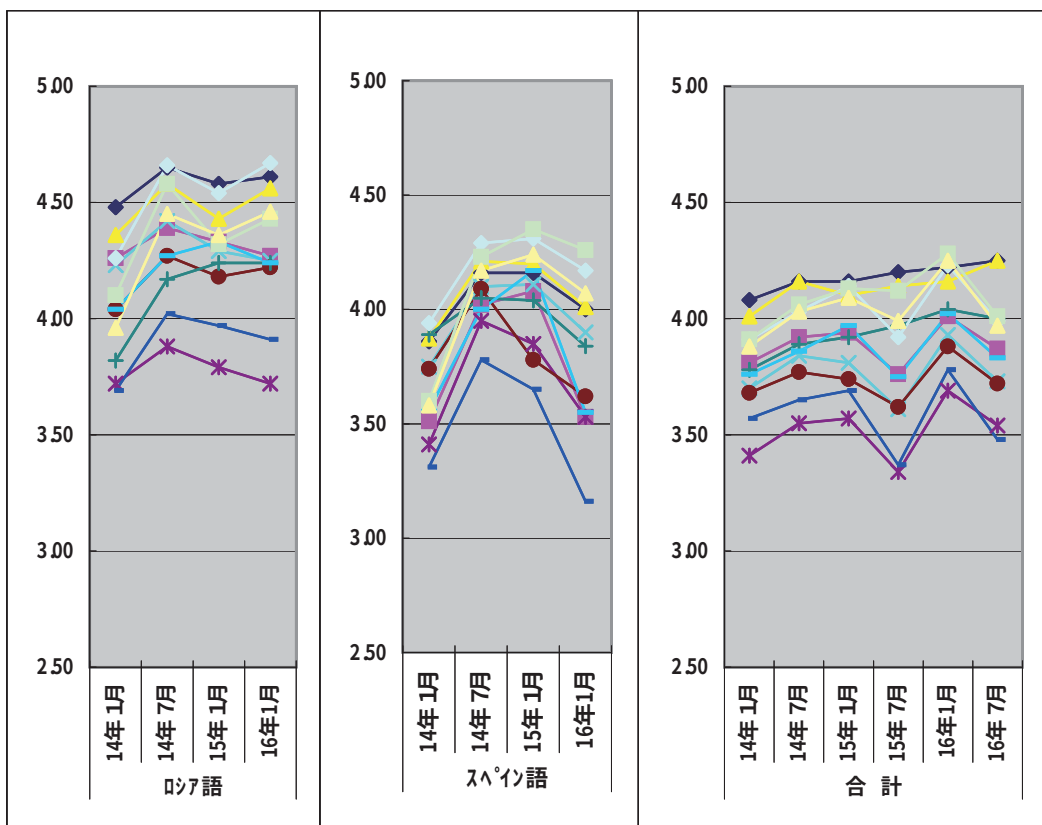
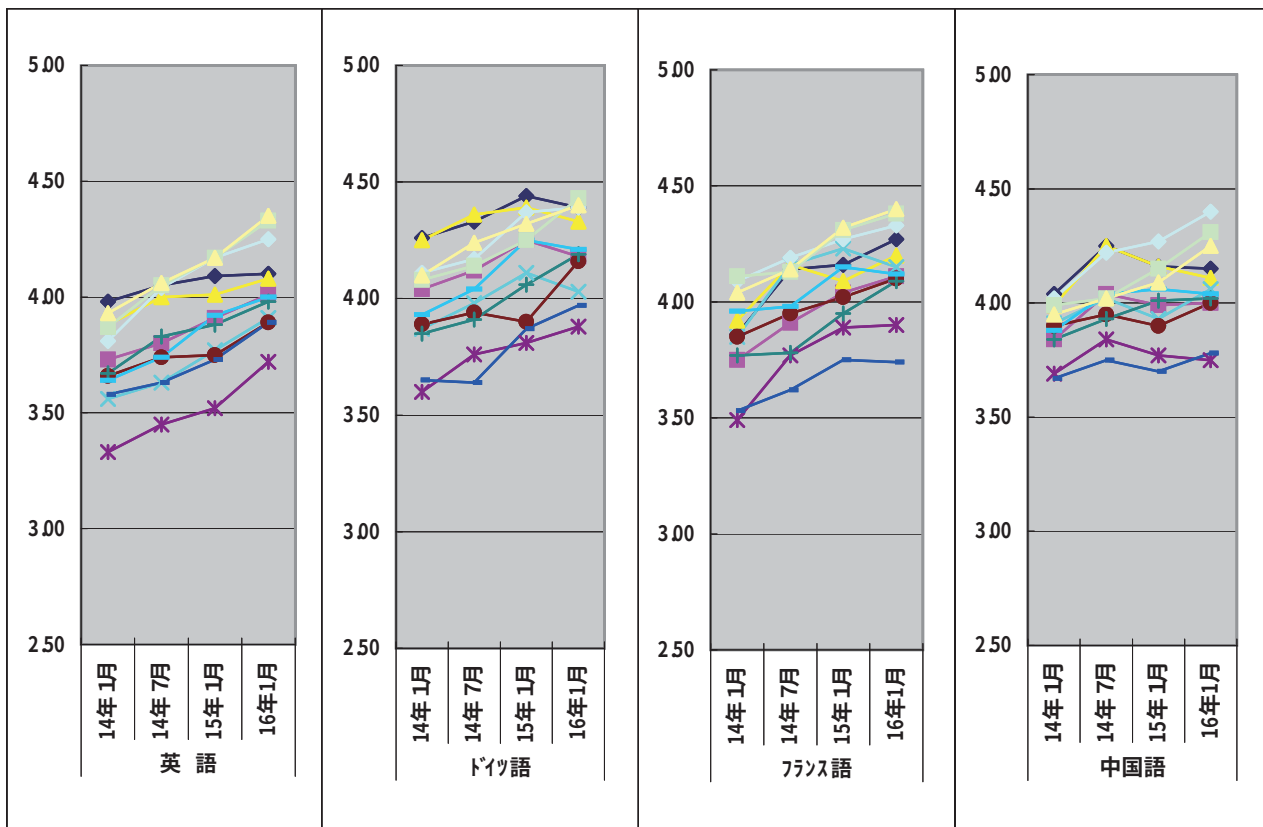
評価Pt	科目数
～27	0
28～29	0
30～31	2
32～33	1
34～35	4
36～37	4
38～39	3
40～41	4
42～43	7
43～44	4
45～46	4
47～48	0
49～50	0



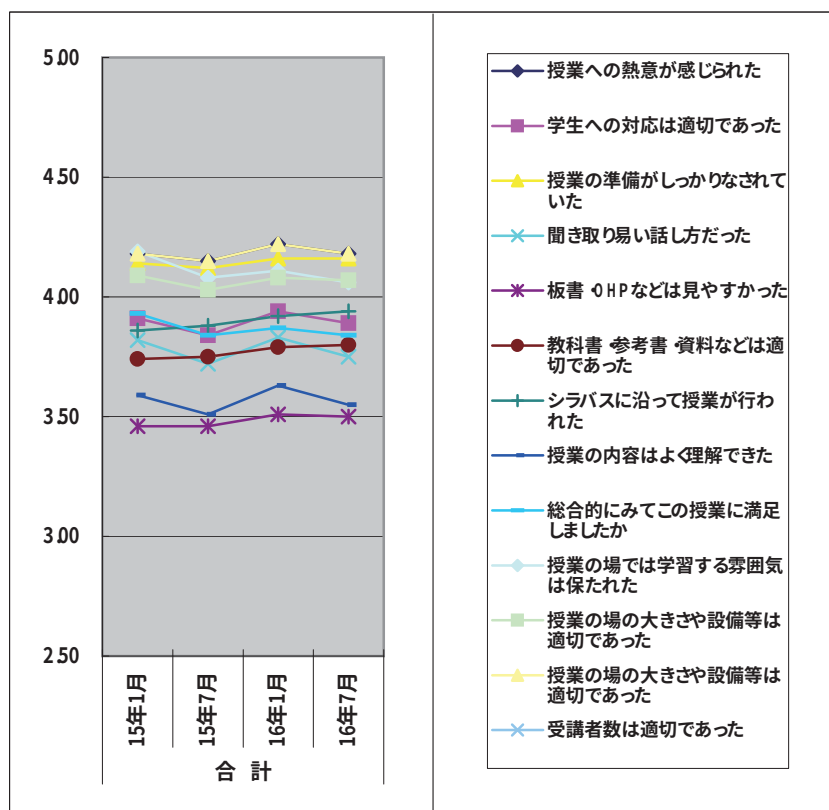
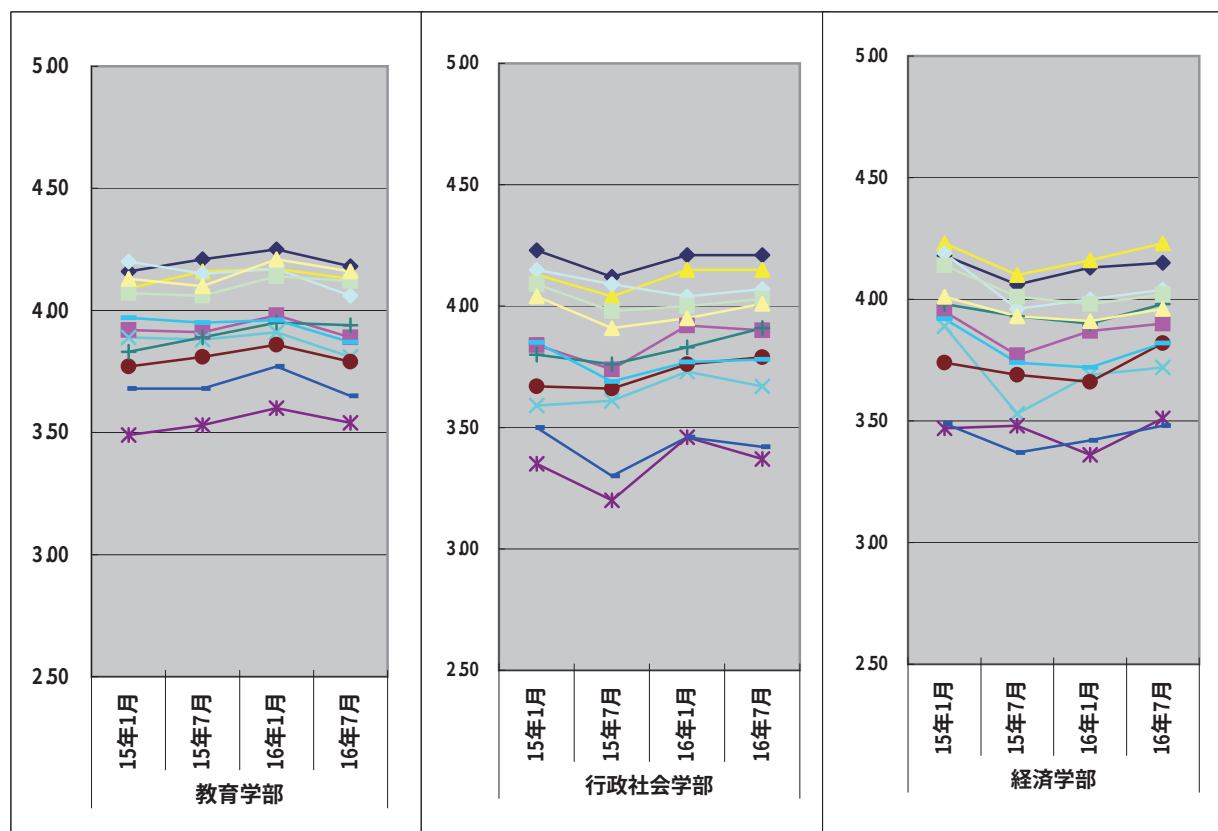
資料 2

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価ポイント平均値の推移 共通教育科目グラフ





教育改善のための学生アンケートにおける授業評価ポイント平均値の推移 専門教育科目グラフ





「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成16年7月実施 教育改善のための 学生アンケート 前期開講科目実施状況

平成16年度前期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
教養科目	人間と文化	111	12	12	12	100.0%	1,999	1,289	64.5%	1,999	1,289	64.5%	無し	無し
	社会と歴史	121	11	11	10	90.9%	1,697	813	47.9%	1,697	813	47.9%	無し	無し
	自然と技術	数字・自然	131	9	8	88.9%	1,226	641	52.3%	1,226	641	52.3%	無し	無し
		基礎理学	132	3	2	66.7%	66	42	63.6%	59	38	64.4%	1科目7名	1科目4名
		情報Ⅰ	133	5	4	80.0%	415	268	64.6%	415	268	64.6%	無し	無し
		その他	134	1	1	100.0%	168	136	81.0%	168	136	81.0%	無し	無し
						小計	1,875	1,087	58.0%	1,868	1,083	58.0%	無し	無し
総合科目		211	4	4	4	100.0%	271	163	60.1%	271	163	60.1%	無し	無し
健康・運動科目	スポーツ実習	321	12	12	12	100.0%	399	249	62.4%	375	229	61.1%	3科目24名	3科目20名
計			57	57	53	93.0%	6,241	3,601	57.7%	6,210	3,577	57.6%		

の範囲の科目群で集計した。

3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁 受講者	1桁 回答者
教育学部専門科目			207	207	164	79.2%	9,593	5,637	58.8%	9,593	5,637	58.8%	無し	無し
行政社会学部専門科目			33	33	31	93.9%	3,849	2,141	55.6%	3,839	2,133	55.6%	2科目 10名	2科目 8名
経済学部専門科目			39	39	33	84.6%	6,150	3,051	49.6%	6,150	3,051	49.6%	無し	無し
計			279	279	228	81.7%	19,592	10,829	55.3%	19,582	10,821	55.3%		

の範囲の科目群で集計した。

平成16年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)共通教育科目)

科目群毎の学生アンケート実施率		人間と文化	社会と歴史	自然と技術	総合科目	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	12	11	18	4	12	-	-	-	-	-	-	-	57
	学生アンケート実施科目数(b)	12	10	15	4	12	-	-	-	-	-	-	-	53
	学生アンケート実施率(b/a %)	100.0%	90.9%	83.3%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	93.0%
人数	学生アンケート受講者数(c)	1,999	1,697	1,868	271	375	-	-	-	-	-	-	-	6,210
	学生アンケート回答者数(d)	1,289	813	1,083	163	229	-	-	-	-	-	-	-	3,577
	学生アンケート回答率(d/c %)	64.5%	47.9%	58.0%	60.1%	61.1%	-	-	-	-	-	-	-	57.6%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎)

	番号	設 問	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	総合科目	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び担当教官	(7)	授業への熱意が感じられた	4.28	4.30	4.10	4.04	4.70	—	—	—	—	—	—	—	4.25
	(8)	学生への対応は適切であった	3.94	3.78	3.73	3.65	4.61	—	—	—	—	—	—	—	3.87
	(9)	授業の準備がしっかりなされていた	4.31	4.17	4.19	4.02	4.55	—	—	—	—	—	—	—	4.25
	(10)	話は聞き取り易かった	3.87	3.55	3.50	3.67	4.68	—	—	—	—	—	—	—	3.73
	(11)	板書・HPなどは見やすかった	3.62	3.35	3.49	3.67	4.17	—	—	—	—	—	—	—	3.54
	(12)	教科書・参考書・資料などは適切であった	3.78	3.72	3.57	3.75	4.20	—	—	—	—	—	—	—	3.72
	(13)	シラバスに沿って授業が行われた	4.02	3.93	3.92	4.03	4.38	—	—	—	—	—	—	—	4.00
	(14)	授業の内容はよく理解できた	3.66	3.23	3.24	3.48	4.53	—	—	—	—	—	—	—	3.48
総合	IV	総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.98	3.59	3.63	3.79	4.79	—	—	—	—	—	—	—	3.83
教育環境	(16)	授業の間では学習する雰囲気は保たれたか	3.81	4.08	3.96	4.06	4.75	—	—	—	—	—	—	—	3.99
	(17)	授業の場の大きさや設備等は適切であったか	3.99	4.18	3.83	3.93	4.53	—	—	—	—	—	—	—	4.01
	(18)	受講者数は適切であったか	3.87	4.18	3.87	3.96	4.24	—	—	—	—	—	—	—	3.97

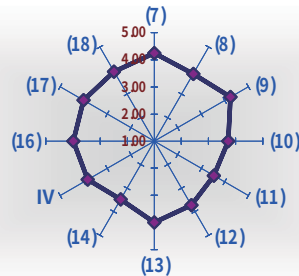
※ 評価ポイント

- 5 強く思う (非常に良い)
- 4 やや思う (良い)
- 3 どちらとも言えない (普通)
- 2 あまり思う (あまり良くない)
- 1 まったく思わない (良くない)

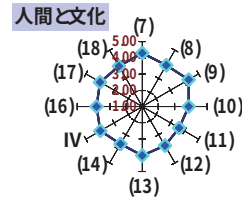
※ 「日本語」はクラスが特定されるので公表から外す。

※ 受講者数が一桁の授業は集計から外す。

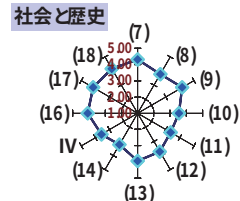
合計



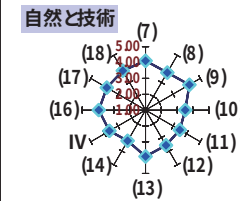
人間と文化



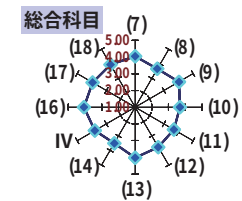
社会と歴史



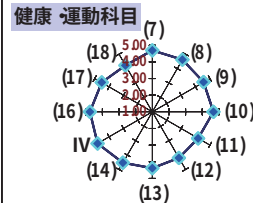
自然と技術



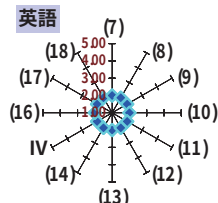
総合科目



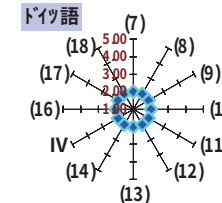
健康・運動科目



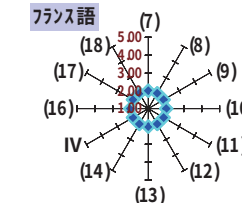
英語



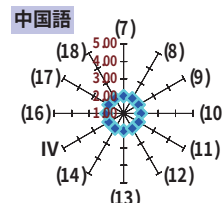
ドイツ語



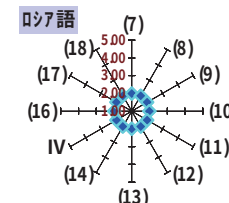
フランス語



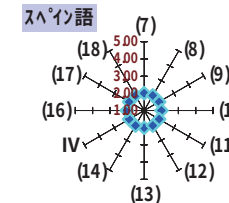
中国語



ロシア語



スペイン語

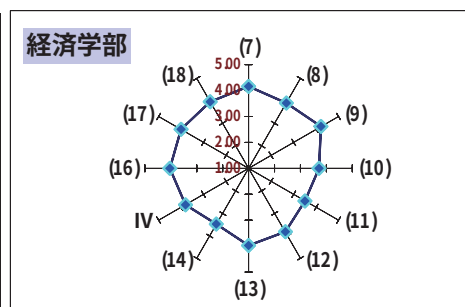
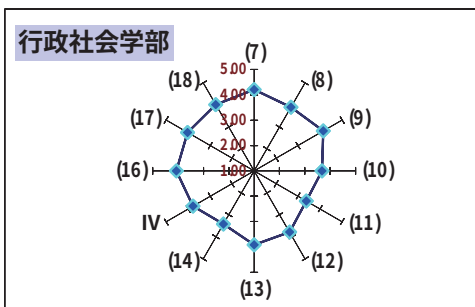
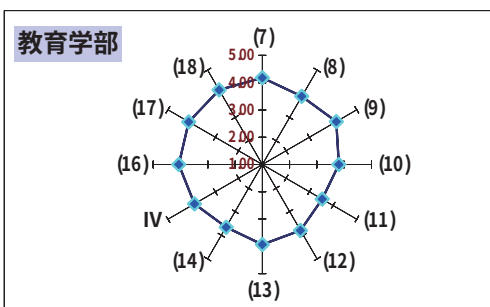
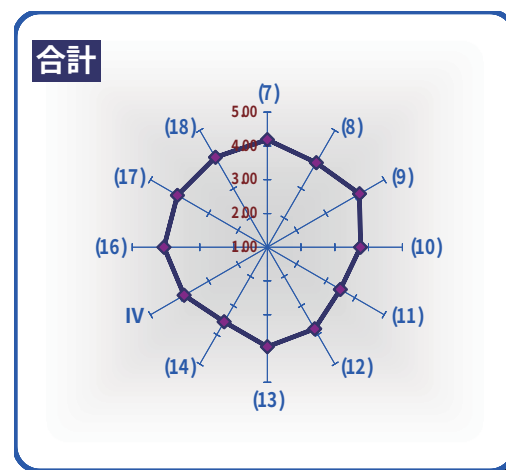


平成16年7月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (前期)専門教育科目)

学部毎の学生アンケート実施率		教育学部	行政社会学部	経済学部	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	207	33	39	279
	学生アンケート実施科目数(b)	164	31	33	228
	学生アンケート実施率(b/a :%)	79.2%	93.9%	84.6%	81.7%
人数	学生アンケート受講者数(c)	9,593	3,839	6,150	19,582
	学生アンケート回答者数(d)	5,637	2,133	3,051	10,821
	学生アンケート回答率(d/c :%)	58.8%	55.6%	49.6%	55.3%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 学部毎)

	番号	設 問	教育学部	行政社会学部	経済学部	合計
授業及び担当教官	(7)	授業への熱意が感じられた	4.18	4.21	4.15	4.18
	(8)	学生への対応は適切であった	3.89	3.90	3.90	3.89
	(9)	授業の準備がしっかりなされていた	4.13	4.15	4.23	4.16
	(10)	聞き取り易い話し方だった	3.81	3.67	3.72	3.75
	(11)	板書・OHPなどは見やすかった	3.54	3.37	3.51	3.50
	(12)	教科書・参考書・資料などは適切であった	3.79	3.79	3.82	3.80
	(13)	シラバスに沿って授業が行われた	3.94	3.91	3.98	3.94
	(14)	授業の内容はよく理解できた	3.65	3.42	3.48	3.55
総合	IV	総合的にみてこの授業に満足しましたか	3.87	3.78	3.82	3.84
教育環境	(16)	授業の間では学習する雰囲気は保たれた	4.06	4.07	4.04	4.06
	(17)	授業の場の大きさや設備等は適切であった	4.12	4.03	4.02	4.07
	(18)	受講者数は適切であった	4.16	4.01	3.96	4.08



※評価ポイント
 5 強く思う
 4 やや思う
 3 どちらともいえない
 2 あまり思わない
 1 まったく思わない

教育改善のための学生アンケート

平成16年7月実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 教育学部（学校教育教員養成課程） | 2. 教育学部（生涯教育課程） |
| 3. 行政社会学部（昼間主コース） | 4. 行政社会学部（夜間主コース） |
| 5. 経済学部（昼間主コース） | 6. 経済学部（夜間主コース） |

(1)	
-----	--

(2) 学年（入学してからの年数）

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 | 5. 5年以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2)	
-----	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定又は必修だったから |
| 7. その他 | |

(3)	
-----	--

()

(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 90%以上 | 2. 89～70% | 3. 69～50% | 4. 49～30% | 5. 29%以下 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(4)	
-----	--

(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 非常によく勉強した | 2. よく勉強した | 3. 多少はした |
| 4. ほとんどしなかった | 5. まったくしなかった | |

(5)	
-----	--

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に意欲的 | 2. ある程度意欲的 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり意欲的でない | 5. まったく意欲的でない | |

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。】

評 価 ポ イ ン ト	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。（担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。）

(7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

(8) 学生への対応は適切であった。

(8)	
-----	--

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

(10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。）

(11)	
------	--

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(12)	
------	--

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

(13)	
------	--

(14) 授業の内容はよく理解できた。

(14)	
------	--

評 価 ポイント	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

(15) その他担当教員の授業方法について思ったことを自由にご書いてください。

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

(16)	
------	--

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(17)	
------	--

(18) 受講者数は適切であった。

(18)	
------	--

(19) その他教育環境について感じたことを自由にご書いてください。

VI. その他この授業の感想を自由にご書いてください。

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

①各科目ごとの集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。

②各科目をいくつかのグループに分類し、グループ単位の集計結果を報告書等において公表すること
にしています。また、その内容は学生みなさんにも掲示等でお知らせします。

教育改善のための学生アンケート

平成16年7月実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 教育学部（学校教育教員養成課程） | 2. 教育学部（生涯教育課程） |
| 3. 行政社会学部（昼間主コース） | 4. 行政社会学部（夜間主コース） |
| 5. 経済学部（昼間主コース） | 6. 経済学部（夜間主コース） |

(1)	
-----	--

(2) 学年（入学してからの年数）

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 | 5. 5年以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2)	
-----	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定又は必修だったから |
| 7. その他 | |

(3)	
-----	--

()

(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 90%以上 | 2. 89～70% | 3. 69～50% | 4. 49～30% | 5. 29%以下 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(4)	
-----	--

(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 非常によく勉強した | 2. よく勉強した | 3. 多少はした |
| 4. ほとんどしなかった | 5. まったくしなかった | |

(5)	
-----	--

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に意欲的 | 2. ある程度意欲的 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり意欲的でない | 5. まったく意欲的でない | |

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。】

評 価 ポ イ ン ト	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。（担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。）

(7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

(8) 学生への対応は適切であった。

(8)	
-----	--

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

(10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。）

(11)	
------	--

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(12)	
------	--

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

(13)	
------	--

(14) 授業の内容はよく理解できた。

(14)	
------	--

評 価 ポイント	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

(15) その他担当教員の授業方法について思ったことを自由にご書いてください。

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

(16)	
------	--

(17) 授業の間の大きさや設備等は適切であった。

(17)	
------	--

(18) 受講者数は適切であった。

(18)	
------	--

(19) その他教育環境について感じたことを自由にご書いてください。

VI. その他この授業の感想を自由にご書いてください。

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生のみなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

①各科目ごとの集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。

②各科目ごとの集計結果を各学部ごとに再集計し、報告書等において公表することになっています。また、その内容は学生のみなさんにも掲示等でお知らせします。

教育改善のための学生アンケート

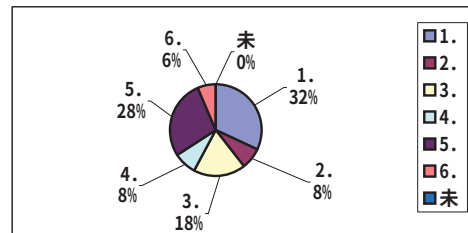
分野	科目
教養科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1999	1289	64.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

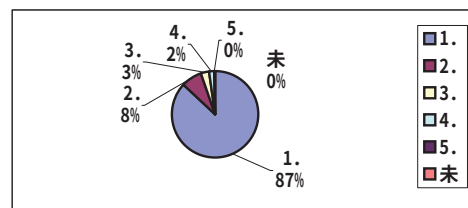
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	410名
2.教育学部 生涯教育)	100名
3.行政社会学部 昼間)	233名
4.行政社会学部 夜間)	106名
5.経済学部 昼間)	359名
6.経済学部 夜間)	80名
未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

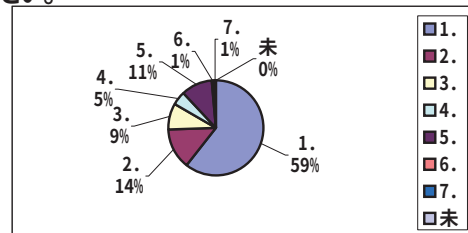
1. 1年	1121名
2. 2年	101名
3. 3年	38名
4. 4年	24名
5. 5年以上	5名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

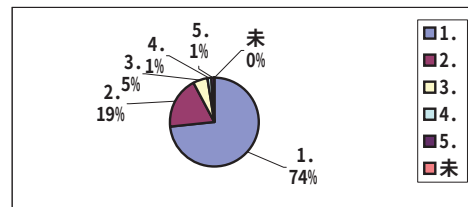
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	779名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	179名
3. 単位がとり易そうだったから	115名
4. 受講し易い時間帯にあったから	61名
5. 友人や先輩に勧められたから	136名
6. クラス指定又は必修だったから	11名
7. その他	8名
未 未記入	0名



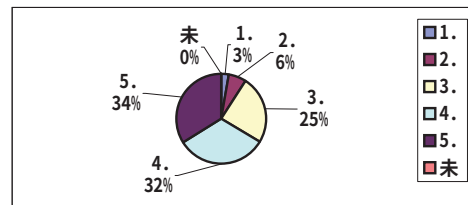
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	945名
2. 89%～70%	243名
3. 69%～50%	70名
4. 49%～30%	17名
5. 29%以下	14名
未 未記入	0名



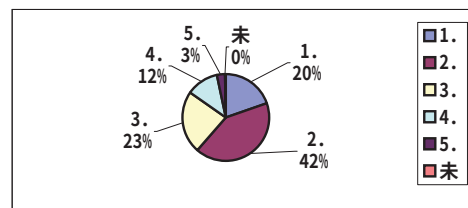
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	36名
2. よく勉強した	81名
3. 多少はした	318名
4. ほとんどしなかった	417名
5. まったくしなかった	437名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	255名
2. ある程度意欲的	538名
3. どちらともいえない	298名
4. あまり意欲的でない	155名
5. まったく意欲的でない	41名
未 未記入	2名



分野	科目
教養科目	人間と文化 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1999	1289	64.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	601名
4. ややそう思う	496名
3. どちらともいえない	154名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	1名

合計 1289名

評価ポイント平均値 4.28

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	432名
4. ややそう思う	484名
3. どちらともいえない	264名
2. あまりそう思わない	87名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	0名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.94

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	636名
4. ややそう思う	466名
3. どちらともいえない	155名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	0名

合計 1289名

評価ポイント平均値 4.31

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	479名
4. ややそう思う	387名
3. どちらともいえない	251名
2. あまりそう思わない	115名
1. まったくそう思わない	57名
未 未記入	0名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.87

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	344名
4. ややそう思う	368名
3. どちらともいえない	346名
2. あまりそう思わない	160名
1. まったくそう思わない	52名
未 未記入	19名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.62

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	353名
4. ややそう思う	410名
3. どちらともいえない	400名
2. あまりそう思わない	72名
1. まったくそう思わない	27名
未 未記入	27名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.78

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	424名
4. ややそう思う	506名
3. どちらともいえない	315名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	10名

合計 1289名

評価ポイント平均値 4.02

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	307名
4. ややそう思う	446名
3. どちらともいえない	366名
2. あまりそう思わない	125名
1. まったくそう思わない	45名
未 未記入	0名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.66

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	437名
4. ややそう思う	484名
3. どちらともいえない	254名
2. あまりそう思わない	75名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	20名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.98

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	429名
4. ややそう思う	391名
3. どちらともいえない	296名
2. あまりそう思わない	120名
1. まったくそう思わない	46名
未 未記入	7名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.81

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	524名
4. ややそう思う	387名
3. どちらともいえない	236名
2. あまりそう思わない	100名
1. まったくそう思わない	34名
未 未記入	8名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.99

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	441名
4. ややそう思う	390名
3. どちらともいえない	322名
2. あまりそう思わない	93名
1. まったくそう思わない	34名
未 未記入	9名

合計 1289名

評価ポイント平均値 3.87

教育改善のための学生アンケート

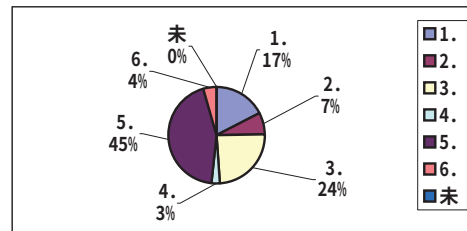
分野	科目
教養科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1697	813	47.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

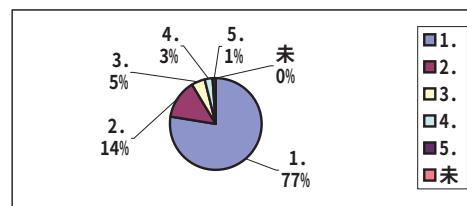
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	142名
2.教育学部 生涯教育)	60名
3.行政社会学部 昼間)	196名
4.行政社会学部 夜間)	23名
5.経済学部 昼間)	356名
6.経済学部 夜間)	36名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

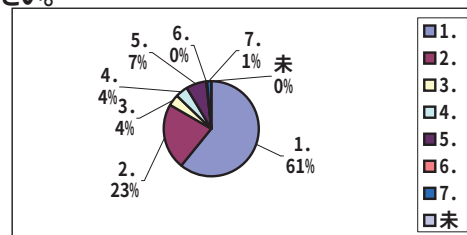
1. 1年	631名
2. 2年	113名
3. 3年	38名
4. 4年	22名
5. 5年以上	9名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

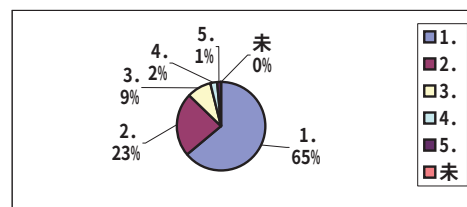
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	494名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	183名
3. 単位がとり易そうだったから	33名
4. 受講し易い時間帯にあったから	34名
5. 友人や先輩に勧められたから	55名
6. クラス指定又は必修だったから	3名
7. その他	10名
未 未記入	1名



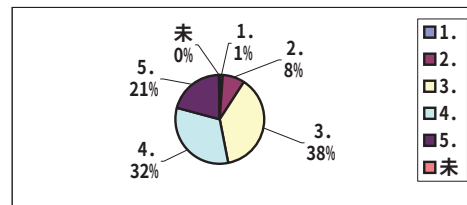
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	519名
2. 89%～70%	190名
3. 69%～50%	73名
4. 49%～30%	20名
5. 29%以下	10名
未 未記入	1名



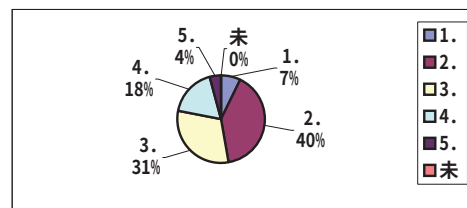
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	10名
2. よく勉強した	64名
3. 多少はした	307名
4. ほとんどしなかった	262名
5. まったくしなかった	167名
未 未記入	3名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	59名
2. ある程度意欲的	326名
3. どちらともいえない	250名
4. あまり意欲的でない	143名
5. まったく意欲的でない	35名
未 未記入	0名



分野	科目
教養科目	社会と歴史 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1697	813	47.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	400名
4. ややそう思う	294名
3. どちらともいえない	94名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	0名

合計 813名

評価ポイント平均値 4.30

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	214名
4. ややそう思う	307名
3. どちらともいえない	210名
2. あまりそう思わない	64名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	0名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.78

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	352名
4. ややそう思う	299名
3. どちらともいえない	125名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	0名

合計 813名

評価ポイント平均値 4.17

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	227名
4. ややそう思う	216名
3. どちらともいえない	201名
2. あまりそう思わない	114名
1. まったくそう思わない	55名
未 未記入	0名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.55

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	167名
4. ややそう思う	174名
3. どちらともいえない	226名
2. あまりそう思わない	144名
1. まったくそう思わない	48名
未 未記入	54名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.35

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	180名
4. ややそう思う	311名
3. どちらともいえない	245名
2. あまりそう思わない	54名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	4名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.72

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	264名
4. ややそう思う	293名
3. どちらともいえない	202名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	3名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.93

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	80名
4. ややそう思う	268名
3. どちらともいえない	287名
2. あまりそう思わない	119名
1. まったくそう思わない	59名
未 未記入	0名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.23

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	139名
4. ややそう思う	311名
3. どちらともいえない	245名
2. あまりそう思わない	79名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	17名

合計 813名

評価ポイント平均値 3.59

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	319名
4. ややそう思う	293名
3. どちらともいえない	147名
2. あまりそう思わない	39名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	4名

合計 813名

評価ポイント平均値 4.08

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	362名
4. ややそう思う	283名
3. どちらともいえない	121名
2. あまりそう思わない	30名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	4名

合計 813名

評価ポイント平均値 4.18

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	345名
4. ややそう思う	299名
3. どちらともいえない	134名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	4名

合計 813名

評価ポイント平均値 4.18

教育改善のための学生アンケート

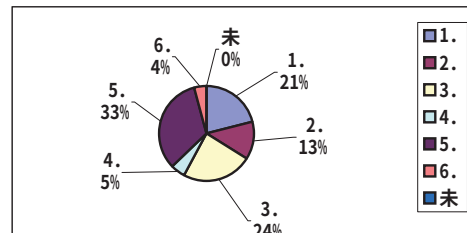
分野	科目
教養科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1868	1083	58.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

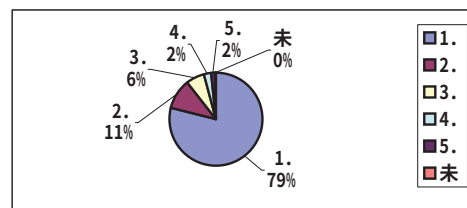
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	230名
2.教育学部 生涯教育)	136名
3.行政社会学部 昼間)	260名
4.行政社会学部 夜間)	53名
5.経済学部 昼間)	359名
6.経済学部 夜間)	44名
未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

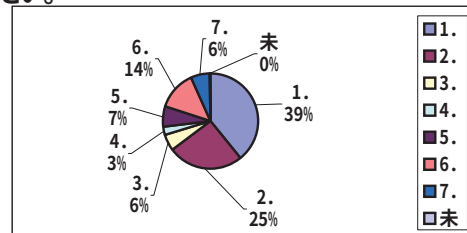
1. 1年	854名
2. 2年	116名
3. 3年	69名
4. 4年	25名
5. 5年以上	17名
未 未記入	2名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

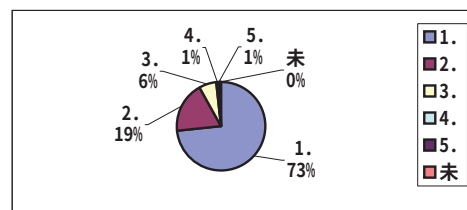
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	425名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	275名
3. 単位がとり易そうだったから	60名
4. 受講し易い時間帯にあったから	31名
5. 友人や先輩に勧められたから	74名
6. クラス指定又は必修だったから	147名
7. その他	68名
未 未記入	3名



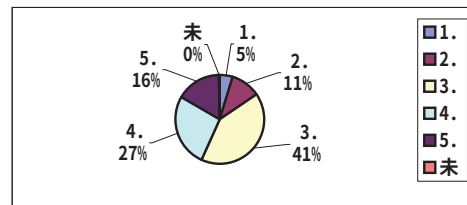
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	795名
2. 89%～70%	201名
3. 69%～50%	70名
4. 49%～30%	6名
5. 29%以下	9名
未 未記入	2名



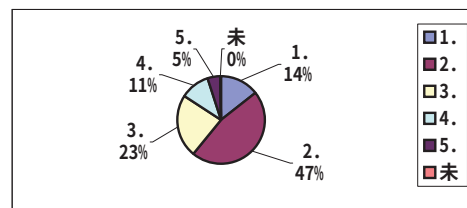
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	51名
2. よく勉強した	117名
3. 多少はした	445名
4. ほとんどしなかった	289名
5. まったくしなかった	177名
未 未記入	4名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	155名
2. ある程度意欲的	504名
3. どちらともいえない	253名
4. あまり意欲的でない	117名
5. まったく意欲的でない	51名
未 未記入	3名



分野	科目
教養科目	自然と技術 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1868	1083	58.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	451名
4. ややそう思う	377名
3. どちらともいえない	192名
2. あまりそう思わない	34名
1. まったくそう思わない	26名
未 未記入	3名

合計 1083名

評価ポイント平均値 4.10

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	324名
4. ややそう思う	352名
3. どちらともいえない	241名
2. あまりそう思わない	112名
1. まったくそう思わない	51名
未 未記入	3名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.73

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	512名
4. ややそう思う	340名
3. どちらともいえない	164名
2. あまりそう思わない	45名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	3名

合計 1083名

評価ポイント平均値 4.19

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	288名
4. ややそう思う	283名
3. どちらともいえない	275名
2. あまりそう思わない	149名
1. まったくそう思わない	84名
未 未記入	4名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.50

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	276名
4. ややそう思う	283名
3. どちらともいえない	260名
2. あまりそう思わない	167名
1. まったくそう思わない	76名
未 未記入	21名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.49

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	252名
4. ややそう思う	291名
3. どちらともいえない	374名
2. あまりそう思わない	101名
1. まったくそう思わない	45名
未 未記入	20名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.57

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	345名
4. ややそう思う	382名
3. どちらともいえない	293名
2. あまりそう思わない	30名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	8名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.92

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	140名
4. ややそう思う	347名
3. どちらともいえない	321名
2. あまりそう思わない	174名
1. まったくそう思わない	98名
未 未記入	3名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.24

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	232名
4. ややそう思う	407名
3. どちらともいえない	254名
2. あまりそう思わない	110名
1. まったくそう思わない	49名
未 未記入	31名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.63

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	421名
4. ややそう思う	321名
3. どちらともいえない	228名
2. あまりそう思わない	75名
1. まったくそう思わない	29名
未 未記入	9名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.96

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	394名
4. ややそう思う	296名
3. どちらともいえない	231名
2. あまりそう思わない	109名
1. まったくそう思わない	44名
未 未記入	9名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.83

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	369名
4. ややそう思う	331名
3. どちらともいえない	259名
2. あまりそう思わない	93名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	10名

合計 1083名

評価ポイント平均値 3.87

教育改善のための学生アンケート

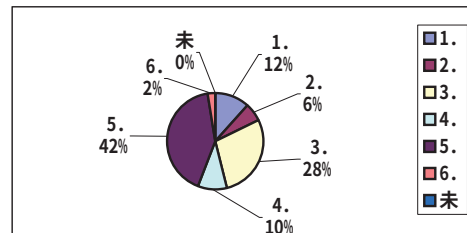
分野	科目
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	271	163	60.1%

I. あなた自身についてお答え下さい。

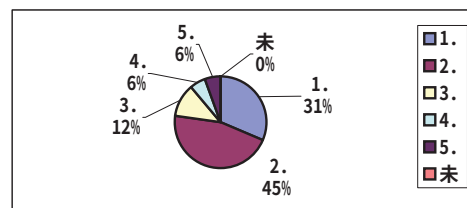
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	19名
2.教育学部 生涯教育)	10名
3.行政社会学部 昼間)	46名
4.行政社会学部 夜間)	16名
5.経済学部 昼間)	68名
6.経済学部 夜間)	4名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

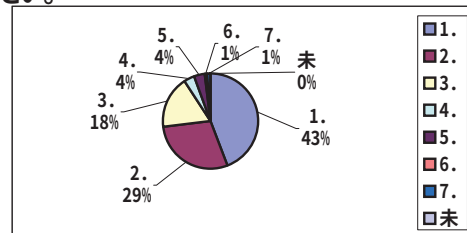
1. 1年	51名
2. 2年	75名
3. 3年	19名
4. 4年	9名
5. 5年以上	9名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

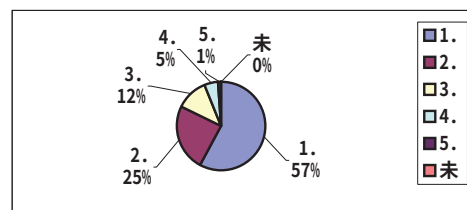
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	72名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	47名
3. 単位がとり易そうだったから	29名
4. 受講し易い時間帯にあったから	6名
5. 友人や先輩に勧められたから	6名
6. クラス指定又は必修だったから	1名
7. その他	2名
未 未記入	0名



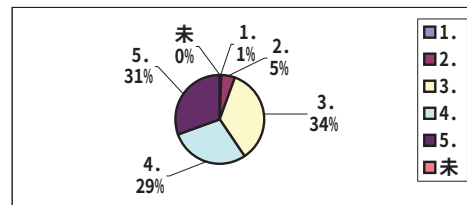
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	94名
2. 89%～70%	40名
3. 69%～50%	19名
4. 49%～30%	8名
5. 29%以下	2名
未 未記入	0名



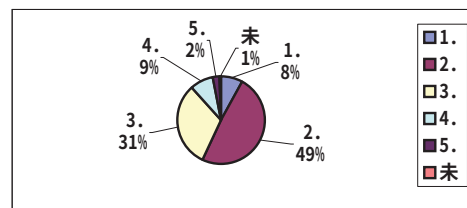
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	1名
2. よく勉強した	8名
3. 多少はした	57名
4. ほとんどしなかった	47名
5. まったくしなかった	50名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	13名
2. ある程度意欲的	80名
3. どちらともいえない	51名
4. あまり意欲的でない	14名
5. まったく意欲的でない	4名
未 未記入	1名



分野	科目
総合科目 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	271	163	60.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	44名
4. ややそう思う	86名
3. どちらともいえない	29名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 163名

評価ポイント平均値 4.04

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	28名
4. ややそう思う	70名
3. どちらともいえない	48名
2. あまりそう思わない	14名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.65

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	55名
4. ややそう思う	66名
3. どちらともいえない	35名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 163名

評価ポイント平均値 4.02

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	34名
4. ややそう思う	59名
3. どちらともいえない	54名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.67

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	37名
4. ややそう思う	54名
3. どちらともいえない	47名
2. あまりそう思わない	21名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	4名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.67

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	37名
4. ややそう思う	60名
3. どちらともいえない	56名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.75

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	62名
4. ややそう思う	52名
3. どちらともいえない	41名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 4.03

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	18名
4. ややそう思う	61名
3. どちらともいえない	67名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.48

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	31名
4. ややそう思う	79名
3. どちらともいえない	40名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.79

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	60名
4. ややそう思う	60名
3. どちらともいえない	33名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 4.06

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	57名
4. ややそう思う	57名
3. どちらともいえない	30名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.93

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	52名
4. ややそう思う	60名
3. どちらともいえない	42名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	1名

合計 163名

評価ポイント平均値 3.96

教育改善のための学生アンケート

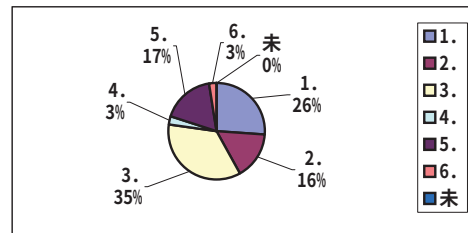
分野	科目
健康・運動科目	スポーツ実習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	375	229	61.1%

I. あなた自身についてお答え下さい。

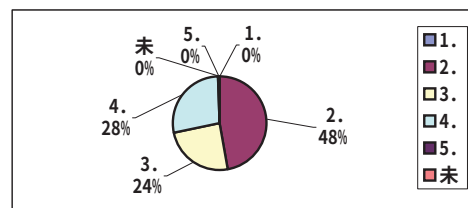
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	60名
2.教育学部 生涯教育)	36名
3.行政社会学部 昼間)	81名
4.行政社会学部 夜間)	6名
5.経済学部 昼間)	40名
6.経済学部 夜間)	6名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

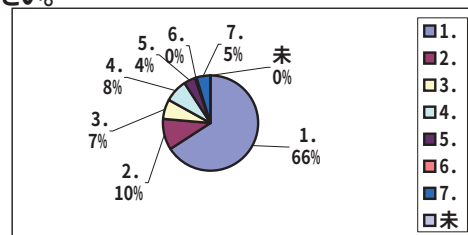
1. 1年	0名
2. 2年	108名
3. 3年	56名
4. 4年	64名
5. 5年以上	1名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

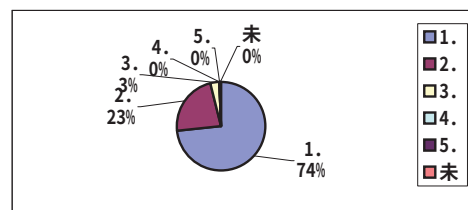
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	151名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	24名
3. 単位がとり易そうだったから	15名
4. 受講し易い時間帯にあったから	18名
5. 友人や先輩に勧められたから	9名
6. クラス指定又は必修だったから	1名
7. その他	11名
未 未記入	0名



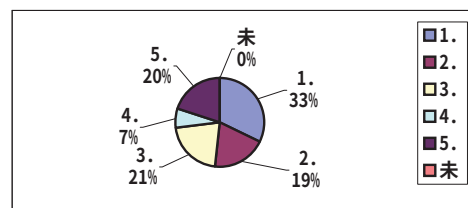
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	168名
2. 89%～70%	52名
3. 69%～50%	8名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名



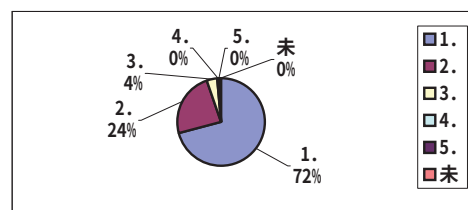
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	74名
2. よく勉強した	44名
3. 多少はした	49名
4. ほとんどしなかった	16名
5. まったくしなかった	46名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	162名
2. ある程度意欲的	55名
3. どちらともいえない	9名
4. あまり意欲的でない	1名
5. まったく意欲的でない	1名
未 未記入	1名



分野	科目
健康 運動科目	スポーツ実習 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	375	229	61.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	176名
4. やや思う	41名
3. どちらともいえない	10名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.70

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	160名
4. やや思う	56名
3. どちらともいえない	8名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.61

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	156名
4. やや思う	52名
3. どちらともいえない	16名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.55

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	171名
4. やや思う	48名
3. どちらともいえない	7名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.68

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	68名
4. やや思う	23名
3. どちらともいえない	27名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	103名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.17

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	98名
4. やや思う	30名
3. どちらともいえない	48名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	48名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.20

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	143名
4. やや思う	43名
3. どちらともいえない	27名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	4名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.38

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	156名
4. やや思う	47名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.53

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	182名
4. やや思う	39名
3. どちらともいえない	4名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	4名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.79

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	179名
4. やや思う	41名
3. どちらともいえない	8名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	1名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.75

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	157名
4. やや思う	50名
3. どちらともいえない	9名
2. あまりそう思わない	8名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	1名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.53

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	124名
4. やや思う	57名
3. どちらともいえない	30名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	1名

合計 229名

評価ポイント平均値 4.24

教育改善のための学生アンケート

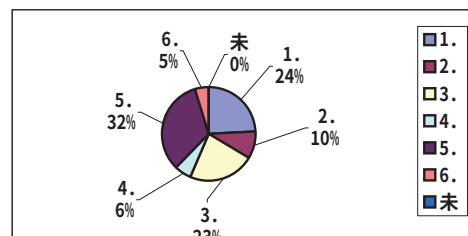
分野	科目
共通教育科目	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
共通教育科目 総合計	—	—	6210	3577	57.6%

I. あなた自身についてお答え下さい。

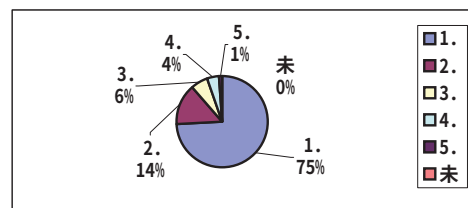
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	861名
2.教育学部 生涯教育)	342名
3.行政社会学部 昼間)	816名
4.行政社会学部 夜間)	204名
5.経済学部 昼間)	1182名
6.経済学部 夜間)	170名
未 未記入	2名



(2) 学年 (入学してからの年数)

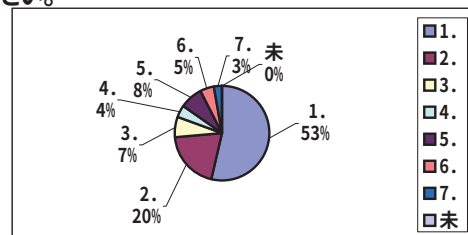
1. 1年	2657名
2. 2年	513名
3. 3年	220名
4. 4年	144名
5. 5年以上	41名
未 未記入	2名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

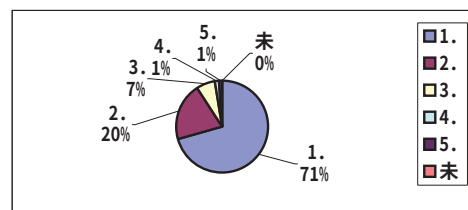
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	1921名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	708名
3. 単位がとり易そうだったから	252名
4. 受講し易い時間帯にあったから	150名
5. 友人や先輩に勧められたから	280名
6. クラス指定又は必修だったから	163名
7. その他	99名
未 未記入	4名



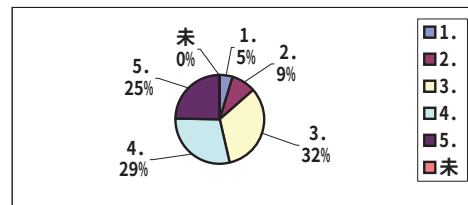
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	2521名
2. 89%～70%	726名
3. 69%～50%	240名
4. 49%～30%	51名
5. 29%以下	35名
未 未記入	4名



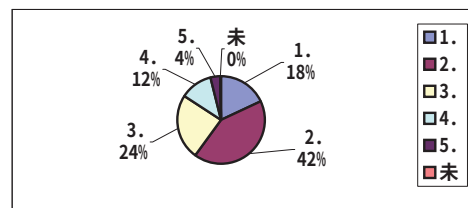
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	172名
2. よく勉強した	314名
3. 多少はした	1176名
4. ほとんどしなかった	1031名
5. まったくしなかった	877名
未 未記入	7名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	644名
2. ある程度意欲的	1503名
3. どちらともいえない	861名
4. あまり意欲的でない	430名
5. まったく意欲的でない	132名
未 未記入	7名



分野	科目
共通教育科目	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
共通教育科目 総合計	—	—	6210	3577	57.6%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1672名
4. ややそう思う	1294名
3. どちらともいえない	479名
2. あまりそう思わない	79名
1. まったくそう思わない	49名
未 未記入	4名

合計 3577名

評価ポイント平均値 4.25

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	1158名
4. ややそう思う	1269名
3. どちらともいえない	771名
2. あまりそう思わない	280名
1. まったくそう思わない	96名
未 未記入	3名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.87

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	1711名
4. ややそう思う	1223名
3. どちらともいえない	495名
2. あまりそう思わない	95名
1. まったくそう思わない	50名
未 未記入	3名

合計 3577名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	1199名
4. ややそう思う	993名
3. どちらともいえない	788名
2. あまりそう思わない	394名
1. まったくそう思わない	199名
未 未記入	4名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.73

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	892名
4. ややそう思う	902名
3. どちらともいえない	906名
2. あまりそう思わない	497名
1. まったくそう思わない	179名
未 未記入	201名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.54

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	920名
4. ややそう思う	1102名
3. どちらともいえない	1123名
2. あまりそう思わない	237名
1. まったくそう思わない	96名
未 未記入	99名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.72

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	1238名
4. ややそう思う	1276名
3. どちらともいえない	878名
2. あまりそう思わない	102名
1. まったくそう思わない	57名
未 未記入	26名

合計 3577名

評価ポイント平均値 4.00

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	701名
4. ややそう思う	1169名
3. どちらともいえない	1059名
2. あまりそう思わない	435名
1. まったくそう思わない	208名
未 未記入	5名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.48

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	1021名
4. ややそう思う	1320名
3. どちらともいえない	797名
2. あまりそう思わない	275名
1. まったくそう思わない	91名
未 未記入	73名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.83

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1408名
4. ややそう思う	1106名
3. どちらともいえない	712名
2. あまりそう思わない	243名
1. まったくそう思わない	86名
未 未記入	22名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.99

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	1494名
4. ややそう思う	1073名
3. どちらともいえない	627名
2. あまりそう思わない	263名
1. まったくそう思わない	97名
未 未記入	23名

合計 3577名

評価ポイント平均値 4.01

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	1331名
4. ややそう思う	1137名
3. どちらともいえない	787名
2. あまりそう思わない	228名
1. まったくそう思わない	69名
未 未記入	25名

合計 3577名

評価ポイント平均値 3.97

教育改善のための学生アンケート

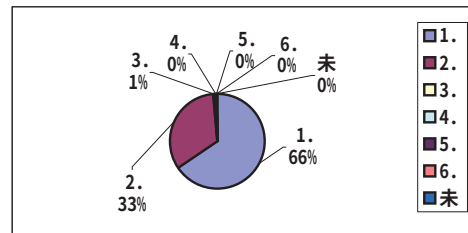
学部
教育学部 合計

	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	9593	5637	58.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

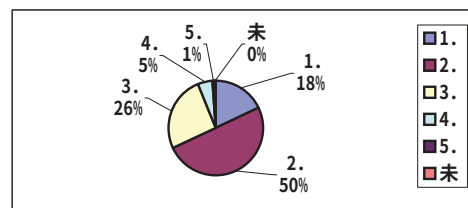
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	3695名
2. 教育学部 生涯教育)	1859名
3. 行政社会学部 昼間)	44名
4. 行政社会学部 夜間)	21名
5. 経済学部 昼間)	3名
6. 経済学部 夜間)	3名
未 未記入	12名



(2) 学年 (入学してからの年数)

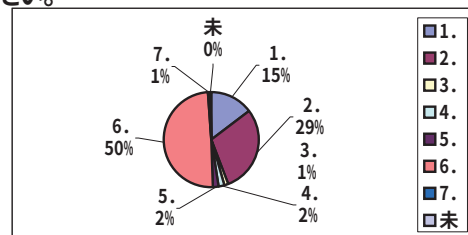
1. 1年	1010名
2. 2年	2824名
3. 3年	1452名
4. 4年	291名
5. 5年以上	46名
未 未記入	14名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

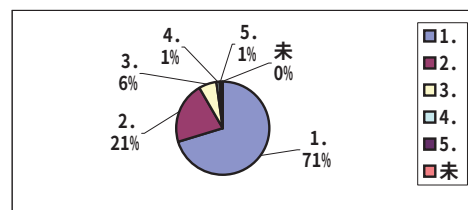
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	835名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1658名
3. 単位がとり易そうだったから	72名
4. 受講し易い時間帯にあったから	120名
5. 友人や先輩に勧められたから	100名
6. クラス指定又は必修だったから	2797名
7. その他	42名
未 未記入	13名



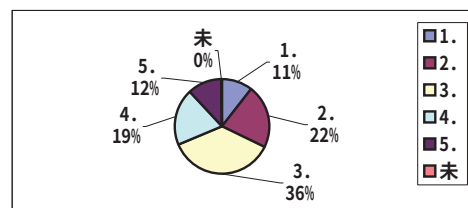
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	3966名
2. 89%～70%	1199名
3. 69%～50%	342名
4. 49%～30%	70名
5. 29%以下	48名
未 未記入	12名



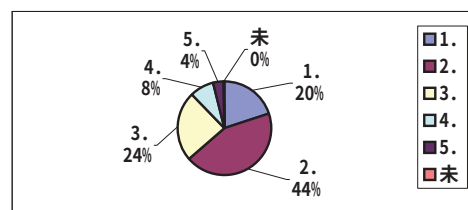
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	594名
2. よく勉強した	1216名
3. 多少はした	2053名
4. ほとんどしなかった	1097名
5. まったくしなかった	666名
未 未記入	11名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1125名
2. ある程度意欲的	2459名
3. どちらともいえない	1366名
4. あまり意欲的でない	462名
5. まったく意欲的でない	204名
未 未記入	21名



学部
教育学部 合計

	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	9593	5637	58.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	2453名
4. ややそう思う	2075名
3. どちらともいえない	854名
2. あまりそう思わない	186名
1. まったくそう思わない	64名
未 未記入	5名

合計 5637名

評価ポイント平均値 4.18

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	1892名
4. ややそう思う	1940名
3. どちらともいえない	1228名
2. あまりそう思わない	411名
1. まったくそう思わない	160名
未 未記入	6名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.89

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	2410名
4. ややそう思う	1945名
3. どちらともいえない	951名
2. あまりそう思わない	240名
1. まったくそう思わない	83名
未 未記入	8名

合計 5637名

評価ポイント平均値 4.13

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	1932名
4. ややそう思う	1665名
3. どちらともいえない	1249名
2. あまりそう思わない	574名
1. まったくそう思わない	211名
未 未記入	6名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.81

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	1371名
4. ややそう思う	1406名
3. どちらともいえない	1443名
2. あまりそう思わない	750名
1. まったくそう思わない	287名
未 未記入	380名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.54

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	1604名
4. ややそう思う	1810名
3. どちらともいえない	1591名
2. あまりそう思わない	358名
1. まったくそう思わない	152名
未 未記入	122名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.79

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	1807名
4. ややそう思う	1875名
3. どちらともいえない	1656名
2. あまりそう思わない	159名
1. まったくそう思わない	63名
未 未記入	77名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.94

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	1333名
4. ややそう思う	1981名
3. どちらともいえない	1553名
2. あまりそう思わない	506名
1. まったくそう思わない	254名
未 未記入	10名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.65

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	1651名
4. ややそう思う	2167名
3. どちらともいえない	1223名
2. あまりそう思わない	359名
1. まったくそう思わない	134名
未 未記入	103名

合計 5637名

評価ポイント平均値 3.87

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	2289名
4. ややそう思う	1823名
3. どちらともいえない	1093名
2. あまりそう思わない	304名
1. まったくそう思わない	81名
未 未記入	47名

合計 5637名

評価ポイント平均値 4.06

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	2466名
4. ややそう思う	1787名
3. どちらともいえない	965名
2. あまりそう思わない	273名
1. まったくそう思わない	99名
未 未記入	47名

合計 5637名

評価ポイント平均値 4.12

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	2519名
4. ややそう思う	1827名
3. どちらともいえない	943名
2. あまりそう思わない	215名
1. まったくそう思わない	84名
未 未記入	49名

合計 5637名

評価ポイント平均値 4.16

教育改善のための学生アンケート

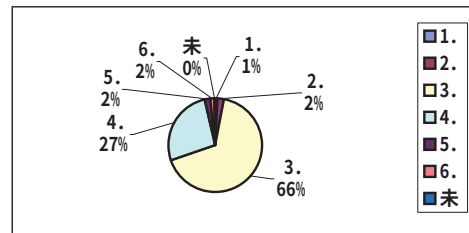
学部
行政社会学部 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3839	2133	55.6%

I. あなた自身についてお答え下さい。

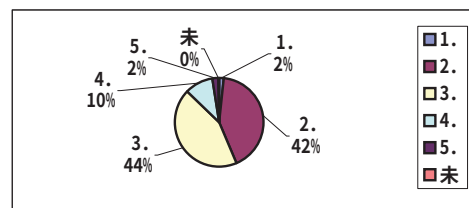
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	19名
2. 教育学部 生涯教育)	44名
3. 行政社会学部 昼間)	1422名
4. 行政社会学部 夜間)	569名
5. 経済学部 昼間)	43名
6. 経済学部 夜間)	33名
未 未記入	3名



(2) 学年 (入学してからの年数)

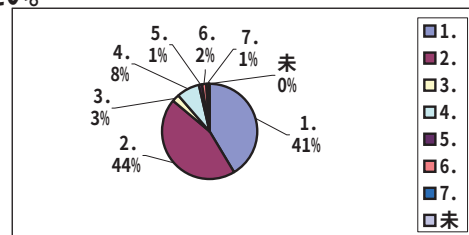
1. 1年	35名
2. 2年	897名
3. 3年	929名
4. 4年	216名
5. 5年以上	52名
未 未記入	4名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

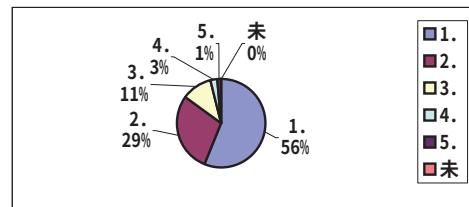
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	885名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	949名
3. 単位がとり易そうだったから	55名
4. 受講し易い時間帯にあったから	169名
5. 友人や先輩に勧められたから	21名
6. クラス指定又は必修だったから	32名
7. その他	18名
未 未記入	4名



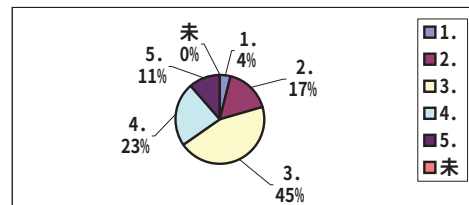
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1196名
2. 89%～70%	617名
3. 69%～50%	236名
4. 49%～30%	56名
5. 29%以下	26名
未 未記入	2名



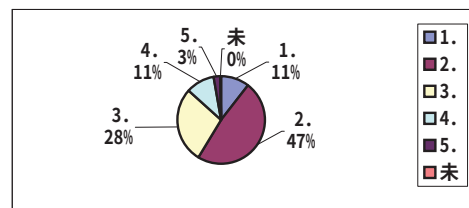
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	84名
2. よく勉強した	356名
3. 多少はした	952名
4. ほとんどしなかった	501名
5. まったくしなかった	238名
未 未記入	2名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	227名
2. ある程度意欲的	1025名
3. どちらともいえない	595名
4. あまり意欲的でない	226名
5. まったく意欲的でない	55名
未 未記入	5名



学部
行政社会学部 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	-	—	3839	2133	55.6%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	936名
4. やや思う	808名
3. どちらともいえない	302名
2. あまりそう思わない	62名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	3名

合計 2133名

評価ポイント平均値 4.21

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	685名
4. やや思う	777名
3. どちらともいえない	488名
2. あまりそう思わない	136名
1. まったくそう思わない	45名
未 未記入	2名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.90

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	892名
4. やや思う	779名
3. どちらともいえない	364名
2. あまりそう思わない	72名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	2名

合計 2133名

評価ポイント平均値 4.15

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	615名
4. やや思う	656名
3. どちらともいえない	494名
2. あまりそう思わない	278名
1. まったくそう思わない	87名
未 未記入	3名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.67

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	411名
4. やや思う	488名
3. どちらともいえない	668名
2. あまりそう思わない	341名
1. まったくそう思わない	110名
未 未記入	115名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.37

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	574名
4. やや思う	761名
3. どちらともいえない	614名
2. あまりそう思わない	139名
1. まったくそう思わない	40名
未 未記入	5名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.79

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	624名
4. やや思う	816名
3. どちらともいえない	577名
2. あまりそう思わない	83名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	11名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.91

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	307名
4. やや思う	733名
3. どちらともいえない	729名
2. あまりそう思わない	276名
1. まったくそう思わない	86名
未 未記入	2名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.42

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	491名
4. やや思う	892名
3. どちらともいえない	534名
2. あまりそう思わない	142名
1. まったくそう思わない	44名
未 未記入	30名

合計 2133名

評価ポイント平均値 3.78

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	772名
4. やや思う	864名
3. どちらともいえない	357名
2. あまりそう思わない	95名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	20名

合計 2133名

評価ポイント平均値 4.07

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	817名
4. やや思う	757名
3. どちらともいえない	361名
2. あまりそう思わない	138名
1. まったくそう思わない	40名
未 未記入	20名

合計 2133名

評価ポイント平均値 4.03

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	782名
4. やや思う	771名
3. どちらともいえない	410名
2. あまりそう思わない	109名
1. まったくそう思わない	41名
未 未記入	20名

合計 2133名

評価ポイント平均値 4.01

教育改善のための学生アンケート

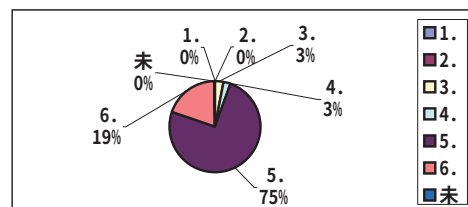
学部
経済学部 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	6150	3051	49.6%

I. あなた自身についてお答え下さい。

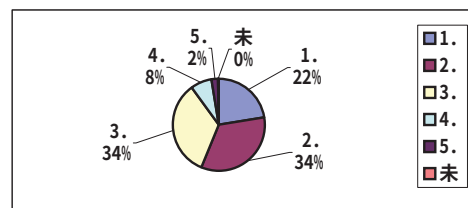
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	1名
2.教育学部 生涯教育)	3名
3.行政社会学部 昼間)	87名
4.行政社会学部 夜間)	82名
5.経済学部 昼間)	2276名
6.経済学部 夜間)	591名
未 未記入	11名



(2) 学年 (入学してからの年数)

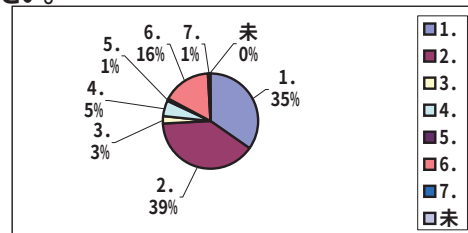
1. 1年	685名
2. 2年	1025名
3. 3年	1034名
4. 4年	234名
5. 5年以上	61名
未 未記入	12名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

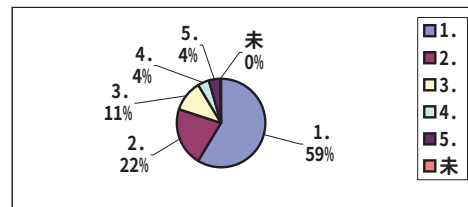
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	1062名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1203名
3. 単位がとり易そうだったから	78名
4. 受講し易い時間帯にあったから	154名
5. 友人や先輩に勧められたから	27名
6. クラス指定又は必修だったから	499名
7. その他	19名
未 未記入	9名



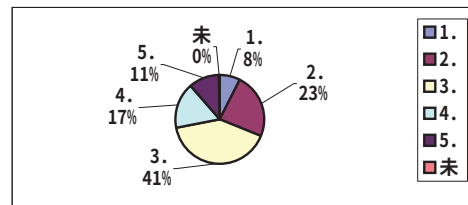
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1784名
2. 89%～70%	660名
3. 69%～50%	344名
4. 49%～30%	127名
5. 29%以下	127名
未 未記入	9名



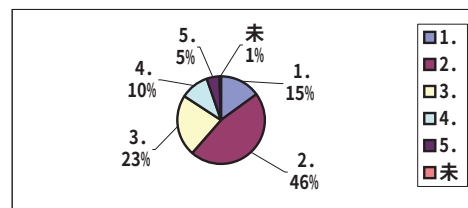
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	232名
2. よく勉強した	713名
3. 多少はした	1251名
4. ほとんどしなかった	511名
5. まったくしなかった	333名
未 未記入	11名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	461名
2. ある程度意欲的	1411名
3. どちらともいえない	698名
4. あまり意欲的でない	319名
5. まったく意欲的でない	146名
未 未記入	16名



学部
経済学部 合計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	6150	3051	49.6%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1349名
4. ややそう思う	1066名
3. どちらともいえない	451名
2. あまりそう思わない	119名
1. まったくそう思わない	63名
未 未記入	3名

合計 3051名

評価ポイント平均値 4.15

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	1056名
4. ややそう思う	1037名
3. どちらともいえない	647名
2. あまりそう思わない	215名
1. まったくそう思わない	93名
未 未記入	3名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.90

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	1513名
4. ややそう思う	912名
3. どちらともいえない	464名
2. あまりそう思わない	117名
1. まったくそう思わない	41名
未 未記入	4名

合計 3051名

評価ポイント平均値 4.23

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	1047名
4. ややそう思う	822名
3. どちらともいえない	631名
2. あまりそう思わない	367名
1. まったくそう思わない	180名
未 未記入	4名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.72

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	775名
4. ややそう思う	789名
3. どちらともいえない	781名
2. あまりそう思わない	435名
1. まったくそう思わない	192名
未 未記入	79名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.51

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	978名
4. ややそう思う	960名
3. どちらともいえない	787名
2. あまりそう思わない	217名
1. まったくそう思わない	97名
未 未記入	12名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.82

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	1075名
4. ややそう思う	1017名
3. どちらともいえない	791名
2. あまりそう思わない	99名
1. まったくそう思わない	51名
未 未記入	18名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.98

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	572名
4. ややそう思う	1013名
3. どちらともいえない	904名
2. あまりそう思わない	407名
1. まったくそう思わない	150名
未 未記入	5名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.48

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	844名
4. ややそう思う	1135名
3. どちらともいえない	680名
2. あまりそう思わない	231名
1. まったくそう思わない	84名
未 未記入	77名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.82

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1173名
4. ややそう思う	1074名
3. どちらともいえない	562名
2. あまりそう思わない	158名
1. まったくそう思わない	58名
未 未記入	26名

合計 3051名

評価ポイント平均値 4.04

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	1276名
4. ややそう思う	915名
3. どちらともいえない	539名
2. あまりそう思わない	202名
1. まったくそう思わない	94名
未 未記入	25名

合計 3051名

評価ポイント平均値 4.02

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	1159名
4. ややそう思う	945名
3. どちらともいえない	645名
2. あまりそう思わない	196名
1. まったくそう思わない	78名
未 未記入	28名

合計 3051名

評価ポイント平均値 3.96

教育改善のための学生アンケート

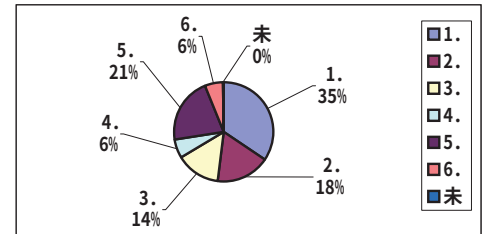
学部
専門教育科目

	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
専門教育科目 総合計	—	—	19582	10821	55.3%

I. あなた自身についてお答え下さい。

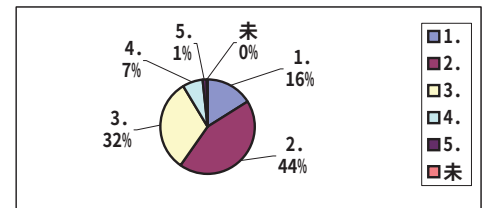
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	3715名
2.教育学部 生涯教育)	1906名
3.行政社会学部 昼間)	1553名
4.行政社会学部 夜間)	672名
5.経済学部 昼間)	2322名
6.経済学部 夜間)	627名
未 未記入	26名



(2) 学年 (入学してからの年数)

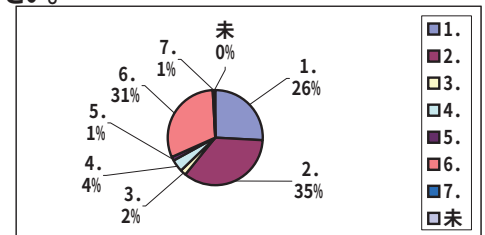
1. 1年	1730名
2. 2年	4746名
3. 3年	3415名
4. 4年	741名
5. 5年以上	159名
未 未記入	30名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

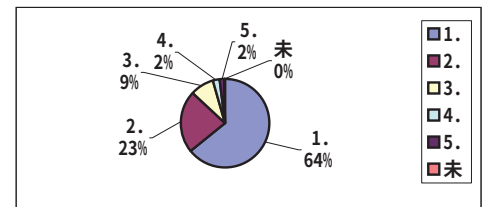
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	2782名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	3810名
3. 単位がとり易そうだったから	205名
4. 受講し易い時間帯にあったから	443名
5. 友人や先輩に勧められたから	148名
6. クラス指定又は必修だったから	3328名
7. その他	79名
未 未記入	26名



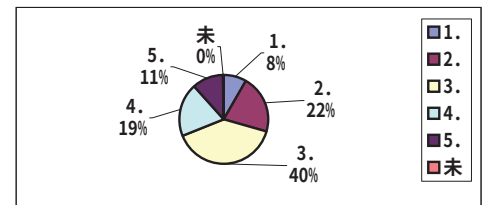
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	6946名
2. 89%～70%	2476名
3. 69%～50%	922名
4. 49%～30%	253名
5. 29%以下	201名
未 未記入	23名



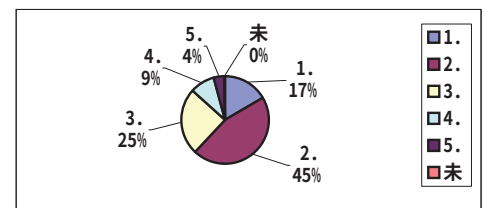
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	910名
2. よく勉強した	2285名
3. 多少はした	4256名
4. ほとんどしなかった	2109名
5. まったくしなかった	1237名
未 未記入	24名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1813名
2. ある程度意欲的	4895名
3. どちらともいえない	2659名
4. あまり意欲的でない	1007名
5. まったく意欲的でない	405名
未 未記入	42名



学部
専門教育科目

	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
専門教育科目 総合計	—	—	19582	10821	55.3%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	4738名
4. ややそう思う	3949名
3. どちらともいえない	1607名
2. あまりそう思わない	367名
1. まったくそう思わない	149名
未 未記入	11名

合計 10821名

評価ポイント平均値 4.18

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	3633名
4. ややそう思う	3754名
3. どちらともいえない	2363名
2. あまりそう思わない	762名
1. まったくそう思わない	298名
未 未記入	11名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.89

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	4815名
4. ややそう思う	3636名
3. どちらともいえない	1779名
2. あまりそう思わない	429名
1. まったくそう思わない	148名
未 未記入	14名

合計 10821名

評価ポイント平均値 4.16

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	3594名
4. ややそう思う	3143名
3. どちらともいえない	2374名
2. あまりそう思わない	1219名
1. まったくそう思わない	478名
未 未記入	13名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.75

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	2557名
4. ややそう思う	2683名
3. どちらともいえない	2892名
2. あまりそう思わない	1526名
1. まったくそう思わない	589名
未 未記入	574名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.50

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	3156名
4. ややそう思う	3531名
3. どちらともいえない	2992名
2. あまりそう思わない	714名
1. まったくそう思わない	289名
未 未記入	139名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.80

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	3506名
4. ややそう思う	3708名
3. どちらともいえない	3024名
2. あまりそう思わない	341名
1. まったくそう思わない	136名
未 未記入	106名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.94

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	2212名
4. ややそう思う	3727名
3. どちらともいえない	3186名
2. あまりそう思わない	1189名
1. まったくそう思わない	490名
未 未記入	17名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.55

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	2986名
4. ややそう思う	4194名
3. どちらともいえない	2437名
2. あまりそう思わない	732名
1. まったくそう思わない	262名
未 未記入	210名

合計 10821名

評価ポイント平均値 3.84

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	4234名
4. ややそう思う	3761名
3. どちらともいえない	2012名
2. あまりそう思わない	557名
1. まったくそう思わない	164名
未 未記入	93名

合計 10821名

評価ポイント平均値 4.06

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	4559名
4. ややそう思う	3459名
3. どちらともいえない	1865名
2. あまりそう思わない	613名
1. まったくそう思わない	233名
未 未記入	92名

合計 10821名

評価ポイント平均値 4.07

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	4460名
4. ややそう思う	3543名
3. どちらともいえない	1998名
2. あまりそう思わない	520名
1. まったくそう思わない	203名
未 未記入	97名

合計 10821名

評価ポイント平均値 4.08



「教育改善のための学生アンケート」集計結果

平成17年1月実施
教育改善のための
学生アンケート
通年・後期開講科目実施状況

平成16年度後期 教育改善のための学生アンケート実施状況 分類毎)

共通教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数（受講者1桁科目を含む）			人数（受講者1桁科目を除く）			備考		
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁_受講者	1桁_回答者	
教養科目	人間と文化	111	12	12	7	58.3%	1,881	590	31.4%	1,881	590	31.4%	無し	無し	
	社会と歴史	121	8	8	8	100.0%	1,240	650	52.4%	1,240	650	52.4%	無し	無し	
	自然と技術	数学・自然	131	10	10	8	80.0%	1,259	529	42.0%	1,259	529	42.0%	無し	無し
		基礎理学	132	3	3	3	100.0%	168	98	58.3%	168	98	58.3%	無し	無し
		情報Ⅰ	133	3	3	3	100.0%	255	158	62.0%	255	158	62.0%	無し	無し
		その他	134	-	-	-	0.0%	-	-	0.0%	-	-	0.0%	-	-
	小計						1,682	785	46.7%	1,682	785	46.7%	無し	無し	
総合科目		211	3	3	2	66.7%	233	103	44.2%	233	103	44.2%	無し	無し	
健康・運動科目	健康・運動科学実習	311	23	23	23	100.0%	1,073	941	87.7%	1,073	941	87.7%	無し	無し	
	スポーツ実習	321	6	6	6	100.0%	224	149	66.5%	224	149	66.5%	無し	無し	
英語	英語Ⅰ	411	52	52	47	90.4%	2,197	1,699	77.3%	2,190	1,694	77.4%	1科目7名	1科目5名	
	英語Ⅱ	421	23	23	22	95.7%	1,089	735	67.5%	1,089	735	67.5%	無し	無し	
	英語Ⅲ	431	3	3	3	100.0%	36	22	61.1%	32	19	59.4%	1科目4名	1科目3名	
	特設英語	441	4	4	3	75.0%	36	29	80.6%	32	25	78.1%	1科目4名	1科目4名	
非英外国語	ドイツ語	初級	511	16	16	12	75.0%	812	533	65.6%	812	533	65.6%	無し	無し
		中級	512	5	5	5	100.0%	175	122	69.7%	175	122	69.7%	無し	無し
		上級	513	1	1	0	0.0%	14	0	0.0%	14	0	0.0%	無し	無し
		外国語・外国文化	514	1	1	1	100.0%	12	12	100.0%	12	12	0.0%	無し	無し
	フランス語	初級	521	11	11	11	100.0%	365	266	72.9%	365	266	72.9%	無し	無し
		中級	522	4	4	4	100.0%	72	59	81.9%	65	53	81.5%	1科目7名	1科目6名
		上級	523	1	1	1	100.0%	12	6	50.0%	12	6	0.0%	無し	無し
		外国語・外国文化	524	1	1	1	100.0%	9	7	77.8%	0	0	0.0%	1科目9名	1科目7名
	中国語	初級	531	16	16	16	100.0%	757	621	82.0%	757	621	82.0%	無し	無し
		中級	532	5	5	5	100.0%	155	122	78.7%	155	122	78.7%	無し	無し
		上級	533	1	1	0	0.0%	7	5	71.4%	0	0	0.0%	1科目7名	1科目5名
		外国語・外国文化	534	1	1	1	100.0%	14	11	78.6%	14	11	78.6%	無し	無し
	ロシア語	初級	541	4	4	4	100.0%	138	105	76.1%	138	105	76.1%	無し	無し
		中級	542	2	2	2	100.0%	27	20	74.1%	27	20	74.1%	無し	無し
		上級	543	1	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	無し	無し
	スペイン語	初級	551	2	2	2	100.0%	116	79	68.1%	116	79	68.1%	無し	無し
		中級	552	2	2	2	100.0%	13	11	84.6%	0	0	0.0%	2科目13名	2科目11名
		上級	553	1	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	無し	無し
	日本語	日本語Ⅰ	561	1	1	1	100.0%	32	29	90.6%	32	29	90.6%	無し	無し
		日本語Ⅱ	562	1	1	1	100.0%	23	22	95.7%	23	22	95.7%	無し	無し
		日本事情Ⅰ	563	1	1	1	100.0%	40	34	85.0%	40	34	85.0%	無し	無し
計			228	228	205	89.9%	12,486	7,767	62.2%	12,433	7,726	62.1%	8科目51名	8科目41名	

の範囲の科目群で集計した。ただし、日本語は担当者が特定されるため集計しない。

3学部専門教育科目

分野	科目	分類コード	科目数	件数			人数(受講者1桁科目を含む)			人数(受講者1桁科目を除く)			備考	
				対象数	実施数	実施率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	受講者数 (延べ数)	回答者数 (延べ数)	回答率	1桁_受講者	1桁_回答者
教育学部専門科目			231	231	187	81.0%	8,752	5,317	60.8%	8,752	5,317	60.8%	無し	無し
行政社会学部専門科目			39	38	30	78.9%	4,577	1,765	38.6%	4,573	1,761	38.5%	2科目4名	2科目4名
経済学部専門科目			40	40	35	87.5%	4,866	2,285	47.0%	4,857	2,277	46.9%	2科目9名	2科目8名
計			310	309	252	81.6%	18,195	9,367	51.5%	18,182	9,355	51.5%	4科目13名	4科目12名

の範囲の科目群で集計した。

平成17年1月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期)共通教育科目)

科目群毎の学生アンケート実施率		人間と文化	社会と歴史	自然と技術	総合科目	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	12	8	16	3	29	82	23	17	23	7	5		225
	学生アンケート実施科目数(b)	7	8	14	2	29	75	18	17	22	6	4		202
	学生アンケート実施率(b/a %)	58.3%	100.0%	87.5%	66.7%	100.0%	91.5%	78.3%	100.0%	95.7%	85.7%	80.0%		89.8%
人数	学生アンケート受講者数(c)	1,881	1,240	1,682	233	1,297	3,343	1,013	442	926	165	116		12,338
	学生アンケート回答者数(d)	590	650	785	103	1,090	2,473	667	325	754	125	79		7,641
	学生アンケート回答率(d/c %)	31.4%	52.4%	46.7%	44.2%	84.0%	74.0%	65.8%	73.5%	81.4%	75.8%	68.1%		61.9%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 科目群毎)

	番号	設 問	人間と文化	社会と歴史	自然と技術	総合科目	健康・運動科目	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	ロシア語	スペイン語	日本語	合計
授業及び担当教官	(7)	授業への熱意が感じられた	4.24	4.32	4.03	4.76	4.55	4.16	4.35	4.04	4.10	4.78	3.92		4.24
	(8)	学生への対応は適切であった	3.99	3.96	3.60	4.50	4.32	4.04	4.10	4.00	4.01	4.30	3.61		4.03
	(9)	授業の準備がしっかりなされていた	4.32	4.16	4.01	4.58	4.30	4.10	4.38	4.25	4.14	4.54	3.97		4.19
	(10)	話は聞き取り易かった	4.08	3.80	3.40	4.22	4.37	3.91	3.90	3.97	4.02	4.38	3.66		3.95
	(11)	板書・HPなどは見やすかった	3.75	3.57	3.19	4.21	4.03	3.77	3.87	3.98	3.76	4.08	3.41		3.73
	(12)	教科書・参考書・資料などは適切であった	3.89	3.88	3.47	4.19	3.91	3.96	4.10	4.15	4.07	4.37	3.56		3.93
	(13)	シラバスに沿って授業が行われた	4.10	3.86	3.89	4.40	4.27	4.05	4.10	4.13	4.03	4.22	3.85		4.06
	(14)	授業の内容はよく理解できた	3.81	3.57	3.15	4.24	4.36	3.87	3.81	3.81	3.87	3.94	3.27		3.83
総合	IV	総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.08	3.82	3.43	4.34	4.39	3.97	4.12	4.08	4.09	4.19	3.59		4.00
教育環境	(16)	授業の場では学習する雰囲気は保たれたか	3.96	4.03	4.12	4.46	4.41	4.29	4.37	4.27	4.41	4.65	4.12		4.26
	(17)	授業の場の大きさや設備等は適切であったか	4.32	4.18	4.15	4.46	4.35	4.37	4.33	4.40	4.37	4.43	3.97		4.32
	(18)	受講者数は適切であったか	4.22	4.08	4.14	4.41	4.32	4.40	4.31	4.38	4.35	4.32	3.78		4.30

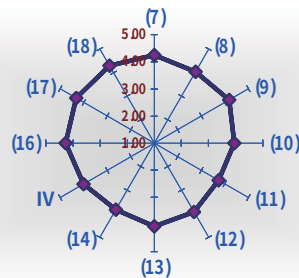
※ 評価ポイント

- 5 強く思う (非常に良い)
- 4 やや思う (良い)
- 3 どちらとも言えない (普通)
- 2 あまりそう思わない (あまり良くない)
- 1 まったくそう思わない (良くない)

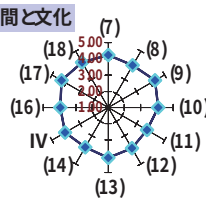
※ 「日本語」はクラスが特定されるので公表から外す。

※ 受講者数が一桁の授業は集計から外す。

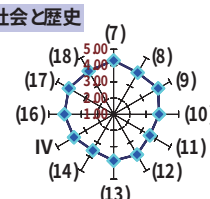
合計



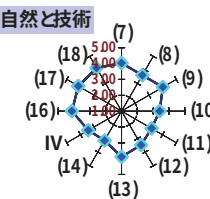
人間と文化



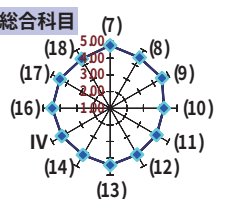
社会と歴史



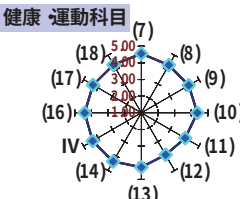
自然と技術



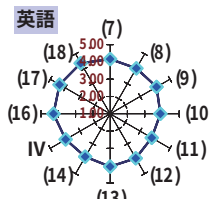
総合科目



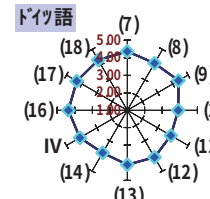
健康・運動科目



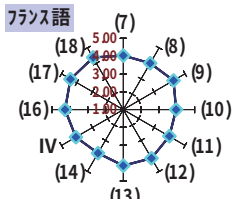
英語



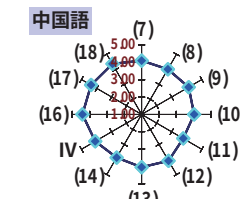
ドイツ語



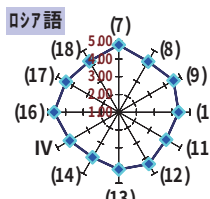
フランス語



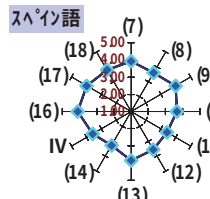
中国語



ロシア語



スペイン語

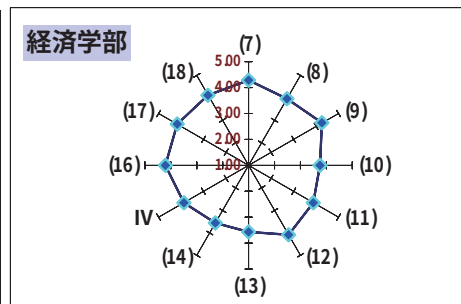
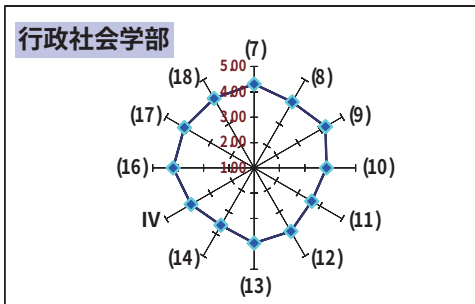
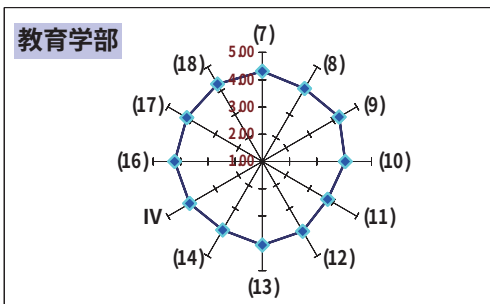
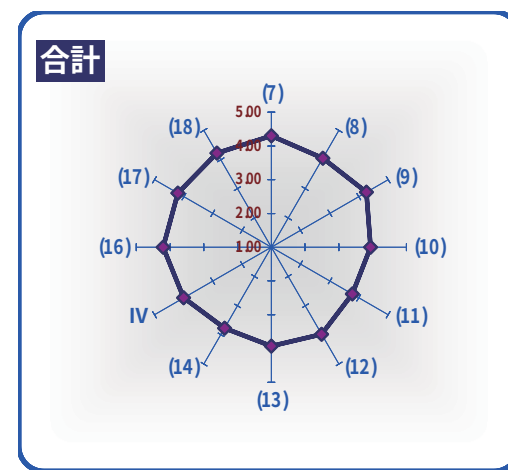


平成17年1月実施分 教育改善のための学生アンケート実施状況 (後期) 専門教育科目)

学部毎の学生アンケート実施率		教育学部	行政社会学部	経済学部	合計
件数	学生アンケート対象科目数(a)	231	38	40	309
	学生アンケート実施科目数(b)	187	30	35	252
	学生アンケート実施率(b/a :%)	81.0%	78.9%	87.5%	81.6%
人数	学生アンケート受講者数(c)	8,752	4,573	4,857	18,182
	学生アンケート回答者数(d)	5,317	1,761	2,277	9,355
	学生アンケート回答率(d/c :%)	60.8%	38.5%	46.9%	51.5%

教育改善のための学生アンケートにおける授業評価項目別 評価ポイント平均値 学部毎)

番号	設 問	教育学部	行政社会学部	経済学部	合計
授業及び担当教官	(7) 授業への熱意が感じられた	4.31	4.30	4.29	4.30
	(8) 学生への対応は適切であった	4.09	4.00	3.96	4.04
	(9) 授業の準備がしっかりなされていた	4.25	4.25	4.27	4.25
	(10) 聞き取り易い話し方だった	4.04	3.85	3.75	3.93
	(11) 板書・OHPなどは見やすかった	3.77	3.63	3.88	3.77
	(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった	3.96	3.89	4.09	3.98
	(13) シラバスに沿って授業が行われた	4.07	3.97	3.57	3.93
	(14) 授業の内容はよく理解できた	3.90	3.61	3.57	3.77
総合	IV 総合的にみてこの授業に満足しましたか	4.07	3.87	3.88	3.99
教育環境	(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた	4.22	4.19	4.20	4.21
	(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった	4.20	4.18	4.18	4.19
	(18) 受講者数は適切であった	4.28	4.16	4.12	4.22



※評価ポイント
 5 強く思う
 4 やや思う
 3 どちらともいえない
 2 あまり思わない
 1 まったく思わない

教育改善のための学生アンケート

平成17年1月実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 教育学部（学校教育教員養成課程） | 2. 教育学部（生涯教育課程） |
| 3. 行政社会学部（昼間主コース） | 4. 行政社会学部（夜間主コース） |
| 5. 経済学部（昼間主コース） | 6. 経済学部（夜間主コース） |

(1)	
-----	--

(2) 学年（入学してからの年数）

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 | 5. 5年以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2)	
-----	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定又は必修だったから |
| 7. その他 | |

(3)	
-----	--

()

(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 90%以上 | 2. 89～70% | 3. 69～50% | 4. 49～30% | 5. 29%以下 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(4)	
-----	--

(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 非常によく勉強した | 2. よく勉強した | 3. 多少はした |
| 4. ほとんどしなかった | 5. まったくしなかった | |

(5)	
-----	--

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に意欲的 | 2. ある程度意欲的 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり意欲的でない | 5. まったく意欲的でない | |

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。】

評 価 ポ イ ン ト	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。（担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。）

(7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

(8) 学生への対応は適切であった。

(8)	
-----	--

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

(10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。）

(11)	
------	--

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(12)	
------	--

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

(13)	
------	--

(14) 授業の内容はよく理解できた。

(14)	
------	--

評 価 ポイント	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

(15) その他担当教員の授業方法について思ったことを自由にご書いてください。

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

(16)	
------	--

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(17)	
------	--

(18) 受講者数は適切であった。

(18)	
------	--

(19) その他教育環境について感じたことを自由にご書いてください。

VI. その他この授業の感想を自由にご書いてください。

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生みなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

①各科目ごとの集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。

②各科目をいくつかのグループに分類し、グループ単位の集計結果を報告書等において公表すること
にしています。また、その内容は学生みなさんにも掲示等でお知らせします。

教育改善のための学生アンケート

平成17年1月実施
福島大学FDプロジェクト

- 該当する番号を□に記入してください。
- 自由記載欄には思っていることを率直に述べてください。

I. あなた自身についてお答え下さい。

(1) 学部

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 教育学部（学校教育教員養成課程） | 2. 教育学部（生涯教育課程） |
| 3. 行政社会学部（昼間主コース） | 4. 行政社会学部（夜間主コース） |
| 5. 経済学部（昼間主コース） | 6. 経済学部（夜間主コース） |

(1)	
-----	--

(2) 学年（入学してからの年数）

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 | 5. 5年以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

(2)	
-----	--

II. この授業についてのあなた自身の取り組みについておたずねします。

(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 勉学面で関心があったから | 2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから |
| 3. 単位がとり易そうだったから | 4. 受講し易い時間帯にあったから |
| 5. 友人や先輩に勧められたから | 6. クラス指定又は必修だったから |
| 7. その他 | |

(3)	
-----	--

()

(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 90%以上 | 2. 89～70% | 3. 69～50% | 4. 49～30% | 5. 29%以下 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

(4)	
-----	--

(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 非常によく勉強した | 2. よく勉強した | 3. 多少はした |
| 4. ほとんどしなかった | 5. まったくしなかった | |

(5)	
-----	--

(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 非常に意欲的 | 2. ある程度意欲的 | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり意欲的でない | 5. まったく意欲的でない | |

(6)	
-----	--

【以下の各設問については、次の区分により評価をし、該当する評価ポイント（数字）を□に記入してください。】

評価ポイント	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

III. この授業及び担当教員に関して、次の項目について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。（担当教員が複数の場合は総合的に判断してお答えください。）

(7) 授業への熱意が感じられた。

(7)	
-----	--

(8) 学生への対応は適切であった。

(8)	
-----	--

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

(9)	
-----	--

(10) 聞き取り易い話し方だった。

(10)	
------	--

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。（使用していない授業の場合は空欄にしてください。）

(11)	
------	--

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

(12)	
------	--

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

(13)	
------	--

(14) 授業の内容はよく理解できた。

(14)	
------	--

評 価 ポイント	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
	5	4	3	2	1

(15) その他担当教員の授業方法について思ったことを自由にご書いてください。

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

IV.	
-----	--

V. 教育環境について評価をし、評価ポイント5～1のいずれかの数字でお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

(16)	
------	--

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

(17)	
------	--

(18) 受講者数は適切であった。

(18)	
------	--

(19) その他教育環境について感じたことを自由にご書いてください。

VI. その他この授業の感想を自由にご書いてください。

◆このアンケートは、本学の教育改善のため、学生のみなさんにご協力をいただいて実施するものです。

◆このアンケートの集計結果の取り扱いについては、次のとおりです。

①各科目ごとの集計結果は、それぞれの授業担当教員にフィードバックされます。

②各科目ごとの集計結果を各学部ごとに再集計し、報告書等において公表することとしています。また、その内容は学生のみなさんにも掲示等でお知らせします。

教育改善のための学生アンケート

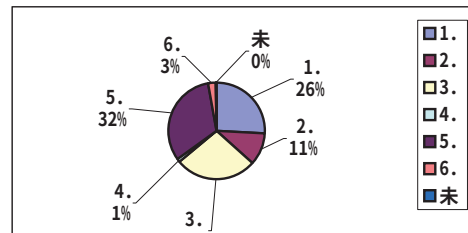
分野	科目
—	人間と文化 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1,881	590	31.4%

I. あなた自身についてお答え下さい。

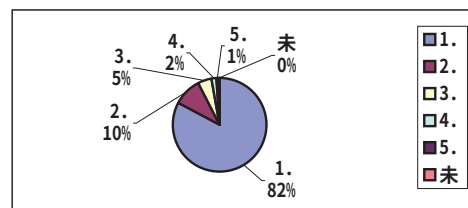
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	152名
2.教育学部 生涯教育)	65名
3.行政社会学部 昼間)	160名
4.行政社会学部 夜間)	6名
5.経済学部 昼間)	191名
6.経済学部 夜間)	15名
未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

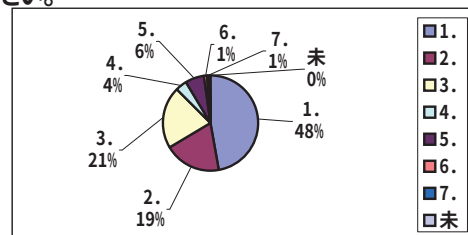
1. 1年	489名
2. 2年	57名
3. 3年	27名
4. 4年	11名
5. 5年以上	5名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

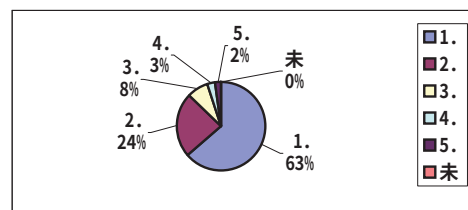
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	279名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	112名
3. 単位がとり易そうだったから	126名
4. 受講し易い時間帯にあったから	23名
5. 友人や先輩に勧められたから	37名
6. クラス指定又は必修だったから	6名
7. その他	6名
未 未記入	1名



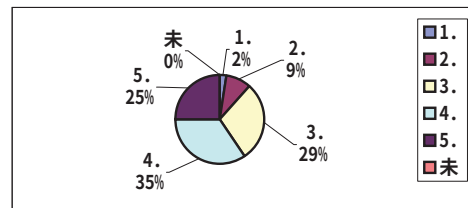
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	375名
2. 89%～70%	139名
3. 69%～50%	46名
4. 49%～30%	17名
5. 29%以下	13名
未 未記入	0名



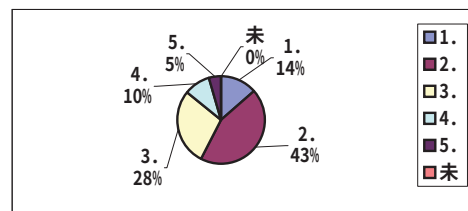
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	14名
2. よく勉強した	55名
3. 多少はした	170名
4. ほとんどしなかった	204名
5. まったくしなかった	147名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	80名
2. ある程度意欲的	259名
3. どちらともいえない	167名
4. あまり意欲的でない	57名
5. まったく意欲的でない	27名
未 未記入	0名



分野	科目
—	人間と文化 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1881	590	31.4%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	253名
4. ややそう思う	244名
3. どちらともいえない	78名
2. あまりそう思わない	10名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	0名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.24

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	216名
4. ややそう思う	208名
3. どちらともいえない	123名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	0名

合計 590名

評価ポイント平均値 3.99

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	301名
4. ややそう思う	196名
3. どちらともいえない	78名
2. あまりそう思わない	12名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.32

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	254名
4. ややそう思う	177名
3. どちらともいえない	117名
2. あまりそう思わない	34名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.08

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	197名
4. ややそう思う	156名
3. どちらともいえない	143名
2. あまりそう思わない	66名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	6名

合計 590名

評価ポイント平均値 3.75

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	188名
4. ややそう思う	184名
3. どちらともいえない	155名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	21名

合計 590名

評価ポイント平均値 3.89

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	225名
4. ややそう思う	211名
3. どちらともいえない	141名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	2名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.10

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	147名
4. ややそう思う	243名
3. どちらともいえない	155名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	0名

合計 590名

評価ポイント平均値 3.81

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	191名
4. ややそう思う	265名
3. どちらともいえない	100名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	13名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.08

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	235名
4. ややそう思う	168名
3. どちらともいえない	124名
2. あまりそう思わない	42名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	5名

合計 590名

評価ポイント平均値 3.96

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	304名
4. ややそう思う	186名
3. どちらともいえない	81名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	5名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.32

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	275名
4. ややそう思う	190名
3. どちらともいえない	99名
2. あまりそう思わない	15名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	5名

合計 590名

評価ポイント平均値 4.22

教育改善のための学生アンケート

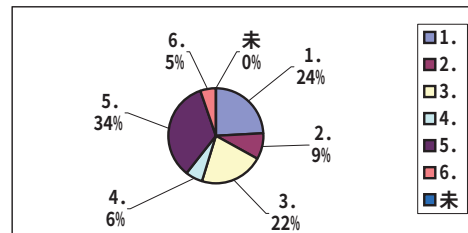
分野	科目
—	社会と歴史 集計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1,240	650	52.4%

I. あなた自身についてお答え下さい。

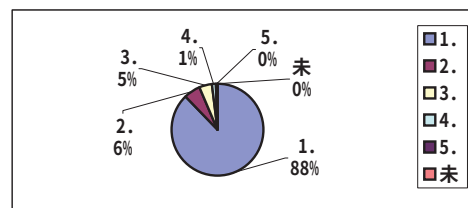
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	157名
2.教育学部 生涯教育)	58名
3.行政社会学部 昼間)	141名
4.行政社会学部 夜間)	37名
5.経済学部 昼間)	222名
6.経済学部 夜間)	35名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

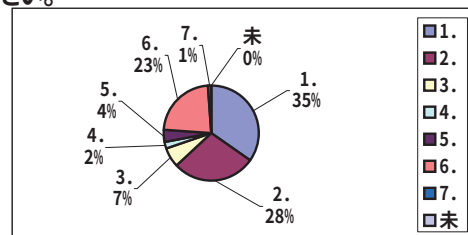
1. 1年	571名
2. 2年	37名
3. 3年	30名
4. 4年	9名
5. 5年以上	3名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

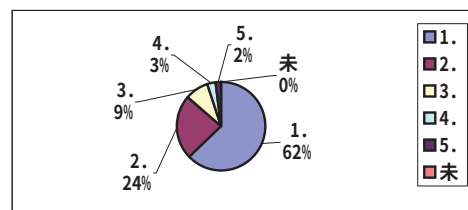
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	226名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	183名
3. 単位がとり易そうだったから	45名
4. 受講し易い時間帯にあったから	13名
5. 友人や先輩に勧められたから	28名
6. クラス指定又は必修だったから	147名
7. その他	8名
未 未記入	0名



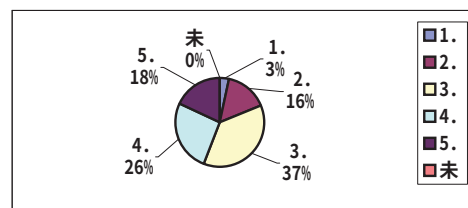
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	408名
2. 89%～70%	153名
3. 69%～50%	57名
4. 49%～30%	19名
5. 29%以下	13名
未 未記入	0名



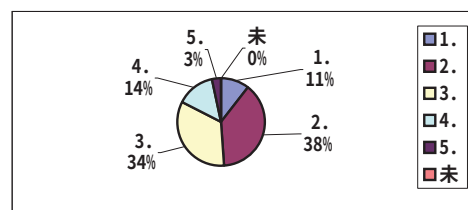
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	21名
2. よく勉強した	102名
3. 多少はした	240名
4. ほとんどしなかった	169名
5. まったくしなかった	118名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	69名
2. ある程度意欲的	249名
3. どちらともいえない	218名
4. あまり意欲的でない	93名
5. まったく意欲的でない	21名
未 未記入	0名



分野	科目
—	社会と歴史 集計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1,240	650	52.4%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	331名
4. ややそう思う	225名
3. どちらともいえない	74名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	0名

合計 650名

評価ポイント平均値 4.32

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	241名
4. ややそう思う	218名
3. どちらともいえない	133名
2. あまりそう思わない	41名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	0名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	297名
4. ややそう思う	217名
3. どちらともいえない	101名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	19名
未 未記入	0名

合計 650名

評価ポイント平均値 4.16

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	256名
4. ややそう思う	168名
3. どちらともいえない	103名
2. あまりそう思わない	85名
1. まったくそう思わない	38名
未 未記入	0名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.80

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	158名
4. ややそう思う	167名
3. どちらともいえない	152名
2. あまりそう思わない	71名
1. まったくそう思わない	38名
未 未記入	64名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.57

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	208名
4. ややそう思う	222名
3. どちらともいえない	157名
2. あまりそう思わない	43名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	5名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.88

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	213名
4. ややそう思う	200名
3. どちらともいえない	184名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	3名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.86

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	137名
4. ややそう思う	222名
3. どちらともいえない	186名
2. あまりそう思わない	81名
1. まったくそう思わない	23名
未 未記入	1名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.57

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	180名
4. ややそう思う	229名
3. どちらともいえない	175名
2. あまりそう思わない	44名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	11名

合計 650名

評価ポイント平均値 3.82

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	260名
4. ややそう思う	206名
3. どちらともいえない	135名
2. あまりそう思わない	36名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	2名

合計 650名

評価ポイント平均値 4.03

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	292名
4. ややそう思う	224名
3. どちらともいえない	98名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	3名

合計 650名

評価ポイント平均値 4.18

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	275名
4. ややそう思う	210名
3. どちらともいえない	118名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	3名

合計 650名

評価ポイント平均値 4.08

教育改善のための学生アンケート

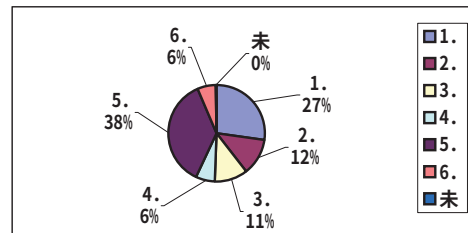
分野	科目
—	自然と技術 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1682	785	46.7%

I. あなた自身についてお答え下さい。

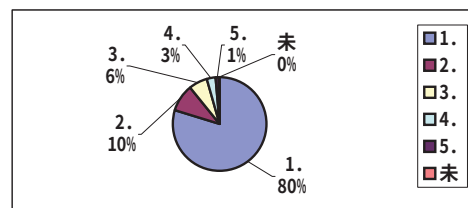
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	213名
2.教育学部 生涯教育)	96名
3.行政社会学部 昼間)	88名
4.行政社会学部 夜間)	49名
5.経済学部 昼間)	289名
6.経済学部 夜間)	48名
未 未記入	2名



(2) 学年 (入学してからの年数)

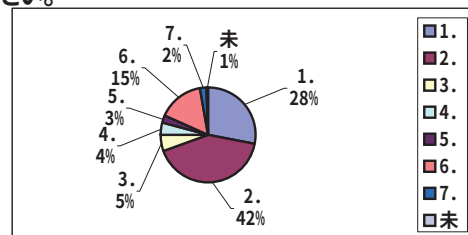
1. 1年	626名
2. 2年	75名
3. 3年	49名
4. 4年	25名
5. 5年以上	8名
未 未記入	2名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

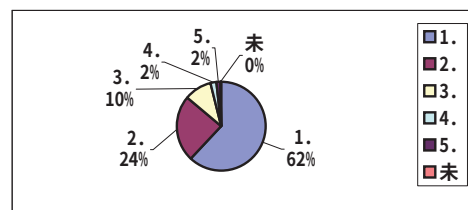
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	220名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	325名
3. 単位がとり易そうだったから	43名
4. 受講し易い時間帯にあったから	34名
5. 友人や先輩に勧められたから	20名
6. クラス指定又は必修だったから	121名
7. その他	17名
未 未記入	5名



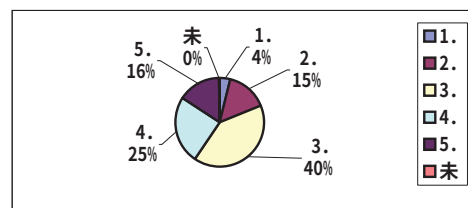
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	487名
2. 89%～70%	188名
3. 69%～50%	79名
4. 49%～30%	17名
5. 29%以下	12名
未 未記入	2名



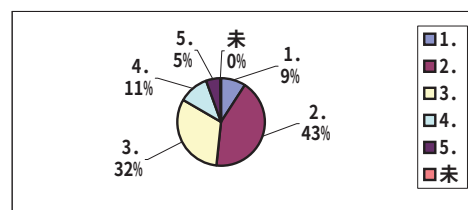
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	30名
2. よく勉強した	118名
3. 多少はした	318名
4. ほとんどしなかった	194名
5. まったくしなかった	122名
未 未記入	3名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	71名
2. ある程度意欲的	335名
3. どちらともいえない	248名
4. あまり意欲的でない	88名
5. まったく意欲的でない	41名
未 未記入	2名



分野	科目
—	自然と技術 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1682	785	46.7%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	278名
4. ややそう思う	311名
3. どちらともいえない	148名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	2名

合計 785名

評価ポイント平均値 4.03

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	181名
4. ややそう思う	264名
3. どちらともいえない	211名
2. あまりそう思わない	96名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	2名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.60

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	295名
4. ややそう思う	278名
3. どちらともいえない	150名
2. あまりそう思わない	45名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	2名

合計 785名

評価ポイント平均値 4.01

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	174名
4. ややそう思う	208名
3. どちらともいえない	212名
2. あまりそう思わない	134名
1. まったくそう思わない	55名
未 未記入	2名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.40

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	152名
4. ややそう思う	174名
3. どちらともいえない	203名
2. あまりそう思わない	169名
1. まったくそう思わない	81名
未 未記入	6名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.19

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	146名
4. ややそう思う	218名
3. どちらともいえない	286名
2. あまりそう思わない	85名
1. まったくそう思わない	32名
未 未記入	18名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.47

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	227名
4. ややそう思う	281名
3. どちらともいえない	236名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	12名
未 未記入	7名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.89

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	98名
4. ややそう思う	225名
3. どちらともいえない	226名
2. あまりそう思わない	161名
1. まったくそう思わない	72名
未 未記入	3名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.15

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	120名
4. ややそう思う	262名
3. どちらともいえない	237名
2. あまりそう思わない	114名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	21名

合計 785名

評価ポイント平均値 3.43

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	334名
4. ややそう思う	258名
3. どちらともいえない	139名
2. あまりそう思わない	40名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	8名

合計 785名

評価ポイント平均値 4.12

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	348名
4. ややそう思う	259名
3. どちらともいえない	124名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	8名

合計 785名

評価ポイント平均値 4.15

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	332名
4. ややそう思う	273名
3. どちらともいえない	133名
2. あまりそう思わない	27名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	9名

合計 785名

評価ポイント平均値 4.14

教育改善のための学生アンケート

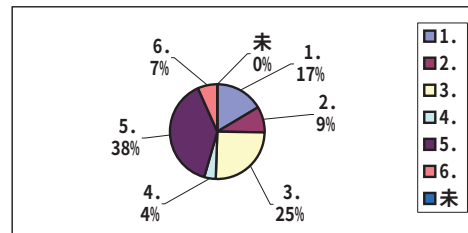
分野	科目
—	総合科目 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	233	103	44.2%

I. あなた自身についてお答え下さい。

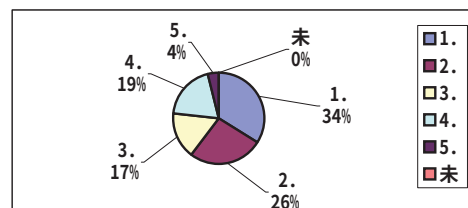
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	17名
2.教育学部 生涯教育)	9名
3.行政社会学部 昼間)	26名
4.行政社会学部 夜間)	4名
5.経済学部 昼間)	40名
6.経済学部 夜間)	7名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

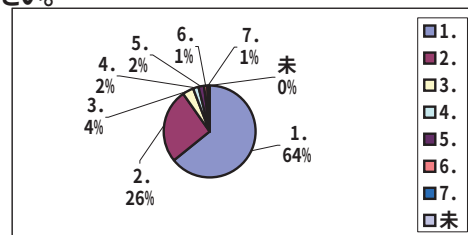
1. 1年	35名
2. 2年	27名
3. 3年	17名
4. 4年	20名
5. 5年以上	4名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

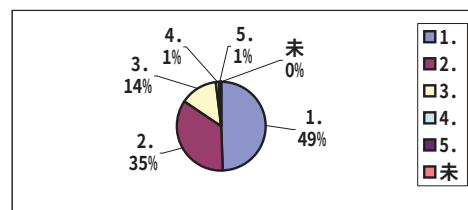
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	66名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	27名
3. 単位がとり易そうだったから	4名
4. 受講し易い時間帯にあったから	2名
5. 友人や先輩に勧められたから	2名
6. クラス指定又は必修だったから	1名
7. その他	1名
未 未記入	0名



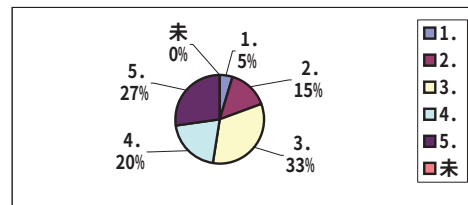
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	51名
2. 89%～70%	36名
3. 69%～50%	14名
4. 49%～30%	1名
5. 29%以下	1名
未 未記入	0名



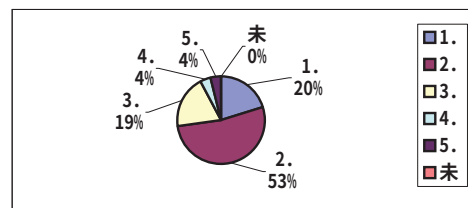
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	5名
2. よく勉強した	15名
3. 多少はした	34名
4. ほとんどしなかった	21名
5. まったくしなかった	28名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	21名
2. ある程度意欲的	54名
3. どちらともいえない	20名
4. あまり意欲的でない	4名
5. まったく意欲的でない	4名
未 未記入	0名



分野	科目
—	総合科目 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	233	103	44.2%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	80名
4. ややそう思う	21名
3. どちらともいえない	2名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.76

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	62名
4. ややそう思う	30名
3. どちらともいえない	11名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.50

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	70名
4. ややそう思う	25名
3. どちらともいえない	6名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.58

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	45名
4. ややそう思う	40名
3. どちらともいえない	15名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.22

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	50名
4. ややそう思う	22名
3. どちらともいえない	24名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	5名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.21

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	48名
4. ややそう思う	28名
3. どちらともいえない	26名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.19

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	59名
4. ややそう思う	26名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.40

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	47名
4. ややそう思う	36名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.24

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	49名
4. ややそう思う	40名
3. どちらともいえない	10名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.34

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	62名
4. ややそう思う	27名
3. どちらともいえない	13名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.46

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	66名
4. ややそう思う	22名
3. どちらともいえない	11名
2. あまりそう思わない	4名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.46

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	63名
4. ややそう思う	24名
3. どちらともいえない	11名
2. あまりそう思わない	5名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 103名

評価ポイント平均値 4.41

教育改善のための学生アンケート

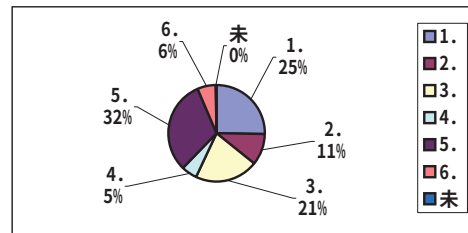
分野	科目
—	健康 運動科目 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1,297	1,090	84.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

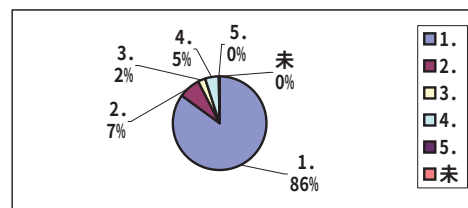
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	275名
2.教育学部 生涯教育)	116名
3.行政社会学部 昼間)	230名
4.行政社会学部 夜間)	58名
5.経済学部 昼間)	342名
6.経済学部 夜間)	67名
未 未記入	2名



(2) 学年 (入学してからの年数)

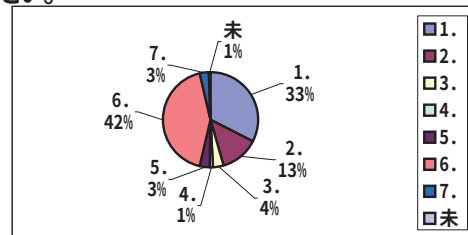
1. 1年	927名
2. 2年	80名
3. 3年	27名
4. 4年	53名
5. 5年以上	2名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

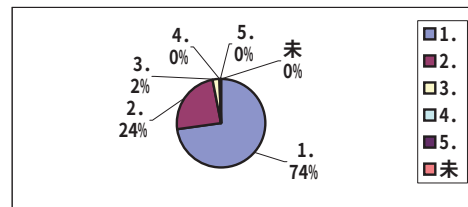
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	355名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	142名
3. 単位がとり易そうだったから	39名
4. 受講し易い時間帯にあったから	12名
5. 友人や先輩に勧められたから	35名
6. クラス指定又は必修だったから	467名
7. その他	34名
未 未記入	6名



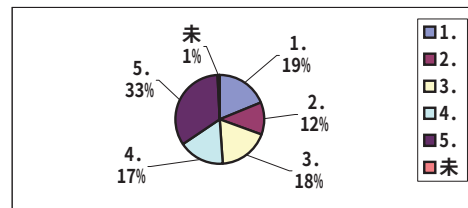
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	794名
2. 89%～70%	263名
3. 69%～50%	27名
4. 49%～30%	4名
5. 29%以下	1名
未 未記入	1名



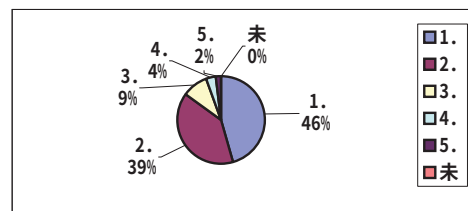
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	207名
2. よく勉強した	127名
3. 多少はした	198名
4. ほとんどしなかった	184名
5. まったくしなかった	364名
未 未記入	10名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	498名
2. ある程度意欲的	428名
3. どちらともいえない	102名
4. あまり意欲的でない	42名
5. まったく意欲的でない	19名
未 未記入	1名



分野	科目
—	健康 運動科目 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
-	-	-	1297	1090	84.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	737名
4. ややそう思う	246名
3. どちらともいえない	80名
2. あまりそう思わない	19名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	1名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.55

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	592名
4. ややそう思う	311名
3. どちらともいえない	141名
2. あまりそう思わない	29名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	1名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.32

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	563名
4. ややそう思う	332名
3. どちらともいえない	159名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	1名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.30

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	633名
4. ややそう思う	285名
3. どちらともいえない	123名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	4名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.37

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	250名
4. ややそう思う	147名
3. どちらともいえない	148名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	12名
未 未記入	509名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.03

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	324名
4. ややそう思う	211名
3. どちらともいえない	290名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	217名

合計 1090名

評価ポイント平均値 3.91

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	554名
4. ややそう思う	293名
3. どちらともいえない	199名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	16名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.27

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	603名
4. ややそう思う	316名
3. どちらともいえない	139名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	13名
未 未記入	3名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.36

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	600名
4. ややそう思う	321名
3. どちらともいえない	94名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	34名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.39

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	637名
4. ややそう思う	276名
3. どちらともいえない	126名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	18名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.41

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	631名
4. ややそう思う	256名
3. どちらともいえない	131名
2. あまりそう思わない	38名
1. まったくそう思わない	15名
未 未記入	19名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.35

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	604名
4. ややそう思う	275名
3. どちらともいえない	134名
2. あまりそう思わない	41名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	20名

合計 1090名

評価ポイント平均値 4.32

教育改善のための学生アンケート

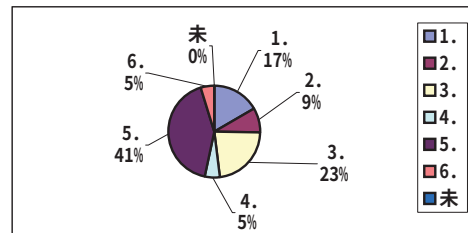
分野	科目
—	英語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3,343	2,473	74.0%

I. あなた自身についてお答え下さい。

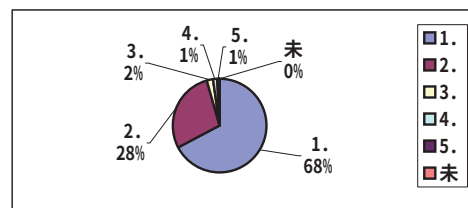
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	413名
2.教育学部 生涯教育)	211名
3.行政社会学部 昼間)	566名
4.行政社会学部 夜間)	131名
5.経済学部 昼間)	1033名
6.経済学部 夜間)	117名
未 未記入	2名



(2) 学年 (入学してからの年数)

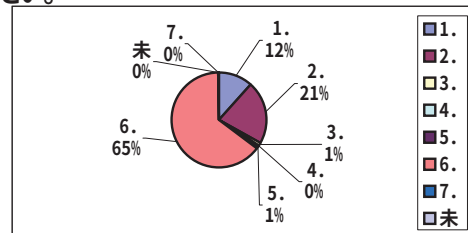
1. 1年	1660名
2. 2年	701名
3. 3年	59名
4. 4年	33名
5. 5年以上	17名
未 未記入	3名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

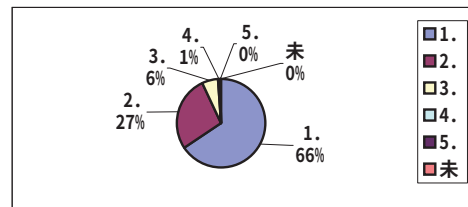
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	291名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	529名
3. 単位がとり易そうだったから	27名
4. 受講し易い時間帯にあったから	8名
5. 友人や先輩に勧められたから	14名
6. クラス指定又は必修だったから	1596名
7. その他	4名
未 未記入	4名



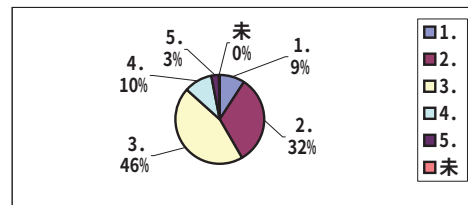
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1623名
2. 89%～70%	675名
3. 69%～50%	149名
4. 49%～30%	18名
5. 29%以下	4名
未 未記入	4名



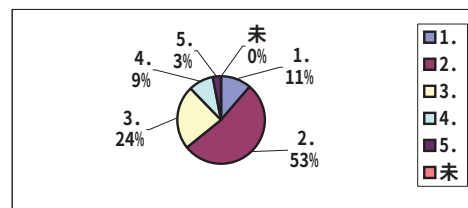
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	228名
2. よく勉強した	801名
3. 多少はした	1115名
4. ほとんどしなかった	253名
5. まったくしなかった	72名
未 未記入	4名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	281名
2. ある程度意欲的	1306名
3. どちらともいえない	586名
4. あまり意欲的でない	226名
5. まったく意欲的でない	71名
未 未記入	3名



分野	科目
—	英語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	3,343	2,473	74.0%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1054名
4. ややそう思う	947名
3. どちらともいえない	323名
2. あまりそう思わない	109名
1. まったくそう思わない	38名
未 未記入	2名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.16

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	1013名
4. ややそう思う	843名
3. どちらともいえない	390名
2. あまりそう思わない	151名
1. まったくそう思わない	74名
未 未記入	2名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.04

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	987名
4. ややそう思う	920名
3. どちらともいえない	425名
2. あまりそう思わない	106名
1. まったくそう思わない	33名
未 未記入	2名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.10

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	915名
4. ややそう思う	785名
3. どちらともいえない	479名
2. あまりそう思わない	202名
1. まったくそう思わない	87名
未 未記入	5名

合計 2473名

評価ポイント平均値 3.91

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	617名
4. ややそう思う	693名
3. どちらともいえない	600名
2. あまりそう思わない	177名
1. まったくそう思わない	51名
未 未記入	335名

合計 2473名

評価ポイント平均値 3.77

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	864名
4. ややそう思う	891名
3. どちらともいえない	515名
2. あまりそう思わない	140名
1. まったくそう思わない	56名
未 未記入	7名

合計 2473名

評価ポイント平均値 3.96

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	918名
4. ややそう思う	846名
3. どちらともいえない	621名
2. あまりそう思わない	60名
1. まったくそう思わない	18名
未 未記入	10名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.05

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	726名
4. ややそう思う	990名
3. どちらともいえない	525名
2. あまりそう思わない	163名
1. まったくそう思わない	67名
未 未記入	2名

合計 2473名

評価ポイント平均値 3.87

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	808名
4. ややそう思う	1022名
3. どちらともいえない	421名
2. あまりそう思わない	127名
1. まったくそう思わない	67名
未 未記入	28名

合計 2473名

評価ポイント平均値 3.97

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1263名
4. ややそう思う	772名
3. どちらともいえない	319名
2. あまりそう思わない	85名
1. まったくそう思わない	24名
未 未記入	10名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.29

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	1376名
4. ややそう思う	733名
3. どちらともいえない	276名
2. あまりそう思わない	53名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	10名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.37

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	1372名
4. ややそう思う	756名
3. どちらともいえない	286名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	11名

合計 2473名

評価ポイント平均値 4.40

教育改善のための学生アンケート

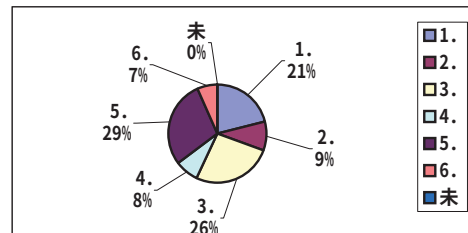
分野	科目
—	ドイツ語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1013	667	65.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

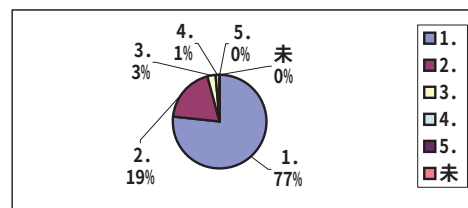
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	141名
2.教育学部 生涯教育)	62名
3.行政社会学部 昼間)	176名
4.行政社会学部 夜間)	52名
5.経済学部 昼間)	192名
6.経済学部 夜間)	44名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

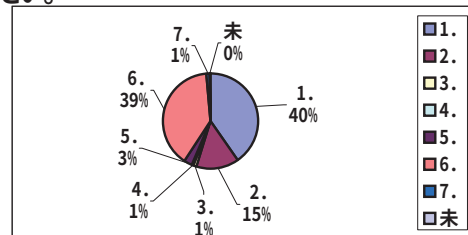
1. 1年	511名
2. 2年	129名
3. 3年	18名
4. 4年	9名
5. 5年以上	0名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

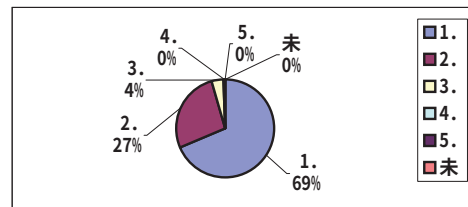
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	268名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	97名
3. 単位がとり易そうだったから	7名
4. 受講し易い時間帯にあったから	4名
5. 友人や先輩に勧められたから	18名
6. クラス指定又は必修だったから	263名
7. その他	9名
未 未記入	1名



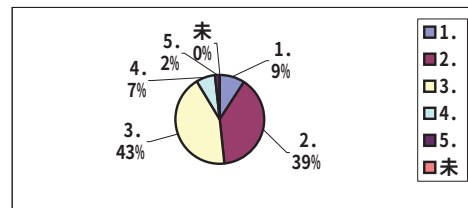
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	457名
2. 89%～70%	180名
3. 69%～50%	27名
4. 49%～30%	3名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名



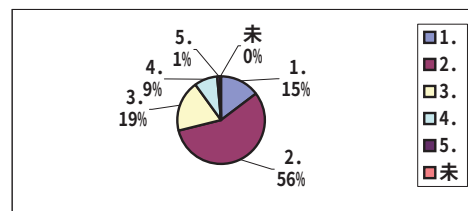
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	61名
2. よく勉強した	262名
3. 多少はした	286名
4. ほとんどしなかった	47名
5. まったくしなかった	11名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	98名
2. ある程度意欲的	377名
3. どちらともいえない	126名
4. あまり意欲的でない	57名
5. まったく意欲的でない	8名
未 未記入	1名



分野	科目
—	ドイツ語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	1013	667	65.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	351名
4. ややそう思う	218名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.35

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	264名
4. ややそう思う	246名
3. どちらともいえない	121名
2. あまりそう思わない	33名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.10

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	365名
4. ややそう思う	207名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	8名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.38

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	238名
4. ややそう思う	208名
3. どちらともいえない	151名
2. あまりそう思わない	59名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 3.90

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	207名
4. ややそう思う	213名
3. どちらともいえない	183名
2. あまりそう思わない	49名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	11名

合計 667名

評価ポイント平均値 3.87

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	256名
4. ややそう思う	254名
3. どちらともいえない	129名
2. あまりそう思わない	23名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.10

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	246名
4. ややそう思う	247名
3. どちらともいえない	161名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	3名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.10

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	162名
4. ややそう思う	282名
3. どちらともいえない	165名
2. あまりそう思わない	51名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 3.81

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	240名
4. ややそう思う	285名
3. どちらともいえない	117名
2. あまりそう思わない	19名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	4名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.12

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	354名
4. ややそう思う	217名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.37

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	355名
4. ややそう思う	202名
3. どちらともいえない	87名
2. あまりそう思わない	20名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.33

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	348名
4. ややそう思う	206名
3. どちらともいえない	93名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 667名

評価ポイント平均値 4.31

教育改善のための学生アンケート

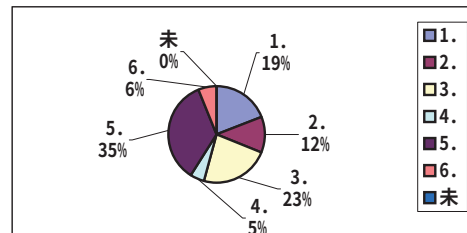
分野	科目
—	フランス語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	442	325	73.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

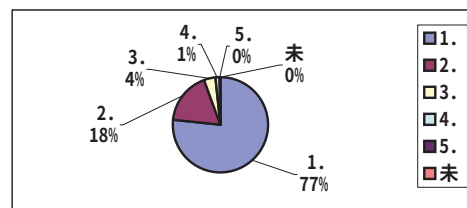
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	62名
2.教育学部 生涯教育)	39名
3.行政社会学部 昼間)	75名
4.行政社会学部 夜間)	15名
5.経済学部 昼間)	114名
6.経済学部 夜間)	20名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

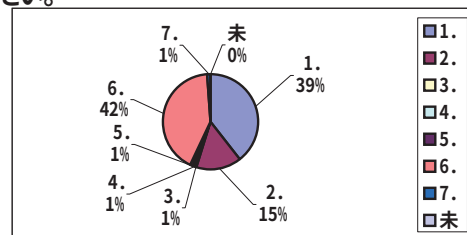
1. 1年	249名
2. 2年	58名
3. 3年	13名
4. 4年	4名
5. 5年以上	1名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

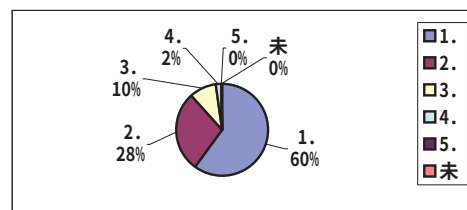
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	128名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	50名
3. 単位がとり易そうだったから	2名
4. 受講し易い時間帯にあったから	2名
5. 友人や先輩に勧められたから	3名
6. クラス指定又は必修だったから	136名
7. その他	4名
未 未記入	0名



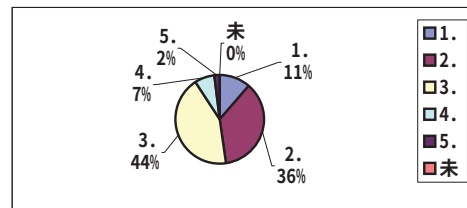
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	195名
2. 89%～70%	92名
3. 69%～50%	31名
4. 49%～30%	6名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名



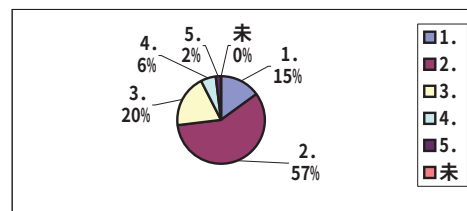
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	37名
2. よく勉強した	118名
3. 多少はした	140名
4. ほとんどしなかった	24名
5. まったくしなかった	6名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	49名
2. ある程度意欲的	188名
3. どちらともいえない	64名
4. あまり意欲的でない	18名
5. まったく意欲的でない	6名
未 未記入	0名



分野	科目
—	フランス語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	442	325	73.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	127名
4. ややそう思う	113名
3. どちらともいえない	62名
2. あまりそう思わない	16名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.04

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	127名
4. ややそう思う	106名
3. どちらともいえない	65名
2. あまりそう思わない	19名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	0名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.00

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	151名
4. ややそう思う	117名
3. どちらともいえない	47名
2. あまりそう思わない	8名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	138名
4. ややそう思う	99名
3. どちらともいえない	43名
2. あまりそう思わない	29名
1. まったくそう思わない	16名
未 未記入	0名

合計 325名

評価ポイント平均値 3.97

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	117名
4. ややそう思う	112名
3. どちらともいえない	66名
2. あまりそう思わない	25名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	2名

合計 325名

評価ポイント平均値 3.98

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	143名
4. ややそう思う	116名
3. どちらともいえない	43名
2. あまりそう思わない	18名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	0名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.15

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	136名
4. ややそう思う	107名
3. どちらともいえない	72名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.13

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	78名
4. ややそう思う	150名
3. どちらともいえない	61名
2. あまりそう思わない	26名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	1名

合計 325名

評価ポイント平均値 3.81

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	116名
4. ややそう思う	132名
3. どちらともいえない	51名
2. あまりそう思わない	13名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	8名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.08

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	160名
4. ややそう思う	104名
3. どちらともいえない	48名
2. あまりそう思わない	8名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	2名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.27

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	190名
4. ややそう思う	89名
3. どちらともいえない	33名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	2名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.40

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	179名
4. ややそう思う	98名
3. どちらともいえない	37名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	2名

合計 325名

評価ポイント平均値 4.38

教育改善のための学生アンケート

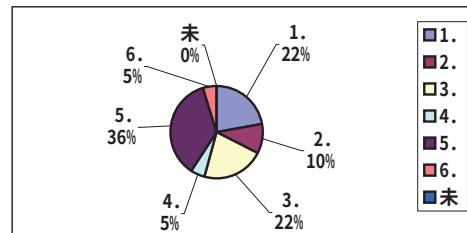
分野	科目
—	中国語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	926	754	81.4%

I. あなた自身についてお答え下さい。

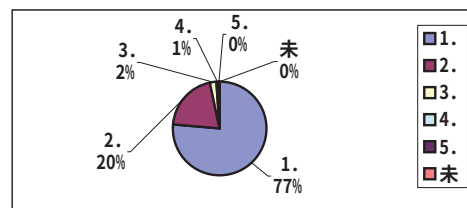
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	167名
2.教育学部 生涯教育)	78名
3.行政社会学部 昼間)	164名
4.行政社会学部 夜間)	38名
5.経済学部 昼間)	272名
6.経済学部 夜間)	34名
未 未記入	1名



(2) 学年 (入学してからの年数)

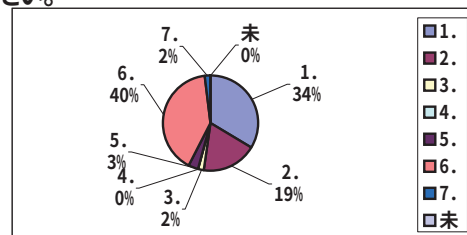
1. 1年	576名
2. 2年	152名
3. 3年	17名
4. 4年	6名
5. 5年以上	2名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

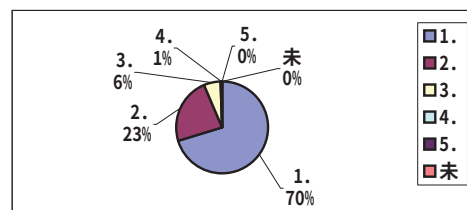
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	253名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	141名
3. 単位がとり易そうだったから	14名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	25名
6. クラス指定又は必修だったから	306名
7. その他	14名
未 未記入	1名



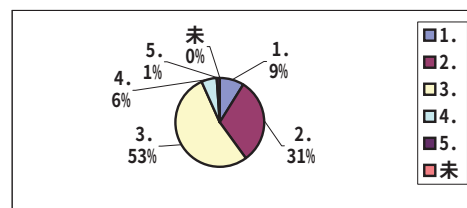
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	529名
2. 89%～70%	177名
3. 69%～50%	43名
4. 49%～30%	4名
5. 29%以下	0名
未 未記入	1名



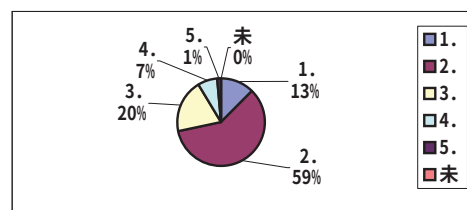
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	66名
2. よく勉強した	235名
3. 多少はした	402名
4. ほとんどしなかった	42名
5. まったくしなかった	8名
未 未記入	1名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	95名
2. ある程度意欲的	446名
3. どちらともいえない	149名
4. あまり意欲的でない	54名
5. まったく意欲的でない	9名
未 未記入	1名



分野	科目
—	中国語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	926	754	81.4%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	279名
4. ややそう思う	308名
3. どちらともいえない	132名
2. あまりそう思わない	30名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.10

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	237名
4. ややそう思う	326名
3. どちらともいえない	153名
2. あまりそう思わない	31名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.01

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	274名
4. ややそう思う	335名
3. どちらともいえない	124名
2. あまりそう思わない	17名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.14

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	265名
4. ややそう思う	290名
3. どちらともいえない	157名
2. あまりそう思わない	32名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.02

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	202名
4. ややそう思う	248名
3. どちらともいえない	208名
2. あまりそう思わない	67名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	18名

合計 754名

評価ポイント平均値 3.76

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	284名
4. ややそう思う	285名
3. どちらともいえない	148名
2. あまりそう思わない	28名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.07

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	241名
4. ややそう思う	307名
3. どちらともいえない	194名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.03

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	176名
4. ややそう思う	357名
3. どちらともいえない	175名
2. あまりそう思わない	35名
1. まったくそう思わない	10名
未 未記入	1名

合計 754名

評価ポイント平均値 3.87

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	243名
4. ややそう思う	359名
3. どちらともいえない	119名
2. あまりそう思わない	24名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	5名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.09

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	410名
4. ややそう思う	253名
3. どちらともいえない	76名
2. あまりそう思わない	11名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	3名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.41

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	403名
4. ややそう思う	250名
3. どちらともいえない	72名
2. あまりそう思わない	22名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	3名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.37

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	397名
4. ややそう思う	247名
3. どちらともいえない	84名
2. あまりそう思わない	18名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	3名

合計 754名

評価ポイント平均値 4.35

教育改善のための学生アンケート

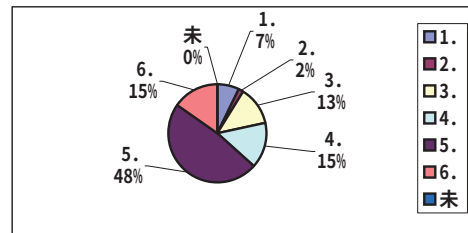
分野	科目
—	ロシア語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	165	125	75.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

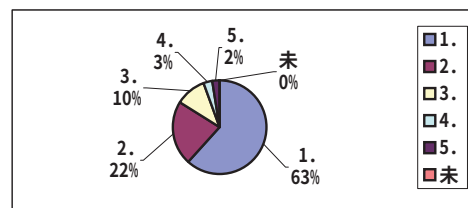
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	9名
2.教育学部 生涯教育)	2名
3.行政社会学部 昼間)	16名
4.行政社会学部 夜間)	19名
5.経済学部 昼間)	60名
6.経済学部 夜間)	19名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

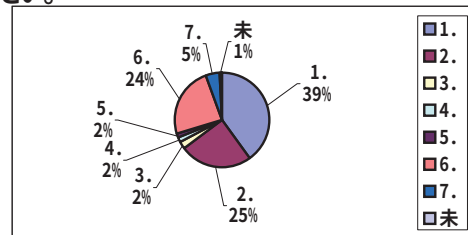
1. 1年	77名
2. 2年	28名
3. 3年	13名
4. 4年	4名
5. 5年以上	3名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

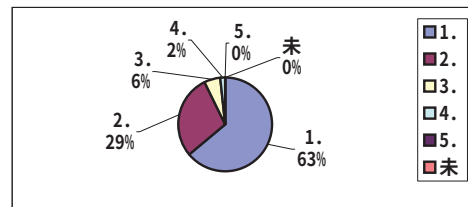
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	50名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	31名
3. 単位がとり易そうだったから	3名
4. 受講し易い時間帯にあったから	2名
5. 友人や先輩に勧められたから	2名
6. クラス指定又は必修だったから	30名
7. その他	6名
未 未記入	1名



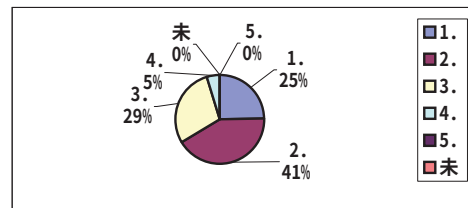
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	80名
2. 89%～70%	36名
3. 69%～50%	7名
4. 49%～30%	2名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名



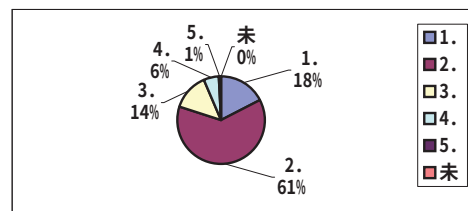
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	31名
2. よく勉強した	52名
3. 多少はした	36名
4. ほとんどしなかった	6名
5. まったくしなかった	0名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	22名
2. ある程度意欲的	78名
3. どちらともいえない	17名
4. あまり意欲的でない	7名
5. まったく意欲的でない	1名
未 未記入	0名



分野	科目
—	ロシア語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	165	125	75.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	98名
4. ややそう思う	26名
3. どちらともいえない	1名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.78

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	63名
4. ややそう思う	43名
3. どちらともいえない	16名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.30

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	81名
4. ややそう思う	35名
3. どちらともいえない	7名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.54

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	70名
4. ややそう思う	37名
3. どちらともいえない	15名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.38

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	47名
4. ややそう思う	43名
3. どちらともいえない	25名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	4名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.08

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	62名
4. ややそう思う	47名
3. どちらともいえない	16名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.37

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	55名
4. ややそう思う	44名
3. どちらともいえない	21名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	2名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.22

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	29名
4. ややそう思う	64名
3. どちらともいえない	28名
2. あまりそう思わない	3名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	0名

合計 125名

評価ポイント平均値 3.94

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	44名
4. ややそう思う	63名
3. どちらともいえない	13名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	2名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.19

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	89名
4. ややそう思う	25名
3. どちらともいえない	6名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	3名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.65

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	73名
4. ややそう思う	30名
3. どちらともいえない	16名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	1名
未 未記入	4名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.43

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	70名
4. ややそう思う	26名
3. どちらともいえない	19名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	0名
未 未記入	4名

合計 125名

評価ポイント平均値 4.32

教育改善のための学生アンケート

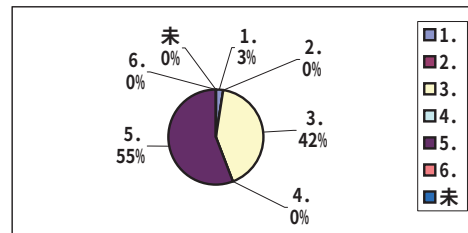
分野	科目
—	スペイン語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	116	79	68.1%

I. あなた自身についてお答え下さい。

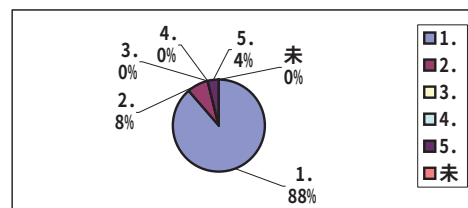
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	2名
2.教育学部 生涯教育)	0名
3.行政社会学部 昼間)	33名
4.行政社会学部 夜間)	0名
5.経済学部 昼間)	44名
6.経済学部 夜間)	0名
未 未記入	0名



(2) 学年 (入学してからの年数)

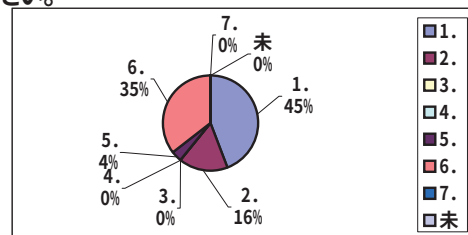
1. 1年	70名
2. 2年	6名
3. 3年	0名
4. 4年	0名
5. 5年以上	3名
未 未記入	0名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

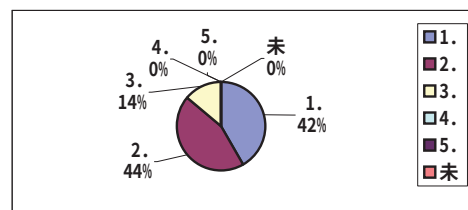
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	35名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	13名
3. 単位がとり易そうだったから	0名
4. 受講し易い時間帯にあったから	0名
5. 友人や先輩に勧められたから	3名
6. クラス指定又は必修だったから	28名
7. その他	0名
未 未記入	0名



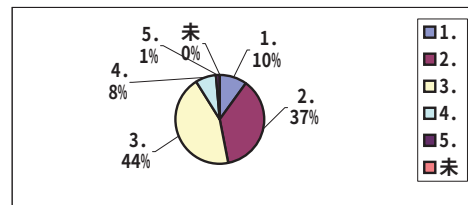
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	33名
2. 89%～70%	35名
3. 69%～50%	11名
4. 49%～30%	0名
5. 29%以下	0名
未 未記入	0名



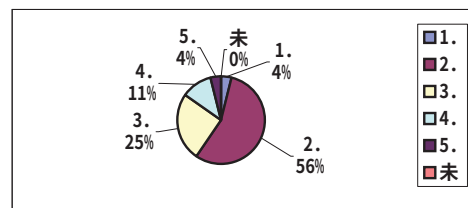
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	8名
2. よく勉強した	29名
3. 多少はした	35名
4. ほとんどしなかった	6名
5. まったくしなかった	1名
未 未記入	0名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	3名
2. ある程度意欲的	44名
3. どちらともいえない	20名
4. あまり意欲的でない	9名
5. まったく意欲的でない	3名
未 未記入	0名



分野	科目
—	スペイン語 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	116	79	68.1%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	23名
4. ややそう思う	34名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.92

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	18名
4. ややそう思う	29名
3. どちらともいえない	20名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.61

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	28名
4. ややそう思う	29名
3. どちらともいえない	18名
2. あまりそう思わない	0名
1. まったくそう思わない	4名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.97

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	20名
4. ややそう思う	31名
3. どちらともいえない	15名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.66

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	15名
4. ややそう思う	30名
3. どちらともいえない	13名
2. あまりそう思わない	14名
1. まったくそう思わない	7名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.41

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	19名
4. ややそう思う	25名
3. どちらともいえない	21名
2. あまりそう思わない	9名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.56

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	26名
4. ややそう思う	23名
3. どちらともいえない	25名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.85

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	10名
4. ややそう思う	25名
3. どちらともいえない	29名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	0名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.27

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	13名
4. ややそう思う	34名
3. どちらともいえない	23名
2. あまりそう思わない	2名
1. まったくそう思わない	6名
未 未記入	1名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.59

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	32名
4. ややそう思う	30名
3. どちらともいえない	12名
2. あまりそう思わない	1名
1. まったくそう思わない	3名
未 未記入	1名

合計 79名

評価ポイント平均値 4.12

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	30名
4. ややそう思う	26名
3. どちらともいえない	14名
2. あまりそう思わない	6名
1. まったくそう思わない	2名
未 未記入	1名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.97

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	26名
4. ややそう思う	26名
3. どちらともいえない	14名
2. あまりそう思わない	7名
1. まったくそう思わない	5名
未 未記入	1名

合計 79名

評価ポイント平均値 3.78

教育改善のための学生アンケート

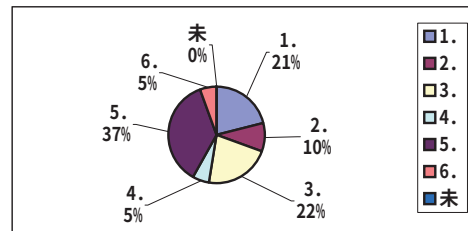
分野	科目
共通教育 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12,338	7,641	61.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

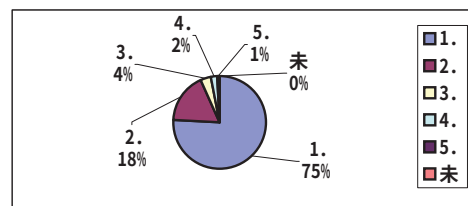
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	1608名
2.教育学部 生涯教育)	736名
3.行政社会学部 昼間)	1675名
4.行政社会学部 夜間)	409名
5.経済学部 昼間)	2799名
6.経済学部 夜間)	406名
未 未記入	8名



(2) 学年 (入学してからの年数)

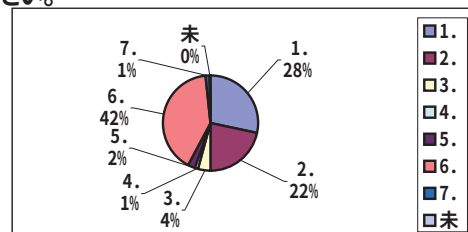
1. 1年	5791名
2. 2年	1350名
3. 3年	270名
4. 4年	174名
5. 5年以上	48名
未 未記入	8名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

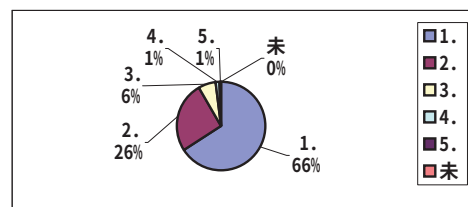
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	2171名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1650名
3. 単位がとり易そうだったから	310名
4. 受講し易い時間帯にあったから	100名
5. 友人や先輩に勧められたから	187名
6. クラス指定又は必修だったから	3101名
7. その他	103名
未 未記入	19名



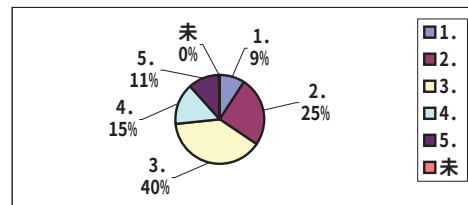
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	5032名
2. 89%～70%	1974名
3. 69%～50%	491名
4. 49%～30%	91名
5. 29%以下	44名
未 未記入	9名



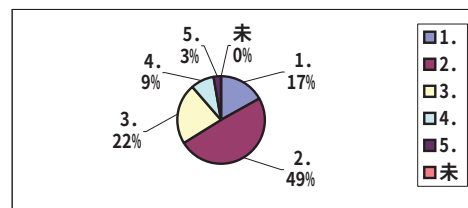
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	708名
2. よく勉強した	1914名
3. 多少はした	2974名
4. ほとんどしなかった	1150名
5. まったくしなかった	877名
未 未記入	18名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1287名
2. ある程度意欲的	3764名
3. どちらともいえない	1717名
4. あまり意欲的でない	655名
5. まったく意欲的でない	210名
未 未記入	8名



分野	科目
共通教育 合計	—

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	12,338	7,641	61.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	3611名
4. ややそう思う	2693名
3. どちらともいえない	1002名
2. あまりそう思わない	238名
1. まったくそう思わない	91名
未 未記入	6名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.24

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	3014名
4. ややそう思う	2624名
3. どちらともいえない	1384名
2. あまりそう思わない	439名
1. まったくそう思わない	174名
未 未記入	6名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.03

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	3412名
4. ややそう思う	2691名
3. どちらともいえない	1199名
2. あまりそう思わない	238名
1. まったくそう思わない	95名
未 未記入	6名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.19

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	3008名
4. ややそう思う	2328名
3. どちらともいえない	1430名
2. あまりそう思わない	617名
1. まったくそう思わない	246名
未 未記入	12名

合計 7641名

評価ポイント平均値 3.95

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	2012名
4. ややそう思う	2005名
3. どちらともいえない	1765名
2. あまりそう思わない	669名
1. まったくそう思わない	230名
未 未記入	960名

合計 7641名

評価ポイント平均値 3.73

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	2542名
4. ややそう思う	2481名
3. どちらともいえない	1786名
2. あまりそう思わない	410名
1. まったくそう思わない	153名
未 未記入	269名

合計 7641名

評価ポイント平均値 3.93

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	2900名
4. ややそう思う	2585名
3. どちらともいえない	1872名
2. あまりそう思わない	169名
1. まったくそう思わない	69名
未 未記入	46名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.06

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	2213名
4. ややそう思う	2910名
3. どちらともいえない	1707名
2. あまりそう思わない	576名
1. まったくそう思わない	224名
未 未記入	11名

合計 7641名

評価ポイント平均値 3.83

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	2604名
4. ややそう思う	3012名
3. どちらともいえない	1360名
2. あまりそう思わない	387名
1. まったくそう思わない	149名
未 未記入	129名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.00

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	3836名
4. ややそう思う	2336名
3. どちらともいえない	1082名
2. あまりそう思わない	260名
1. まったくそう思わない	75名
未 未記入	52名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.26

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	4068名
4. ややそう思う	2277名
3. どちらともいえない	943名
2. あまりそう思わない	215名
1. まったくそう思わない	83名
未 未記入	55名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.32

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	3941名
4. ややそう思う	2331名
3. どちらともいえない	1028名
2. あまりそう思わない	197名
1. まったくそう思わない	86名
未 未記入	58名

合計 7641名

評価ポイント平均値 4.30

教育改善のための学生アンケート

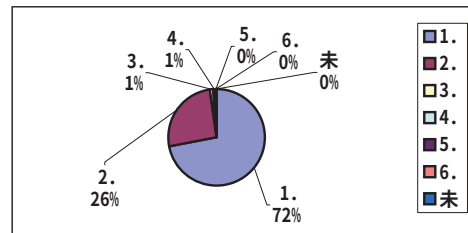
学部
教育学部 集計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	8,752	5,317	60.8%

I. あなた自身についてお答え下さい。

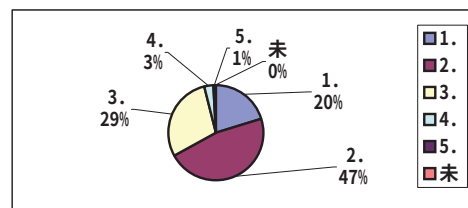
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	3822名
2. 教育学部 生涯教育)	1370名
3. 行政社会学部 昼間)	73名
4. 行政社会学部 夜間)	35名
5. 経済学部 昼間)	1名
6. 経済学部 夜間)	2名
未 未記入	14名



(2) 学年 (入学してからの年数)

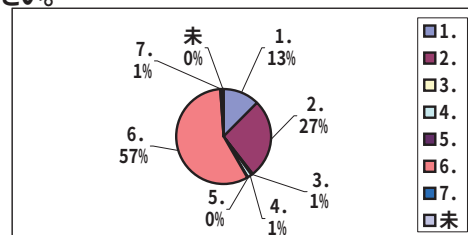
1. 1年	1072名
2. 2年	2492名
3. 3年	1551名
4. 4年	157名
5. 5年以上	30名
未 未記入	15名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

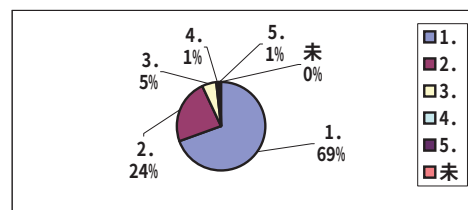
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	671名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	1422名
3. 単位がとり易そうだったから	37名
4. 受講し易い時間帯にあったから	67名
5. 友人や先輩に勧められたから	16名
6. クラス指定又は必修だったから	3041名
7. その他	46名
未 未記入	17名



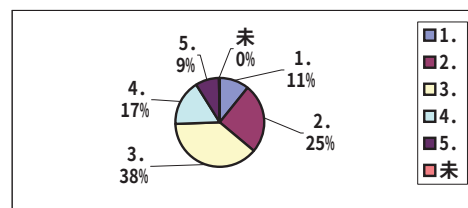
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	3689名
2. 89%～70%	1261名
3. 69%～50%	275名
4. 49%～30%	47名
5. 29%以下	31名
未 未記入	14名



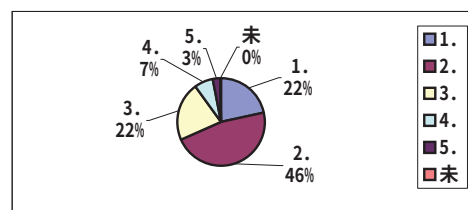
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	573名
2. よく勉強した	1351名
3. 多少はした	2036名
4. ほとんどしなかった	887名
5. まったくしなかった	454名
未 未記入	16名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1153名
2. ある程度意欲的	2479名
3. どちらともいえない	1158名
4. あまり意欲的でない	363名
5. まったく意欲的でない	147名
未 未記入	17名



学部
教育学部 集計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	8,752	5,317	60.8%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	2603名
4. やや思う	1869名
3. どちらともいえない	710名
2. あまりそう思わない	103名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	10名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.31

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	2193名
4. やや思う	1809名
3. どちらともいえない	968名
2. あまりそう思わない	258名
1. まったくそう思わない	79名
未 未記入	10名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.09

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	2558名
4. やや思う	1745名
3. どちらともいえない	800名
2. あまりそう思わない	157名
1. まったくそう思わない	46名
未 未記入	11名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	2230名
4. やや思う	1585名
3. どちらともいえない	1049名
2. あまりそう思わない	342名
1. まったくそう思わない	101名
未 未記入	10名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.04

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	1494名
4. やや思う	1390名
3. どちらともいえない	1378名
2. あまりそう思わない	426名
1. まったくそう思わない	130名
未 未記入	499名

合計 5317名

評価ポイント平均値 3.77

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	1821名
4. やや思う	1728名
3. どちらともいえない	1338名
2. あまりそう思わない	245名
1. まったくそう思わない	74名
未 未記入	111名

合計 5317名

評価ポイント平均値 3.96

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	1974名
4. やや思う	1819名
3. どちらともいえない	1307名
2. あまりそう思わない	115名
1. まったくそう思わない	29名
未 未記入	73名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.07

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	1570名
4. やや思う	2154名
3. どちらともいえない	1167名
2. あまりそう思わない	314名
1. まったくそう思わない	99名
未 未記入	13名

合計 5317名

評価ポイント平均値 3.90

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	1952名
4. やや思う	2113名
3. どちらともいえない	915名
2. あまりそう思わない	227名
1. まったくそう思わない	63名
未 未記入	47名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.07

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	2535名
4. やや思う	1659名
3. どちらともいえない	838名
2. あまりそう思わない	212名
1. まったくそう思わない	44名
未 未記入	29名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.22

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	2559名
4. やや思う	1617名
3. どちらともいえない	813名
2. あまりそう思わない	213名
1. まったくそう思わない	85名
未 未記入	30名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.20

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	2667名
4. やや思う	1660名
3. どちらともいえない	784名
2. あまりそう思わない	131名
1. まったくそう思わない	42名
未 未記入	33名

合計 5317名

評価ポイント平均値 4.28

教育改善のための学生アンケート

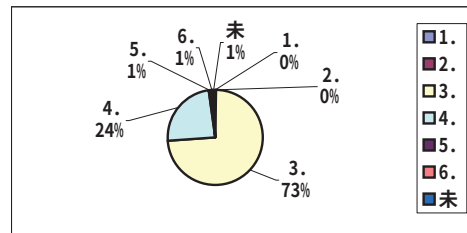
学部
行政社会学部 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4,573	1,761	38.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

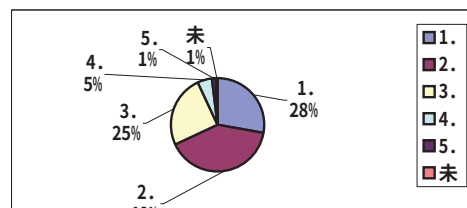
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	3名
2. 教育学部 生涯教育)	3名
3. 行政社会学部 昼間)	1294名
4. 行政社会学部 夜間)	421名
5. 経済学部 昼間)	16名
6. 経済学部 夜間)	11名
未 未記入	13名



(2) 学年 (入学してからの年数)

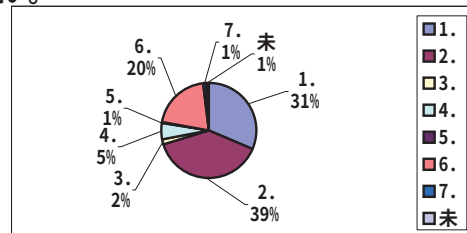
1. 1年	490名
2. 2年	707名
3. 3年	440名
4. 4年	90名
5. 5年以上	22名
未 未記入	12名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

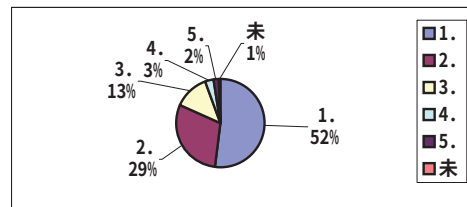
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	552名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	688名
3. 単位がとり易そうだったから	27名
4. 受講し易い時間帯にあったから	96名
5. 友人や先輩に勧められたから	9名
6. クラス指定又は必修だったから	353名
7. その他	23名
未 未記入	13名



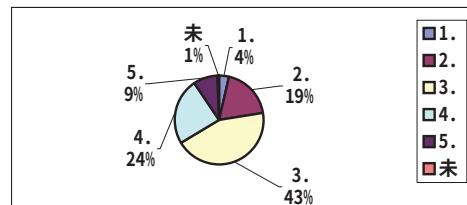
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	917名
2. 89%～70%	519名
3. 69%～50%	225名
4. 49%～30%	58名
5. 29%以下	31名
未 未記入	11名



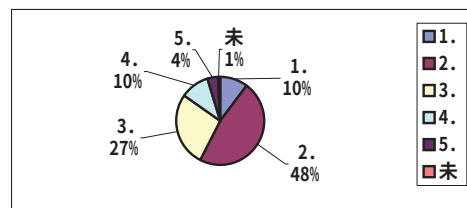
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	64名
2. よく勉強した	332名
3. 多少はした	772名
4. ほとんどしなかった	425名
5. まったくしなかった	156名
未 未記入	12名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	181名
2. ある程度意欲的	833名
3. どちらともいえない	479名
4. あまり意欲的でない	183名
5. まったく意欲的でない	72名
未 未記入	13名



学部
行政社会学部 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4,573	1,761	38.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強く思う	833名
4. やや思う	671名
3. どちらともいえない	191名
2. あまりそう思わない	46名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	12名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.30

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強く思う	621名
4. やや思う	643名
3. どちらともいえない	367名
2. あまりそう思わない	98名
1. まったくそう思わない	20名
未 未記入	12名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.00

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強く思う	815名
4. やや思う	628名
3. どちらともいえない	248名
2. あまりそう思わない	47名
1. まったくそう思わない	11名
未 未記入	12名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強く思う	600名
4. やや思う	557名
3. どちらともいえない	380名
2. あまりそう思わない	159名
1. まったくそう思わない	52名
未 未記入	13名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.85

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強く思う	434名
4. やや思う	530名
3. どちらともいえない	463名
2. あまりそう思わない	196名
1. まったくそう思わない	71名
未 未記入	67名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.63

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強く思う	541名
4. やや思う	626名
3. どちらともいえない	437名
2. あまりそう思わない	116名
1. まったくそう思わない	22名
未 未記入	19名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.89

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強く思う	559名
4. やや思う	642名
3. どちらともいえない	477名
2. あまりそう思わない	57名
1. まったくそう思わない	8名
未 未記入	18名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.97

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強く思う	341名
4. やや思う	655名
3. どちらともいえない	543名
2. あまりそう思わない	156名
1. まったくそう思わない	54名
未 未記入	12名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.61

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強く思う	470名
4. やや思う	733名
3. どちらともいえない	391名
2. あまりそう思わない	101名
1. まったくそう思わない	31名
未 未記入	35名

合計 1761名

評価ポイント平均値 3.87

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強く思う	758名
4. やや思う	611名
3. どちらともいえない	306名
2. あまりそう思わない	51名
1. まったくそう思わない	9名
未 未記入	26名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.19

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強く思う	818名
4. やや思う	543名
3. どちらともいえない	261名
2. あまりそう思わない	90名
1. まったくそう思わない	23名
未 未記入	26名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.18

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強く思う	789名
4. やや思う	548名
3. どちらともいえない	306名
2. あまりそう思わない	64名
1. まったくそう思わない	28名
未 未記入	26名

合計 1761名

評価ポイント平均値 4.16

教育改善のための学生アンケート

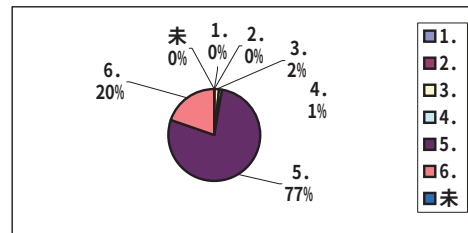
学部
経済学部 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4,857	2,277	46.9%

I. あなた自身についてお答え下さい。

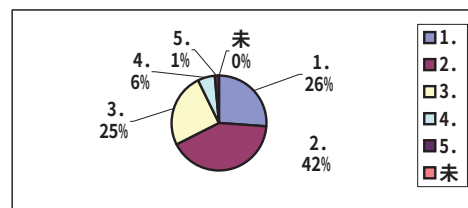
(1) 学部

1. 教育学部 学校教育)	1名
2. 教育学部 生涯教育)	0名
3. 行政社会学部 昼間)	38名
4. 行政社会学部 夜間)	23名
5. 経済学部 昼間)	1763名
6. 経済学部 夜間)	449名
未 未記入	3名



(2) 学年 (入学してからの年数)

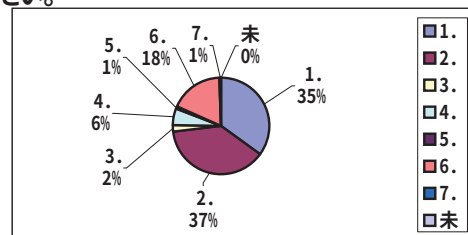
1. 1年	594名
2. 2年	944名
3. 3年	575名
4. 4年	133名
5. 5年以上	30名
未 未記入	1名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

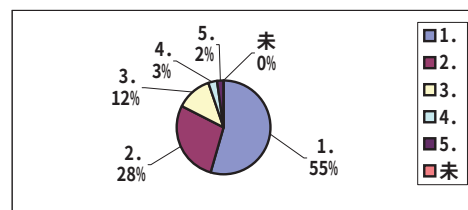
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	797名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	869名
3. 単位がとり易そうだったから	49名
4. 受講し易い時間帯にあったから	126名
5. 友人や先輩に勧められたから	16名
6. クラス指定又は必修だったから	405名
7. その他	13名
未 未記入	2名



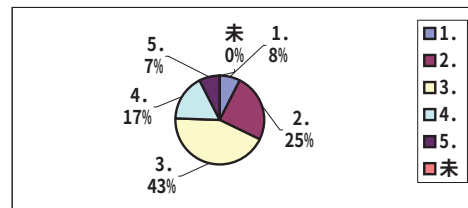
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	1237名
2. 89%～70%	642名
3. 69%～50%	277名
4. 49%～30%	72名
5. 29%以下	47名
未 未記入	2名



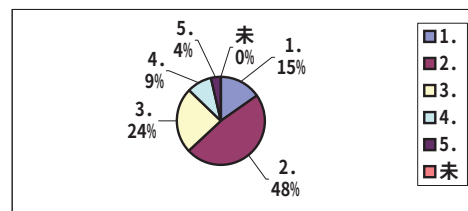
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	171名
2. よく勉強した	561名
3. 多少はした	991名
4. ほとんどしなかった	386名
5. まったくしなかった	166名
未 未記入	2名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	345名
2. ある程度意欲的	1091名
3. どちらともいえない	550名
4. あまり意欲的でない	206名
5. まったく意欲的でない	82名
未 未記入	3名



学部
経済学部 集計

科目名	アンケートコード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	4857	2277	46.9%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	1101名
4. ややそう思う	839名
3. どちらともいえない	256名
2. あまりそう思わない	56名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	0名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.29

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	884名
4. ややそう思う	742名
3. どちらともいえない	411名
2. あまりそう思わない	158名
1. まったくそう思わない	82名
未 未記入	0名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.96

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	1130名
4. ややそう思う	757名
3. どちらともいえない	294名
2. あまりそう思わない	71名
1. まったくそう思わない	25名
未 未記入	0名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.27

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	801名
4. ややそう思う	633名
3. どちらともいえない	463名
2. あまりそう思わない	243名
1. まったくそう思わない	137名
未 未記入	0名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.75

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	630名
4. ややそう思う	558名
3. どちらともいえない	555名
2. あまりそう思わない	322名
1. まったくそう思わない	170名
未 未記入	42名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.52

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	746名
4. ややそう思う	766名
3. どちらともいえない	562名
2. あまりそう思わない	136名
1. まったくそう思わない	60名
未 未記入	7名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.88

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	862名
4. ややそう思う	838名
3. どちらともいえない	497名
2. あまりそう思わない	52名
1. まったくそう思わない	21名
未 未記入	7名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.09

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	463名
4. ややそう思う	821名
3. どちらともいえない	649名
2. あまりそう思わない	248名
1. まったくそう思わない	96名
未 未記入	0名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.57

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	691名
4. ややそう思う	855名
3. どちらともいえない	487名
2. あまりそう思わない	144名
1. まったくそう思わない	60名
未 未記入	40名

合計 2277名

評価ポイント平均値 3.88

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の場では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	1024名
4. ややそう思う	792名
3. どちらともいえない	341名
2. あまりそう思わない	85名
1. まったくそう思わない	17名
未 未記入	18名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.20

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	1075名
4. ややそう思う	709名
3. どちらともいえない	317名
2. あまりそう思わない	119名
1. まったくそう思わない	39名
未 未記入	18名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.18

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	1010名
4. ややそう思う	705名
3. どちらともいえない	395名
2. あまりそう思わない	105名
1. まったくそう思わない	43名
未 未記入	19名

合計 2277名

評価ポイント平均値 4.12

教育改善のための学生アンケート

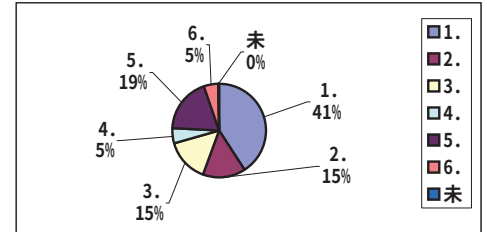
学部
専門教育 合計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	18,182	9,355	51.5%

I. あなた自身についてお答え下さい。

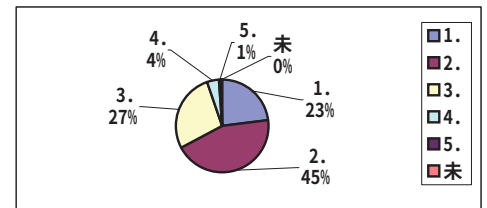
(1) 学部

1.教育学部 学校教育)	3826名
2.教育学部 生涯教育)	1373名
3.行政社会学部 昼間)	1405名
4.行政社会学部 夜間)	479名
5.経済学部 昼間)	1780名
6.経済学部 夜間)	462名
未 未記入	30名



(2) 学年 (入学してからの年数)

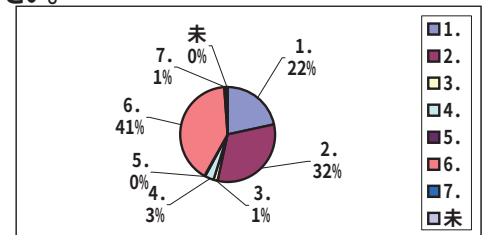
1. 1年	2156名
2. 2年	4143名
3. 3年	2566名
4. 4年	380名
5. 5年以上	82名
未 未記入	28名



II. この授業についてあなた自身の取り組みについておたずねします。

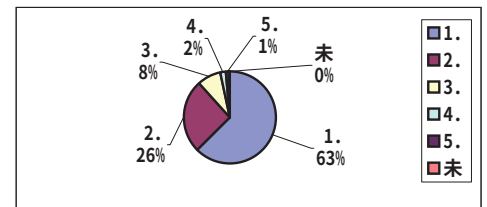
(3) どうしてこの授業を選んだのですか。もっとも当てはまるものを選んで下さい。

1. 勉学面で関心があったから	2020名
2. 卒業までに必要な取得単位のバランスから	2979名
3. 単位がとり易そうだったから	113名
4. 受講し易い時間帯にあったから	289名
5. 友人や先輩に勧められたから	41名
6. クラス指定又は必修だったから	3799名
7. その他	82名
未 未記入	32名



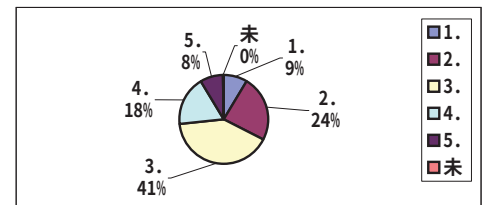
(4) この授業にどのくらい出席しましたか。

1. 90%以上	5843名
2. 89%～70%	2422名
3. 69%～50%	777名
4. 49%～30%	177名
5. 29%以下	109名
未 未記入	27名



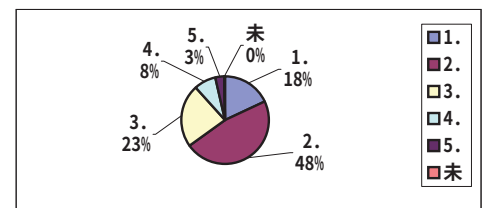
(5) 授業時間以外にこの授業に関して自分でどのくらい勉強しましたか。

1. 非常によく勉強した	808名
2. よく勉強した	2244名
3. 多少はした	3799名
4. ほとんどしなかった	1698名
5. まったくしなかった	776名
未 未記入	30名



(6) この授業にたいするあなたの参加意欲はどうでしたか。

1. 非常に意欲的	1679名
2. ある程度意欲的	4403名
3. どちらともいえない	2187名
4. あまり意欲的でない	752名
5. まったく意欲的でない	301名
未 未記入	33名



学部
専門教育 合計

科目名	授業コード	担当教官	受講者数	回答者数	回答率
—	—	—	18,182	9,355	51.5%

III. この授業及び担当教員について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(7) 授業への熱意が感じられた。

5. 強くそう思う	4537名
4. ややそう思う	3379名
3. どちらともいえない	1157名
2. あまりそう思わない	205名
1. まったくそう思わない	55名
未 未記入	22名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.30

(8) 学生への対応は適切であった。

5. 強くそう思う	3698名
4. ややそう思う	3194名
3. どちらともいえない	1746名
2. あまりそう思わない	514名
1. まったくそう思わない	181名
未 未記入	22名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.04

(9) 授業の準備がしっかりなされていた。

5. 強くそう思う	4503名
4. ややそう思う	3130名
3. どちらともいえない	1342名
2. あまりそう思わない	275名
1. まったくそう思わない	82名
未 未記入	23名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.25

(10) 聞き取り易い話し方だった。

5. 強くそう思う	3631名
4. ややそう思う	2775名
3. どちらともいえない	1892名
2. あまりそう思わない	744名
1. まったくそう思わない	290名
未 未記入	23名

合計 9355名

評価ポイント平均値 3.93

(11) 板書・OHPなどは見やすかった。

5. 強くそう思う	2558名
4. ややそう思う	2478名
3. どちらともいえない	2396名
2. あまりそう思わない	944名
1. まったくそう思わない	371名
未 未記入	608名

合計 9355名

評価ポイント平均値 3.68

(12) 教科書・参考書・資料などは適切であった。

5. 強くそう思う	3108名
4. ややそう思う	3120名
3. どちらともいえない	2337名
2. あまりそう思わない	497名
1. まったくそう思わない	156名
未 未記入	137名

合計 9355名

評価ポイント平均値 3.93

(13) シラバスに沿って授業が行われた。

5. 強くそう思う	3395名
4. ややそう思う	3299名
3. どちらともいえない	2281名
2. あまりそう思わない	224名
1. まったくそう思わない	58名
未 未記入	98名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.05

(14) 授業の内容はよく理解できた。

5. 強くそう思う	2374名
4. ややそう思う	3630名
3. どちらともいえない	2359名
2. あまりそう思わない	718名
1. まったくそう思わない	249名
未 未記入	25名

合計 9355名

評価ポイント平均値 3.77

IV. 総合的にみてこの授業に満足しましたか。

5. 強くそう思う	3113名
4. ややそう思う	3701名
3. どちらともいえない	1793名
2. あまりそう思わない	472名
1. まったくそう思わない	154名
未 未記入	122名

合計 9355名

評価ポイント平均値 3.99

V. 教育環境について評価をし、評価ポイントでお答えください。

(16) 授業の間では学習する雰囲気は保たれた。

5. 強くそう思う	4317名
4. ややそう思う	3062名
3. どちらともいえない	1485名
2. あまりそう思わない	348名
1. まったくそう思わない	70名
未 未記入	73名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.21

(17) 授業の場の大きさや設備等は適切であった。

5. 強くそう思う	4452名
4. ややそう思う	2869名
3. どちらともいえない	1391名
2. あまりそう思わない	422名
1. まったくそう思わない	147名
未 未記入	74名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.19

(18) 受講者数は適切であった。

5. 強くそう思う	4466名
4. ややそう思う	2913名
3. どちらともいえない	1485名
2. あまりそう思わない	300名
1. まったくそう思わない	113名
未 未記入	78名

合計 9355名

評価ポイント平均値 4.22



福島大学 FD プロジェクト要項

○福島大学 FD プロジェクト要項

制定 平成13年5月8日

改正 平成14年3月19日 平成16年4月1日 平成16年9月21日

(趣旨)

第1条 この要項は、福島大学（以下「本学」という。）の教育水準の向上を図り、かつ本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育内容及び教授方法の改善（以下「FD」という。）を推進するため、必要な事項を定めるものとする。

(FD プロジェクト)

第2条 教育研究評議会の議に基づき、本学に、FD プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を置く。

2 プロジェクトは次の各号に掲げる事項を処理する。

- 一 教授方法改善等のための調査及び研究に関する事項
- 二 教授方法改善等の目標決定及び改善方法に関する事項
- 三 教授方法改善等のための企画及び実施に関する事項
- 四 教授方法改善等のための学生による授業評価に関する事項
- 五 その他教授方法改善等に関する事項

(組織)

第3条 プロジェクトは、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 副学長のうち学長が指名した者（以下「副学長」という。）
 - 二 各学類（共生システム理工学類を除く。）の教員 各2名
- 2 前項第2号の教員は、当該学類教員会議において選出し、学長が任命する。

(メンバーの任期)

第4条 前条第1項第2号のメンバーの任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠のメンバーの任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

(責任者)

第5条 プロジェクトに責任者を置き、第3条第1項第1号の委員のうち学長が指名した者をもって充てる。

2 責任者に事故あるときは、あらかじめ責任者の指名した者がその職務を代行する。

(ワーキングチーム)

第6条 プロジェクトは、FDの内容等により、必要かつ適当な員数のFD ワーキングチーム（以下「ワーキング」という。）を編成することができる。

2 ワーキングのメンバーは、プロジェクトの依頼に基づいて当該学類の長が推薦し、当該学類教員会議の了承を得ることとする。

(FD 報告書の作成)

第7条 プロジェクトは、FD 報告書を作成し、教育研究評議会に提出する。

(事務)

第8条 プロジェクトの事務は、教務課において処理する。

附 則

この要項は、平成13年5月8日から施行する。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成16年10月1日から施行する。

2 この要項の施行の日の前日に現に委員である者は、この要項により選出されたものとみなし、その任期はなお従前の例による。

平成16年度 F Dプロジェクトメンバー名簿

所属部局等	委 員 名
副学長（学務）	山 川 充 夫
副学長（教育）	工 藤 孝 幾
人間発達文化学類	白 石 昌 子
人間発達文化学類	松 崎 博 文
行 政 政 策 学 類	小 島 定
行 政 政 策 学 類	新 谷 崇 一
経 済 経 営 学 類	市 川 佳 宏
経 済 経 営 学 類	神 子 博 昭

福島大学FDプロジェクトメンバー
教育担当副学長 工藤孝幾

FD活動報告書も、今回で4回目を数えますが、FDプロジェクトの初代メンバーとして関わったこともあり、最初の報告書にも一文を書かせていただきました。この間、FD活動が多くの人によって支えられ、今回も充実した内容の報告書を刊行することができたことを、素直に喜びたいと思います。

当時（平成13年）、私は全学教育主管という立場にあり、大学教育に関する会議や研究会に参加する機会が多くありました。したがって、FDの取り組みに関する情報に触れる機会が多く、また主管室には、全国の国立大学から分厚いFD報告書が連日届けられ、強いあせりを感じておりました。今もあせりを感じないわけではありませんが、しかし、当時と比べれば少しは冷静に考えられるようになりました。

日本の大学におけるFD活動は、1990年代後半から最近までをいわば「導入期」として位置づけることができます。穿った言い方をすれば、少なくともこれまでは、報告書を作成すること自体が一つの目的であったという側面もないわけではありませんでした。しかし、講演会やシンポジウム、ワークショップなど、活動内容の新奇さ・多彩さや報告書の体裁を競い合う時代はもう終わりました。そのような外形的側面よりも、実質的に教育の質がどう確保されているのかが最も重要な問題です。

その意味で、学外の施設にこもって泊まりがけで行うワークショップほど派手ではありませんが、今年度取り組んだ一連の授業公開と検討会の試みは、今報告書をお読みいただければわかるように、少なくとも参加した者にとっては実りあるものでした。大学全体としては初めての試みでもあり、少々肩に力が入っていたかもしれませんが、今後も継続し、誰でもがいつでも気軽に参加できるようにして、授業改善の底上げに役立てていく必要があると思います。

また、今報告書の中にある「学生との懇談会」に関する報告の部分は、学生側から見た授業改善に関する情報が多く含まれています。私は、福島大学の最初のFD報告書の中で、授業改善アンケートの結果は担当教員個人へのフィードバックとしてのみ利用すべきであるというFDプロジェクトの基本的スタンスについて述べました。いまでも、個人的にはこの考え方に変わりはありません。ただ、結果を個人に返すという今のやり方に加えて、アンケートに込められた学生からのメッセージを最大限に活用する新たなフィードバックのシステムも考えなければならないと感じたことも事実です。

福島大学は、外形的に見れば未だに他大学よりも遅れているのかもしれませんが、しかし、肝心なのは、FDとして何をやったかではなく、少なくとも学生側の視点に沿っていえば、日々の授業が理解できたか、興味が持てたか、ためになったかということです。その意味で、今年度のFDの取り組みは、今後につながる貴重な実践だったと思います。

平成 16 年度
福島大学 FD プロジェクト活動報告書
～教育改善の追及～

平成 17 年度 3 月発行
編集：福島大学 FD プロジェクト
発行：福島大学